

別添資料

決算に合わせて開示する高速道路事業関連情報(平成 25 年度)

資料

決算に合わせて開示する高速道路事業関連情報 資料目次

1. 債務返済の状況

平成 25 年度の資金調達の状況	1
債務返済計画と実績の対比（総括表）	3
債務返済計画と実績の対比	5
全国路線網に属する高速道路における東日本高速道路(株)、中日本高速道路(株)及び西日本高速道路(株)から徴収する貸付料を充てて返済を行う債務の額を高速道路会社ごとに試算した平成 25 年度（2013 年度）期末の債務残高の計画と実績の対比	26
高速道路会社も含めた高速道路事業全体の債務残高及び債務返済状況	27

2. 財務諸表のセグメント情報

高速道路機構のセグメント情報（高速道路勘定・損益計算書）	28
高速道路機構のセグメント情報（高速道路勘定・貸借対照表）	30
高速道路機構のセグメント情報（損益計算書）（全国路線網の高速道路会社所管分内訳）（試算値）	32
高速道路機構のセグメント情報（貸借対照表）（全国路線網の高速道路会社所管分内訳）（試算値）	33
高速道路会社連結損益計算書一覧	34
高速道路会社連結貸借対照表一覧	35
高速道路機構と高速道路会社を合わせた資産と債務の状況	36
高速道路機構と高速道路会社を合わせた債務の状況の推移	37
営業中高速道路の路線別資産額	38

3. 高速道路収支関連情報

高速道路の収支率（試算値）	44
路線別営業収支差（高速道路会社情報の総括）	45
金利の路線別配賦（試算値）	50

4. 建設・維持・管理の状況

建設コストの計画と実績	56
管理コストの計画と実績（高速道路会社情報の総括）	59
アウトカム指標の計画と実績（高速道路会社情報の総括）	60
各社のアウトカム指標一覧表（平成 25 年度）（参考）	63

5. 道路資産の保有及び貸付状況

道路資産保有及び貸付状況（総括表）	64
-------------------	----

平成 25 年度の資金調達状況

政府保証債

年限	回号	発行日	発行額	利率	発行価額	
10年	第189回	平成25年4月23日	1,600億円	0.541%	100円	
	第190回	平成25年5月17日	1,600億円	0.605%	100円	
	第193回	平成25年6月18日	1,600億円	0.882%	100円	
	第195回	平成25年7月17日	1,600億円	0.911%	100円	
	第197回	平成25年8月15日	1,600億円	0.835%	100円	
	第200回	平成25年9月18日	1,600億円	0.801%	100円	
	第202回	平成25年10月16日	1,600億円	0.699%	100円	
	第204回	平成25年11月20日	1,600億円	0.669%	100円	
	第207回	平成25年12月19日	1,600億円	0.693%	100円	
	第209回	平成26年1月22日	1,600億円	0.747%	100円	
	第211回	平成26年2月19日	1,600億円	0.660%	100円	
	第213回	平成26年3月18日	1,760億円	0.645%	100円	
	計			1兆9,360億円	0.723%	
	20年	第188回	平成25年4月22日	300億円	1.400%	100円
第191回		平成25年5月23日	300億円	1.593%	100円	
第194回		平成25年6月26日	300億円	1.667%	100円	
第196回		平成25年7月22日	300億円	1.779%	100円	
第199回		平成25年8月23日	300億円	1.702%	100円	
第201回		平成25年9月26日	300億円	1.694%	100円	
第203回		平成25年10月30日	300億円	1.556%	100円	
第205回		平成25年11月26日	300億円	1.532%	100円	
第208回		平成25年12月25日	300億円	1.577%	100円	
第210回		平成26年1月29日	300億円	1.547%	100円	
第212回		平成26年2月26日	300億円	1.500%	100円	
第214回		平成26年3月27日	300億円	1.475%	100円	
計			3,600億円	1.585%		
30年		第192回	平成25年5月29日	300億円	1.843%	100円
	第198回	平成25年8月16日	300億円	1.873%	100円	
	第206回	平成25年11月28日	300億円	1.728%	100円	
	計			900億円	1.815%	
合計			2兆3,860億円	0.895%		

注)利率の計及び合計は、加重平均で表示しています。

財投機関債

年限	回号	発行日	発行額	利率	発行価額
2年	第108回	平成25年6月26日	500億円	0.163%	100円
	第114回	平成25年9月27日	500億円	0.116%	100円
	第119回	平成25年12月20日	500億円	0.067%	100円
	計		1,500億円	0.115%	
10年	第104回	平成25年4月24日	300億円	0.715%	100円
	第106回	平成25年5月30日	300億円	1.038%	100円
	第107回	平成25年6月26日	300億円	0.935%	100円
	第110回	平成25年7月25日	300億円	0.940%	100円
	第112回	平成25年8月28日	300億円	0.850%	100円
	第113回	平成25年9月27日	300億円	0.795%	100円
	第115回	平成25年10月30日	300億円	0.738%	100円
	第116回	平成25年11月27日	300億円	0.722%	100円
	第118回	平成25年12月20日	300億円	0.770%	100円
	第120回	平成26年1月28日	300億円	0.751%	100円
	第121回	平成26年2月27日	300億円	0.689%	100円
	第122回	平成26年3月24日	100億円	0.704%	100円
	計		3,400億円	0.810%	
20年	第103回	平成25年4月24日	200億円	1.690%	100円
	第105回	平成25年5月30日	200億円	1.853%	100円
	第109回	平成25年7月25日	200億円	1.814%	100円
	計		600億円	1.786%	
30年	第111回	平成25年7月25日	100億円	2.105%	100円
	第117回	平成25年11月27日	100億円	1.980%	100円
	計		200億円	2.043%	
合計			5,700億円	0.773%	
総計			2兆9,560億円	0.871%	

注)利率の計、合計及び総計は、加重平均で表示しています。

平成25年度(2013年度) 債務返済計画と実績の対比(総括表)

[高速道路機構]

[単位:億円(消費税込み)]

	合計	全国路線網	首都高速道路	阪神高速道路 (阪神圏)	阪神高速道路 (京都圏)	本四高速道路	一の路線
未償還残高(平成25年度期首)							
計画(A)	362,060	241,947	51,065	35,822	1,541	31,354	331
実績(B)	358,029	238,193	51,050	35,809	1,582	31,146	248
差額(B)-(A)	△ 4,031	△ 3,754	△ 15	△ 12	42	△ 207	△ 84
債務残高(平成25年度期首)							
計画(A)	308,501	222,398	40,999	29,111	1,082	14,579	331
実績(B)	304,482	218,644	40,983	29,098	1,130	14,378	248
差額(B)-(A)	△ 4,019	△ 3,754	△ 15	△ 12	48	△ 202	△ 84
有利子借入金							
計画(A)	303,876	222,398	38,085	29,051	1,082	12,928	331
実績(B)	299,857	218,644	38,070	29,038	1,130	12,726	248
差額(B)-(A)	△ 4,019	△ 3,754	△ 15	△ 12	48	△ 202	△ 84
社会資本借入金							
計画(A)	2,973	0	2,913	60	0	0	0
実績(B)	2,973	0	2,913	60	0	0	0
差額(B)-(A)	0	0	0	0	0	0	0
無利子借入金							
計画(A)	1,652	0	0	0	0	1,652	0
実績(B)	1,652	0	0	0	0	1,652	0
差額(B)-(A)	0	0	0	0	0	0	0
出資金							
計画(A)	53,559	19,549	10,066	6,711	458	16,774	0
実績(B)	53,547	19,549	10,066	6,711	452	16,769	0
差額(B)-(A)	△ 12	0	0	0	△ 6	△ 5	0
会社からの引受け債務							
計画(A)	13,015	8,113	3,103	1,673	1	96	29
実績(B)	6,108	4,243	252	1,492	1	90	30
差額(B)-(A)	△ 6,907	△ 3,870	△ 2,851	△ 181	0	△ 6	1
有利子借入金							
計画(A)	11,603	8,113	2,300	1,063	1	96	29
実績(B)	5,489	4,243	243	882	1	90	30
差額(B)-(A)	△ 6,113	△ 3,870	△ 2,057	△ 181	0	△ 6	1
社会資本借入金							
計画(A)	0	0	0	0	0	0	0
実績(B)	0	0	0	0	0	0	0
差額(B)-(A)	0	0	0	0	0	0	0
無利子借入金							
計画(A)	1,413	0	803	610	0	0	0
実績(B)	619	0	9	610	0	0	0
差額(B)-(A)	△ 794	0	△ 794	0	0	0	0
収入							
計画(A)	16,920	11,799	2,439	1,566	54	1,004	59
実績(B)	18,817	13,719	2,385	1,505	23	1,112	73
差額(B)-(A)	1,897	1,921	△ 53	△ 62	△ 31	108	14
賃付料							
計画(A)	15,667	11,767	2,034	1,359	54	395	59
実績(B)	17,017	13,040	2,034	1,359	23	489	72
差額(B)-(A)	1,351	1,273	0	0	△ 31	95	13
占用料等*							
計画(A)	46	32	9	3	0	1	0
実績(B)	703	679	10	4	0	9	0
差額(B)-(A)	658	647	1	1	0	8	0
出資金等*							
計画(A)	1,208	0	396	204	0	608	0
実績(B)	1,097	0	341	142	0	613	0
差額(B)-(A)	△ 111	0	△ 55	△ 62	0	5	0
支出							
計画(A)	5,585	3,688	923	689	37	240	9
実績(B)	5,640	3,735	1,033	606	19	241	6
差額(B)-(A)	54	47	110	△ 83	△ 17	1	△ 3
管理費等*							
計画(A)	207	241	△ 43	△ 10	3	15	2
実績(B)	569	458	91	△ 4	1	20	2
差額(B)-(A)	362	217	135	6	△ 2	5	1
支払利息							
計画(A)	4,778	3,447	571	494	34	224	7
実績(B)	4,588	3,277	601	467	18	221	3
差額(B)-(A)	△ 191	△ 170	30	△ 27	△ 16	△ 4	△ 4
無利子賃付金							
計画(A)	600	0	396	204	0	0	0
実績(B)	483	0	341	142	0	0	0
差額(B)-(A)	△ 117	0	△ 55	△ 62	0	0	0
収支差							
計画(A)	11,335	8,111	1,515	877	17	765	50
実績(B)	13,178	9,985	1,352	899	4	871	67
差額(B)-(A)	1,842	1,874	△ 163	21	△ 13	107	17
未償還残高(平成26年度期首) ^{注1)}							
計画(A)	363,535	241,949	52,246	36,212	1,525	31,294	310
実績(B)	351,437	232,451	50,282	35,934	1,580	30,979	211
差額(B)-(A)	△ 12,098	△ 9,498	△ 1,964	△ 277	55	△ 315	△ 99
債務残高(平成26年度期首)							
計画(A)	308,769	222,400	41,784	29,296	1,067	13,911	310
実績(B)	296,794	212,902	39,875	29,081	1,128	13,596	211
差額(B)-(A)	△ 11,975	△ 9,498	△ 1,909	△ 215	61	△ 315	△ 99
有利子借入金							
計画(A)	304,704	222,400	39,248	29,245	1,067	12,433	310
実績(B)	292,729	212,902	37,339	29,030	1,128	12,118	211
差額(B)-(A)	△ 11,975	△ 9,498	△ 1,909	△ 215	61	△ 315	△ 99
社会資本借入金							
計画(A)	2,587	0	2,536	51	0	0	0
実績(B)	2,587	0	2,536	51	0	0	0
差額(B)-(A)	0	0	0	0	0	0	0
無利子借入金							
計画(A)	1,478	0	0	0	0	1,478	0
実績(B)	1,478	0	0	0	0	1,478	0
差額(B)-(A)	0	0	0	0	0	0	0
出資金							
計画(A)	54,767	19,549	10,462	6,915	458	17,382	0
実績(B)	54,643	19,549	10,407	6,853	452	17,382	0
差額(B)-(A)	△ 123	0	△ 55	△ 62	△ 6	0	0

注1)平成26年度期首未償還残高には出資金及び社会資本借入金の期中変動分を考慮している。また、全国路線網及び本四高速道路については、平成25年度期末時点の値を記載している。

注2)端数処理の関係上、計が合わないことがある。

※「占用料等」は独立行政法人日本高速道路保有・債務返済機構法施行令(以下「機構法施行令」という)第3条に定める占用料、連結料など、「出資金等」は国等からの出資金及び独立行政法人日本高速道路保有・債務返済機構法(以下「機構法」という)第25条に定める災害復旧に要する補助金など、「管理費等」は機構管理費及び消費税である。

平成25年度(2013年度) 債務返済計画と実績の対比(総括表)

〔高速道路会社6社〕

[単位:億円(消費税込み)]

	合計	全国路線網				首都高速道路	阪神高速道路 (阪神圏)	阪神高速道路 (京都圏)	本四高速道路	一の路線	
		東日本高速道路株 中日本高速道路株 西日本高速道路株	東日本高速道路株	中日本高速道路株	西日本高速道路株	首都高速道路株	阪神高速道路株	阪神高速道路株	本州四国連絡 高速道路株	中日本高速道路株 西日本高速道路株	
新たな資産形成に係らない部分	収入(料金収入)										
	計画(A)	21,590	16,401	6,075	4,801	5,525	2,688	1,784	72	559	85
	実績(B)	23,090	17,838	6,679	5,132	6,028	2,672	1,779	41	660	100
	差額(B)-(A)	1,500	1,437	603	330	504	△ 16	△ 5	△ 31	100	15
	支出(計画管理費)										
	計画(A)	5,923	4,634	1,768	1,317	1,549	654	426	19	165	26
	実績(B)	6,157	4,865	1,856	1,400	1,609	669	414	16	169	24
	差額(B)-(A)	234	231	87	83	61	15	△ 12	△ 3	4	△ 2
	貸付料支払い										
計画(A)	15,667	11,767	4,307	3,484	3,976	2,034	1,359	54	395	59	
実績(B)	17,017	13,040	4,849	3,766	4,424	2,034	1,359	23	489	72	
差額(B)-(A)	1,351	1,273	542	282	448	0	0	△ 31	95	13	
新たな資産形成に係る部分	収入										
	計画(A)	19,433	15,083	4,096	6,673	4,314	2,727	1,499	1	96	26
	実績(B)	8,923	7,048	1,550	3,225	2,273	1,292	471	1	84	27
	差額(B)-(A)	△ 10,510	△ 8,036	△ 2,546	△ 3,448	△ 2,042	△ 1,435	△ 1,028	0	△ 12	2
	有利子借入金										
	計画(A)	18,833	15,083	4,096	6,673	4,314	2,331	1,295	1	96	26
	実績(B)	8,440	7,048	1,550	3,225	2,273	950	329	1	84	27
	差額(B)-(A)	△ 10,393	△ 8,036	△ 2,546	△ 3,448	△ 2,042	△ 1,380	△ 966	0	△ 12	2
	無利子借入金等										
	計画(A)	600	0	0	0	0	396	204	0	0	0
	実績(B)	483	0	0	0	0	341	142	0	0	0
	差額(B)-(A)	△ 117	0	0	0	0	△ 55	△ 62	0	0	0
	支出										
	計画(A)	19,433	15,083	4,096	6,673	4,314	2,727	1,499	1	96	26
	実績(B)	8,912	7,039	2,081	2,624	2,333	1,094	655	1	95	27
	差額(B)-(A)	△ 10,521	△ 8,045	△ 2,015	△ 4,049	△ 1,981	△ 1,632	△ 844	0	△ 1	2
	新設・改築費等										
	計画(A)	15,442	12,033	3,039	5,702	3,292	2,194	1,216	0	0	0
	実績(B)	6,706	5,377	1,617	2,132	1,628	820	509	0	0	0
	差額(B)-(A)	△ 8,737	△ 6,656	△ 1,422	△ 3,570	△ 1,664	△ 1,374	△ 707	0	0	0
	修繕費等										
	計画(A)	3,990	3,051	1,057	971	1,022	533	284	1	96	26
	実績(B)	2,167	1,624	450	474	700	274	146	1	93	27
	差額(B)-(A)	△ 1,824	△ 1,426	△ 607	△ 498	△ 322	△ 258	△ 138	0	△ 3	2
	災害復旧費										
	計画(A)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	実績(B)	40	38	14	18	6	0	0	0	2	0
差額(B)-(A)	40	38	14	18	6	0	0	0	2	0	
債務											
計画(A)	30,785	26,116	7,405	11,832	6,879	2,803	1,865	0	0	0	
実績(B)	23,423	17,909	3,908	9,574	4,427	4,395	1,069	0	45	4	
差額(B)-(A)	△ 7,362	△ 8,207	△ 3,497	△ 2,258	△ 2,452	1,592	△ 797	0	45	4	
債務残高(平成25年度期首)											
計画(A)	24,367	19,145	5,440	8,045	5,661	3,180	2,039	0	0	3	
実績(B)	20,608	15,104	3,586	7,086	4,433	3,356	2,089	0	51	7	
差額(B)-(A)	△ 3,760	△ 4,041	△ 1,854	△ 959	△ 1,227	176	51	0	51	3	
機構への引き渡し債務											
計画(A)	13,015	8,113	2,131	2,886	3,096	3,103	1,673	1	96	29	
実績(B)	6,108	4,243	1,228	736	2,279	252	1,492	1	90	30	
差額(B)-(A)	△ 6,907	△ 3,870	△ 903	△ 2,149	△ 818	△ 2,851	△ 181	0	△ 6	1	
有利子借入金											
計画(A)	11,603	8,113	2,131	2,886	3,096	2,300	1,063	1	96	29	
実績(B)	5,489	4,243	1,228	736	2,279	243	882	1	90	30	
差額(B)-(A)	△ 6,113	△ 3,870	△ 903	△ 2,149	△ 818	△ 2,057	△ 181	0	△ 6	1	
社会資本借入金											
計画(A)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
実績(B)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
差額(B)-(A)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
無利子借入金											
計画(A)	1,413	0	0	0	0	803	610	0	0	0	
実績(B)	619	0	0	0	0	9	610	0	0	0	
差額(B)-(A)	△ 794	0	0	0	0	△ 794	0	0	0	0	

注1) 本文に記載のあるとおり、決算の金額とは一致しない。

注2) 端数処理の関係上、計が合わないことがある。

平成25年度(2013年度) 債務返済計画と実績の対比

【全国路線網】

〔高速道路機構〕

[単位:百万円(消費税込み)]

	計画(A)	実績(B)	差額 (B) - (A)	差異の理由
未償還残高(平成25年度期首)	24,194,707	23,819,289	△ 375,418	
債務残高(平成25年度期首)	22,239,842	21,864,424	△ 375,418	
有利子借入金	22,239,842	21,864,424	△ 375,418	・前年度までの引受け債務の減、貸付料の増等
社会資本借入金	0	0	0	
出資金	1,954,865	1,954,865	0	
会社からの引受け債務	811,252	424,268	△ 386,984	
有利子借入金	811,252	424,268	△ 386,984	・新設・改築事業において、開通時期を見直したことや本線供用開始後の残工事を翌年度に繰り越したこと等による減 ・スマートICに係わる引受け債務について、計画上、総額を平成25年度に一括計上していること等による乖離 ・支出時期見直し等による修繕費等の減
社会資本借入金	0	0	0	
無利子借入金	0	0	0	
収入	1,179,870	1,371,937	192,067	
貸付料	1,176,679	1,304,004	127,325	・料金収入が加算基準額を上回ったことによる貸付料の増 ・高速道路通行者負担軽減補助金の受け入れによる占用料等の増
占用料等 [※]	3,191	67,933	64,743	
出資金等 [※]	0	0	0	
支出	368,776	373,485	4,709	
管理費等 [※]	24,093	45,806	21,714	・貸付料の増及び引受け債務の減に伴う納付消費税の増による管理費等の増 ・計画より低金利の資金調達等による支払利息の減
支払利息	344,683	327,678	△ 17,005	
無利子貸付金	0	0	0	
収支差	811,093	998,452	187,359	
未償還残高(平成26年度期首) ^{注2)}	24,194,865	23,245,105	△ 949,761	
債務残高(平成26年度期首) ^{注2)}	22,240,000	21,290,240	△ 949,761	
有利子借入金	22,240,000	21,290,240	△ 949,761	・引受け債務の減、貸付料の増等
社会資本借入金	0	0	0	
出資金	1,954,865	1,954,865	0	

注1) 本文に記載のあるとおり、決算の金額とは一致しない。

注2) 平成26年度期首未償還残高は、平成25年度期末時点の値を記載している。

注3) 端数処理の関係上、計が合わないことがある。

※「占用料等」は機構法施行令第3条に定める占用料、連結料など、「出資金等」は国等からの出資金及び機構法第25条に定める災害復旧に要する補助金など、「管理費等」は機構管理費及び消費税である。

【全国路線網】

(高速自動車国道北海道縦貫自動車道函館名寄線等)(東日本高速道路株)

[単位:百万円(消費税込み)]

		計画(A)	実績(B)	差額 (B)-(A)	差異の理由
に 新 保 ら な 資 産 形 成	収入(料金収入)	607,533	667,857	60,324	・計画に比べ実績交通量が増加したことによる収入の増 ・点検結果等に基づく補修の増、点検費用の増及び雪氷対策費用の増による支出の増 ・料金収入が加算基準額を上回ったことによる貸付料の増
	支出(計画管理費)	176,847	185,554	8,707	
	貸付料支払い	430,686	484,935	54,249	
新 た な 資 産 形 成 に 係 る 部 分	収入	409,595	155,000	△ 254,595	・資産形成に係る支出減少に伴う借入額の減
	有利子借入金	409,595	155,000	△ 254,595	
	無利子借入金等	0	0	0	
	支出	409,595	208,138	△ 201,457	・関係機関との協議調整の長期化などによる、支出時期の見直し等による新設・改築費等の減 ・スマートICの新設・改築費について、計画上、総額を平成25年度に一括計上していることによる乖離 ・支出時期見直し等による修繕費等の減
	新設・改築費等	303,918	161,730	△ 142,188	
	修繕費等	105,677	45,019	△ 60,658	
	災害復旧費	0	1,389	1,389	
	債務	740,535	390,821	△ 349,714	・前年度までの工事工程見直し等による減
	債務残高(平成25年度期首)	543,993	358,571	△ 185,422	
	機構への引き渡し債務	213,053	122,751	△ 90,302	
	有利子借入金	213,053	122,751	△ 90,302	
社会資本借入金	0	0	0		
無利子借入金	0	0	0	・新設・改築事業において、本線供用開始後の残工事を翌年度に繰り越したこと等による減 ・スマートICに係わる引き渡し債務について、計画上、総額を平成25年度に一括計上していること等による乖離 ・支出時期見直し等による修繕費等の減	

注1)本文に記載のあるとおり、決算の金額とは一致しない。

注2)端数処理の関係上、計が合わないことがある。

【全国路線網】

(高速自動車国道中央自動車道富士吉田線等)(中日本高速道路株)

[単位:百万円(消費税込み)]

		計画(A)	実績(B)	差額 (B)-(A)	差異の理由
に 新 保 ら な 資 産 形 成	収入(料金収入)	480,109	513,150	33,041	・計画に比べ実績交通量が増加したことによる収入の増 ・点検費用の増及び雪氷対策費用の増による支出の増 ・料金収入が加算基準額を上回ったことによる貸付料の増
	支出(計画管理費)	131,723	140,007	8,284	
	貸付料支払い	348,386	376,626	28,240	
新 た な 資 産 形 成 に 係 る 部 分	収入	667,318	322,515	△ 344,802	・資産形成に係る支出減少に伴う借入額の減
	有利子借入金	667,318	322,515	△ 344,802	
	無利子借入金等	0	0	0	
	支出	667,318	262,378	△ 404,940	・関係機関との協議調整の長期化などによる、支出時期の見直し等による新設・改築費等の減 ・スマートICの新設・改築費について、計画上、総額を平成25年度に一括計上していることによる乖離 ・支出時期見直し等による修繕費等の減
	新設・改築費等	570,180	213,190	△ 356,990	
	修繕費等	97,138	47,376	△ 49,762	
	災害復旧費	0	1,812	1,812	
	債務	1,183,216	957,421	△ 225,794	・前年度までの工事工程見直し等による減
	債務残高(平成25年度期首)	804,475	708,552	△ 95,923	
	機構への引き渡し債務	288,577	73,646	△ 214,931	
	有利子借入金	288,577	73,646	△ 214,931	
社会資本借入金	0	0	0		
無利子借入金	0	0	0	・新設・改築事業において、開通時期を見直したことや本線供用開始後の残工事を翌年度に繰り越したこと等による減 ・スマートICに係わる引き渡し債務について、計画上、総額を平成25年度に一括計上していること等による乖離 ・支出時期見直し等による修繕費等の減	

注1)本文に記載のあるとおり、決算の金額とは一致しない。

注2)端数処理の関係上、計が合わないことがある。

【全国路線網】

(高速自動車国道中央自動車道西宮線等)[西日本高速道路株]

[単位:百万円(消費税込み)]

		計画(A)	実績(B)	差額 (B)-(A)	差異の理由
に 新 た な 資 産 形 成	収入(料金収入)	552,462	602,823	50,361	・計画に比べ実績交通量が増加したことによる収入の増 ・点検結果等に基づく補修の増、点検費用の増及び雪氷対策費用の増による支出の増 ・料金収入が加算基準額を上回ったことによる貸付料の増
	支出(計画管理費)	154,855	160,936	6,081	
	貸付料支払い	397,607	442,443	44,836	
新 た な 資 産 形 成 に 係 る 部 分	収入	431,428	227,261	△ 204,167	・資産形成に係る支出減少に伴う借入額の減
	有利子借入金	431,428	227,261	△ 204,167	
	無利子借入金等	0	0	0	
	支出	431,427	233,346	△ 198,081	・関係機関との協議調整の長期化などによる、支出時期の見直し等による新設・改築費等の減 ・スマートICの新設・改築費について、計画上、総額を平成25年度に一括計上していることによる乖離 ・支出時期見直し等による修繕費等の減
	新設・改築費等	329,179	162,751	△ 166,428	
	修繕費等	102,248	70,044	△ 32,204	
	災害復旧費	0	552	552	
	債務	687,858	442,700	△ 245,158	・前年度までの工事工程見直し等による減
	債務残高(平成25年度期首)	566,052	443,310	△ 122,742	
	機構への引き渡し債務	309,622	227,871	△ 81,751	
	有利子借入金	309,622	227,871	△ 81,751	
社会資本借入金	0	0	0		
無利子借入金	0	0	0	・新設・改築事業において、開通時期を見直したことや本線供用開始後の残工事を翌年度に繰り越したこと等による減 ・スマートICに係わる引き渡し債務について、計画上、総額を平成25年度に一括計上していること等による乖離 ・支出時期見直し等による修繕費等の減	

注1) 本文に記載のあるとおり、決算の金額とは一致しない。

注2) 端数処理の関係上、計が合わないことがある。

【全国路線網】

(東日本高速道路株、中日本高速道路株、西日本高速道路株) [単位:百万円(消費税込み)]

		計画(A)	実績(B)	差額 (B)-(A)
に 新 た な 資 産 形 成	収入(料金収入)	1,640,104	1,783,830	143,726
	支出(計画管理費)	463,425	486,497	23,072
	貸付料支払い	1,176,679	1,304,004	127,325
新 た な 資 産 形 成 に 係 る 部 分	収入	1,508,341	704,776	△ 803,564
	有利子借入金	1,508,341	704,776	△ 803,564
	無利子借入金等	0	0	0
	支出	1,508,340	703,862	△ 804,478
	新設・改築費等	1,203,277	537,671	△ 665,606
	修繕費等	305,063	162,439	△ 142,624
	災害復旧費	0	3,753	3,753
	債務	2,611,609	1,790,942	△ 820,666
	債務残高(平成25年度期首)	1,914,520	1,510,433	△ 404,087
	機構への引き渡し債務	811,252	424,268	△ 386,984
	有利子借入金	811,252	424,268	△ 386,984
社会資本借入金	0	0	0	
無利子借入金	0	0	0	

注1) 本文に記載のあるとおり、決算の金額とは一致しない。

注2) 端数処理の関係上、計が合わないことがある。

平成25年度(2013年度) 債務返済計画と実績の対比

【首都高速道路に係る地域路線網】

〔高速道路機構〕

[単位: 百万円(消費税込み)]

	計画(A)	実績(B)	差額 (B) - (A)	差異の理由
未償還残高(平成25年度期首)	5,106,507	5,104,979	△ 1,528	
債務残高(平成25年度期首)	4,099,871	4,098,343	△ 1,528	
有利子借入金	3,808,548	3,807,021	△ 1,528	・前年度の引受け債務の減等
社会資本借入金	291,323	291,323	0	
出資金	1,006,636	1,006,636	0	
会社からの引受け債務	310,313	25,223	△ 285,090	
有利子借入金	230,045	24,331	△ 205,714	・新設・改築事業において、完成時期を見直したこと等による減
社会資本借入金	0	0	0	
無利子借入金	80,268	892	△ 79,376	
収入	243,859	238,514	△ 5,345	
貸付料	203,369	203,369	0	・新設・改築事業の事業費見直しに伴う出資金の減
占用料等 [※]	916	1,033	117	
出資金等 [※]	39,574	34,112	△ 5,462	
支出	92,331	103,305	10,974	
管理費等 [※]	△ 4,348	9,114	13,462	・引受け債務の減に伴う納付消費税の増による管理費等の増 ・新設・改築事業の事業費見直しに伴う無利子貸付金の減
支払利息	57,105	60,080	2,975	
無利子貸付金	39,574	34,112	△ 5,462	
収支差	151,528	135,209	△ 16,319	
未償還残高(平成26年度期首) ^{注2)}	5,224,598	5,028,213	△ 196,384	
債務残高(平成26年度期首)	4,178,388	3,987,465	△ 190,922	
有利子借入金	3,924,819	3,733,897	△ 190,922	・引受け債務の減、管理費等の増等
社会資本借入金	253,568	253,568	0	
出資金	1,046,210	1,040,748	△ 5,462	

注1) 本文に記載のあるとおり、決算の金額とは一致しない。

注2) 平成26年度期首未償還残高には出資金及び社会資本借入金の期中変動分を考慮している。

注3) 端数処理の関係上、計が合わないことがある。

※「占用料等」は機構法施行令第3条に定める占用料、連結料など、「出資金等」は国等からの出資金及び機構法第25条に定める災害復旧に要する補助金など、「管理費等」は機構管理費及び消費税である。

【首都高速道路に係る地域路線網】

〔首都高速道路(株)〕

[単位:百万円(消費税込み)]

		計画(A)	実績(B)	差額 (B)-(A)	差異の理由
に 新 保 ら な な 資 産 形 成	収入(料金収入)	268,770	267,165	△ 1,605	・大口・多頻度割引の適用増や大雪の影響等による収入の減 ・点検結果等に基づく補修の増、点検費用の増及び雪氷対策費用の増による支出の増
	支出(計画管理費)	65,401	66,897	1,496	
	貸付料支払い	203,369	203,369	0	
新 た な 資 産 形 成 に 係 る 部 分	収入	272,667	129,160	△ 143,507	
	有利子借入金	233,093	95,048	△ 138,045	・資産形成に係る支出減少に伴う借入額の減
	無利子借入金等	39,574	34,112	△ 5,462	
	支出	272,667	109,428	△ 163,239	
	新設・改築費等	219,412	82,005	△ 137,407	・工事工程の見直し等による新設・改築費等の減 ・支出時期見直し等による修繕費等の減
	修繕費等	53,255	27,423	△ 25,832	
	災害復旧費	0	0	0	
	債務	280,339	439,549	159,210	
	債務残高(平成25年度期首)	317,985	335,612	17,627	・前年度までの工事工程見直し等による増
	機構への引き渡し債務	310,313	25,223	△ 285,090	
	有利子借入金	230,045	24,331	△ 205,714	・新設・改築事業において、完成時期を見直したこと等による減
社会資本借入金	0	0	0		
無利子借入金	80,268	892	△ 79,376		

注1) 本文に記載のあるとおり、決算の金額とは一致しない。

注2) 端数処理の関係上、計が合わないことがある。

平成25年度(2013年度) 債務返済計画と実績の対比

【阪神高速道路(阪神圏)に係る地域路線網】

〔高速道路機構〕

[単位:百万円(消費税込み)]

	計画(A)	実績(B)	差額 (B) - (A)	差異の理由
未償還残高(平成25年度期首)	3,582,179	3,580,937	△ 1,242	
債務残高(平成25年度期首)	2,911,082	2,909,840	△ 1,242	
有利子借入金	2,905,064	2,903,822	△ 1,242	・前年度の引受け債務の減等
社会資本借入金	6,018	6,018	0	
出資金	671,097	671,097	0	
会社からの引受け債務	167,287	149,173	△ 18,114	
有利子借入金	106,292	88,178	△ 18,114	・修繕事業における工期の見直し等による減
社会資本借入金	0	0	0	
無利子借入金	60,995	60,995	0	
収入	156,630	150,455	△ 6,174	
貸付料	135,875	135,875	0	・新設・改築事業の工事工程を反映した支出時期の見直しに伴う出資金の減
占用料等 [※]	310	366	56	
出資金等 [※]	20,444	14,214	△ 6,230	
支出	68,887	60,569	△ 8,318	
管理費等 [※]	△ 995	△ 393	602	・引受け債務の減に伴う納付消費税の増による管理費等の増 ・計画より低金利の資金調達等による支払利息の減 ・新設・改築事業の工事工程を反映した支出時期の見直しに伴う無利子貸付金の減
支払利息	49,438	46,748	△ 2,690	
無利子貸付金	20,444	14,214	△ 6,230	
収支差	87,743	89,887	2,144	
未償還残高(平成26年度期首) ^{注2)}	3,621,172	3,593,443	△ 27,729	
債務残高(平成26年度期首)	2,929,631	2,908,132	△ 21,499	
有利子借入金	2,924,489	2,902,990	△ 21,499	・引受け債務の減、管理費等の増等
社会資本借入金	5,142	5,142	0	
出資金	691,541	685,311	△ 6,230	

注1) 本文に記載のあるとおり、決算の金額とは一致しない。

注2) 平成26年度期首未償還残高には出資金及び社会資本借入金の期中変動分を考慮している。

注3) 端数処理の関係上、計が合わないことがある。

※「占用料等」は機構法施行令第3条に定める占用料、連結料など、「出資金等」は国等からの出資金及び機構法第25条に定める災害復旧に要する補助金など、「管理費等」は機構管理費及び消費税である。

【阪神高速道路(阪神圏)に係る地域路線網】

【阪神高速道路(株)】

[単位:百万円(消費税込み)]

		計画(A)	実績(B)	差額 (B)-(A)	差異の理由
に 新 保 ら な い 資 産 形 成	収入(料金収入)	178,428	177,934	△ 494	・計画に比べ交通量が減少したことによる収入の減 ・クレジットカード手数料の減等による支出の減
	支出(計画管理費)	42,553	41,403	△ 1,150	
	貸付料支払い	135,875	135,875	0	
新 た な 資 産 形 成 に 係 る 部 分	収入	149,930	47,095	△ 102,835	
	有利子借入金	129,486	32,881	△ 96,605	・資産形成に係る支出減少に伴う借入額の減
	無利子借入金等	20,444	14,214	△ 6,230	
	支出	149,930	65,528	△ 84,402	
	新設・改築費等	121,558	50,907	△ 70,652	・工事工程の見直し等による新設・改築費等の減 ・支出時期見直し等による修繕費等の減
	修繕費等	28,371	14,621	△ 13,750	
	災害復旧費	0	0	0	
	債務	186,531	106,868	△ 79,663	
	債務残高(平成25年度期首)	203,888	208,946	5,058	・前年度までの工事工程見直し等による増
	機構への引き渡し債務	167,287	149,173	△ 18,114	
	有利子借入金	106,292	88,178	△ 18,114	・修繕事業における工期の見直し等による減
社会資本借入金	0	0	0		
無利子借入金	60,995	60,995	0		

注1) 本文に記載のあるとおり、決算の金額とは一致しない。

注2) 端数処理の関係上、計が合わないことがある。

平成25年度(2013年度) 債務返済計画と実績の対比

【阪神高速道路(京都圏)に係る地域路線網】

〔高速道路機構〕

[単位:百万円(消費税込み)]

	計画(A)	実績(B)	差額 (B)-(A)	差異の理由
未償還残高(平成25年度期首)	154,069	158,242	4,174	
債務残高(平成25年度期首)	108,242	113,047	4,806	
有利子借入金	108,242	113,047	4,806	
社会資本借入金	0	0	0	・前年度までの貸付料減等による債務残高の増 ・コスト削減に伴う事業の見直しによる出資金の減
出資金	45,827	45,195	△ 632	
会社からの引受け債務	123	132	9	
有利子借入金	123	132	9	
社会資本借入金	0	0	0	
無利子借入金	0	0	0	
収入	5,383	2,313	△ 3,070	
貸付料	5,383	2,312	△ 3,071	・料金収入が減算基準額を下回ったことによる貸付料の減
占用料等 [※]	0	1	1	
出資金等 [※]	0	0	0	
支出	3,697	1,949	△ 1,748	
管理費等 [※]	258	106	△ 152	・貸付料の減に伴う納付消費税の減による管理費等の減 ・計画より低金利の資金調達等による支払利息の減
支払利息	3,439	1,843	△ 1,596	
無利子貸付金	0	0	0	
収支差	1,686	364	△ 1,322	
未償還残高(平成26年度期首) ^{注2)}	152,506	158,011	5,505	
債務残高(平成26年度期首)	106,679	112,816	6,137	
有利子借入金	106,679	112,816	6,137	・貸付料の減等
社会資本借入金	0	0	0	
出資金	45,827	45,195	△ 632	

注1) 本文に記載のあるとおり、決算の金額とは一致しない。

注2) 平成26年度期首未償還残高には出資金及び社会資本借入金の期中変動分を考慮している。

注3) 端数処理の関係上、計が合わないことがある。

※「占用料等」は機構法施行令第3条に定める占用料、連結料など、「出資金等」は国等からの出資金及び機構法第25条に定める災害復旧に要する補助金など、「管理費等」は機構管理費及び消費税である。

【阪神高速道路(京都圏)に係る地域路線網】

【阪神高速道路(株)】

[単位:百万円(消費税込み)]

		計画(A)	実績(B)	差額 (B)-(A)	差異の理由
に 新 保 ら な い 資 産 形 成	収入(料金収入)	7,237	4,094	△ 3,143	・計画に比べ実績交通量が減少したことによる収入の減 ・クレジットカード手数料の減等による支出の減 ・料金収入が減算基準額を下回ったことによる貸付料の減
	支出(計画管理費)	1,854	1,600	△ 254	
	貸付料支払い	5,383	2,312	△ 3,071	
新 た な 資 産 形 成 に 係 る 部 分	収入	123	135	12	・資産形成に係る支出増加による借入額の増
	有利子借入金	123	135	12	
	無利子借入金等	0	0	0	
	支出	123	132	9	
	新設・改築費等	0	0	0	
	修繕費等	123	121	△ 2	
	災害復旧費	0	11	11	
	債務	0	3	3	
	債務残高(平成25年度期首)	0	0	0	
	機構への引き渡し債務	123	132	9	
	有利子借入金	123	132	9	
社会資本借入金	0	0	0		
無利子借入金	0	0	0		

注1) 本文に記載のあるとおり、決算の金額とは一致しない。

注2) 端数処理の関係上、計が合わないことがある。

平成25年度(2013年度) 債務返済計画と実績の対比

【本州四国連絡高速道路に係る地域路線網】

〔高速道路機構〕

[単位: 百万円(消費税込み)]

	計画(A)	実績(B)	差額 (B) - (A)	差異の理由
未償還残高(平成25年度期首)	3,135,372	3,114,648	△ 20,724	
債務残高(平成25年度期首)	1,457,947	1,437,770	△ 20,177	
有利子借入金	1,292,774	1,272,597	△ 20,177	・前年度までの引受け債務の減、貸付料の増等
社会資本借入金	0	0	0	
無利子借入金	165,173	165,173	0	
出資金	1,677,425	1,676,878	△ 547	
会社からの引受け債務	9,640	8,993	△ 647	
有利子借入金	9,640	8,993	△ 647	・修繕事業において、点検結果等により補修実施時期を見直したこと等による減
社会資本借入金	0	0	0	
無利子借入金	0	0	0	
収入	100,410	111,239	10,828	
貸付料	39,461	48,943	9,482	・料金収入が加算基準額を上回ったことによる貸付料の増 ・送水管添架負担金の受け入れによる占用料等の増
占用料等 [※]	149	949	800	
出資金等 [※]	60,800	61,347	547	
支出	23,955	24,102	147	
管理費等 [※]	1,514	2,028	514	・貸付料の増及び引受け債務の減に伴う納付消費税の増による管理費等の増 ・計画より低金利の資金調達等による支払利息の減
支払利息	22,441	22,074	△ 367	
無利子貸付金	0	0	0	
収支差	76,455	87,137	10,681	
未償還残高(平成26年度期首) ^{注2)}	3,129,356	3,097,851	△ 31,505	
債務残高(平成26年度期末) ^{注2)}	1,391,131	1,359,626	△ 31,505	
有利子借入金	1,243,339	1,211,834	△ 31,505	・引受け債務の減、貸付料の増等
社会資本借入金	0	0	0	
無利子借入金	147,792	147,792	0	
出資金	1,738,225	1,738,225	0	

注1) 本文に記載のあるとおり、決算の金額とは一致しない。

注2) 平成26年度期首未償還残高には出資金及び社会資本借入金の期中変動分を考慮している。また、平成25年度期末時点の値を記載している。

注3) 端数処理の関係上、計が合わないことがある。

※「占用料等」は機構法施行令第3条に定める占用料、連結料など、「出資金等」は国等からの出資金及び機構法第25条に定める災害復旧に要する補助金など、「管理費等」は機構管理費及び消費税である。

【本州四国連絡高速道路に係る地域路線網】

【本州四国連絡高速道路株】

[単位:百万円(消費税込み)]

		計画(A)	実績(B)	差額 (B)-(A)	差異の理由
に 新 保 ら な 資 産 形 成	収入(料金収入)	55,949	65,990	10,041	・計画に比べ実績交通量が増加したことによる収入の増 ・点検結果等に基づく補修の増による支出の増 ・料金収入が加算基準額を上回ったことによる貸付料の増
	支出(計画管理費)	16,488	16,894	406	
	貸付料支払い	39,461	48,943	9,482	
新 た な 資 産 形 成 に 係 る 部 分	収入	9,640	8,400	△ 1,240	
	有利子借入金	9,640	8,400	△ 1,240	・資産形成に係る支出減少に伴う借入額の減
	無利子借入金等	0	0	0	
	支出	9,640	9,528	△ 112	
	新設・改築費等	0	0	0	・点検結果等により補修実施時期を見直したこと等による修繕費等の減
	修繕費等	9,640	9,302	△ 338	
	災害復旧費	0	226	226	
	債務	0	4,519	4,519	
	債務残高(平成25年度期首)	0	5,112	5,112	・前年度までの工事工程見直し等による増
	機構への引き渡し債務	9,640	8,993	△ 647	
	有利子借入金	9,640	8,993	△ 647	・修繕事業において、点検結果等により補修実施時期を見直したこと等による減
社会資本借入金	0	0	0		
無利子借入金	0	0	0		

注1) 本文に記載のあるとおり、決算の金額とは一致しない。

注2) 端数処理の関係上、計が合わないことがある。

平成25年度(2013年度) 債務返済計画と実績の対比

【一般国道16号(八王子バイパス)】

〔高速道路機構〕

[単位:百万円(消費税込み)]

	計画(A)	実績(B)	差額 (B)-(A)	差異の理由
未償還残高(平成25年度期首)	4,047	3,998	△ 49	
債務残高(平成25年度期首)	4,047	3,998	△ 49	
有利子借入金	4,047	3,998	△ 49	・前年度までの引受け債務の減等
社会資本借入金	0	0	0	
出資金	0	0	0	
会社からの引受け債務	53	1	△ 52	
有利子借入金	53	1	△ 52	・修繕事業において、点検結果等により補修実施時期を見直したこと等による減
社会資本借入金	0	0	0	
無利子借入金	0	0	0	
収入	1,799	1,806	7	
貸付料	1,798	1,785	△ 13	・料金収入が減算基準額を下回ったことによる貸付料の減 ・高速道路通行者負担軽減補助金の受け入れによる占用料等の増
占用料等 [※]	1	21	20	
出資金等 [※]	0	0	0	
支出	136	137	1	
管理費等 [※]	85	87	2	
支払利息	51	50	△ 1	
無利子貸付金	0	0	0	
収支差	1,662	1,669	7	
未償還残高(平成26年度期首)	2,438	2,330	△ 108	
債務残高(平成26年度期首)	2,438	2,330	△ 108	
有利子借入金	2,438	2,330	△ 108	・引受け債務の減等
社会資本借入金	0	0	0	
出資金	0	0	0	

注1) 本文に記載のあるとおり、決算の金額とは一致しない。

注2) 端数処理の関係上、計が合わないことがある。

※「占用料等」は機構法施行令第3条に定める占用料、連結料など、「出資金等」は国等からの出資金及び機構法第25条に定める災害復旧に要する補助金など、「管理費等」は機構管理費及び消費税である。

【一般国道16号(八王子バイパス)】

〔中日本高速道路㈱〕

[単位:百万円(消費税込み)]

		計画(A)	実績(B)	差額 (B)-(A)	差異の理由
に 新 保 ら な 資 産 形 成	収入(料金収入)	2,207	2,172	△ 35	・計画に比べ、実績交通量が減少したことによる収入の減 ・点検費用の増による支出の増 ・料金収入が減算基準額を下回ったことによる貸付料の減
	支出(計画管理費)	409	444	35	
	貸付料支払い	1,798	1,785	△ 13	
新 た な 資 産 形 成 に 係 る 部 分	収入	53	1	△ 52	
	有利子借入金	53	1	△ 52	・資産形成に係る支出減少に伴う借入額の減
	無利子借入金等	0	0	0	
	支出	53	1	△ 52	
	新設・改築費等	0	0	0	・点検結果等により補修実施時期を見直したこと等による修繕費の減
	修繕費等	53	1	△ 52	
	災害復旧費	0	0	0	
	債務	0	1	1	
	債務残高(平成25年度期首)	0	1	1	
	機構への引き渡し債務	53	1	△ 52	
	有利子借入金	53	1	△ 52	・修繕事業において、点検結果等により補修実施時期を見直したこと等による減
社会資本借入金	0	0	0		
無利子借入金	0	0	0		

注1) 本文に記載のあるとおり、決算の金額とは一致しない。

注2) 端数処理の関係上、計が合わないことがある。

平成25年度(2013年度) 債務返済計画と実績の対比

【一般国道158号(中部縦貫自動車道(安房峠道路))】

〔高速道路機構〕

[単位:百万円(消費税込み)]

	計画(A)	実績(B)	差額 (B)-(A)	差異の理由
未償還残高(平成25年度期首)	2,345	1,667	△ 677	
債務残高(平成25年度期首)	2,345	1,667	△ 677	
有利子借入金	2,345	1,667	△ 677	・前年度までの引受け債務の減、貸付料の増等
社会資本借入金	0	0	0	
出資金	0	0	0	
会社からの引受け債務	138	0	△ 138	
有利子借入金	138	0	△ 138	・修繕事業において、点検結果等により補修実施時期を見直したこと等による減
社会資本借入金	0	0	0	
無利子借入金	0	0	0	
収入	124	204	80	
貸付料	124	204	80	・料金収入が加算基準額を上回ったことによる貸付料の増
占用料等 [※]	0	0	0	
出資金等 [※]	0	0	0	
支出	46	34	△ 12	
管理費等 [※]	△ 1	10	11	・貸付料の増及び引受け債務の減に伴う納付消費税の増による管理費等の増 ・計画より低金利の資金調達等による支払利息の減
支払利息	47	25	△ 23	
無利子貸付金	0	0	0	
収支差	78	169	92	
未償還残高(平成26年度期首)	2,405	1,498	△ 907	
債務残高(平成26年度期首)	2,405	1,498	△ 907	
有利子借入金	2,405	1,498	△ 907	・引受け債務の減、貸付料の増等
社会資本借入金	0	0	0	
出資金	0	0	0	

注1) 本文に記載のあるとおり、決算の金額とは一致しない。

注2) 端数処理の関係上、計が合わないことがある。

※「占用料等」は機構法施行令第3条に定める占用料、連結料など、「出資金等」は国等からの出資金及び機構法第25条に定める災害復旧に要する補助金など、「管理費等」は機構管理費及び消費税である。

【一般国道158号(中部縦貫自動車道(安房峠道路))】

【中日本高速道路㈱】

[単位:百万円(消費税込み)]

		計画(A)	実績(B)	差額 (B)-(A)	差異の理由
に 新 保 ら な 資 産 形 成	収入(料金収入)	437	534	97	・計画に比べ、実績交通量が増加したことによる収入の増 ・点検費用の増による支出の増 ・料金収入が加算基準額を上回ったことによる貸付料の増
	支出(計画管理費)	313	372	59	
	貸付料支払い	124	204	80	
新 た な 資 産 形 成 に 係 る 部 分	収入	138	4	△ 134	
	有利子借入金	138	4	△ 134	・資産形成に係る支出減少に伴う借入額の減
	無利子借入金等	0	0	0	
	支出	138	4	△ 134	
	新設・改築費等	0	0	0	・点検結果等により補修実施時期を見直したこと等による修繕費の減
	修繕費等	138	4	△ 134	
	災害復旧費	0	0	0	
	債務	0	4	4	
	債務残高(平成25年度期首)	0	0	0	
	機構への引き渡し債務	138	0	△ 138	
	有利子借入金	138	0	△ 138	・修繕事業において、点検結果等により補修実施時期を見直したこと等による減
社会資本借入金	0	0	0		
無利子借入金	0	0	0		

注1) 本文に記載のあるとおり、決算の金額とは一致しない。

注2) 端数処理の関係上、計が合わないことがある。

平成25年度(2013年度) 債務返済計画と実績の対比

【一般国道31号(広島県道路)】

〔高速道路機構〕

[単位:百万円(消費税込み)]

	計画(A)	実績(B)	差額 (B)-(A)	差異の理由
未償還残高(平成25年度期首)	16,521	15,382	△ 1,139	
債務残高(平成25年度期首)	16,521	15,382	△ 1,139	
有利子借入金	16,521	15,382	△ 1,139	
社会資本借入金	0	0	0	・前年度までの引受け債務の減、貸付料の増等
出資金	0	0	0	
会社からの引受け債務	798	61	△ 737	
有利子借入金	798	61	△ 737	
社会資本借入金	0	0	0	・修繕事業において、対外協議等により補修実施時期を見直したこと等による減
無利子借入金	0	0	0	
収入	2,264	2,422	158	
貸付料	2,260	2,401	141	
占用料等 [※]	4	21	17	・料金収入が加算基準額を上回ったことによる貸付料の増 ・高速道路通行者負担軽減補助金の受け入れによる占用料等の増
出資金等 [※]	0	0	0	
支出	397	338	△ 59	
管理費等 [※]	74	115	41	
支払利息	324	223	△ 100	・貸付料の増及び引受け債務の減に伴う納付消費税の増による管理費等の増 ・計画より低金利の資金調達等による支払利息の減
無利子貸付金	0	0	0	
収支差	1,867	2,084	217	
未償還残高(平成26年度期首)	15,452	13,359	△ 2,093	
債務残高(平成26年度期首)	15,452	13,359	△ 2,093	
有利子借入金	15,452	13,359	△ 2,093	
社会資本借入金	0	0	0	・引受け債務の減、貸付料の増等
出資金	0	0	0	

注1) 本文に記載のあるとおり、決算の金額とは一致しない。

注2) 端数処理の関係上、計が合わないことがある。

※「占用料等」は機構法施行令第3条に定める占用料、連結料など、「出資金等」は国等からの出資金及び機構法第25条に定める災害復旧に要する補助金など、「管理費等」は機構管理費及び消費税である。

【一般国道31号(広島呉道路)】

〔西日本高速道路株〕

[単位:百万円(消費税込み)]

		計画(A)	実績(B)	差額 (B)-(A)	差異の理由
に 新 保 ら な 資 産 形 成	収入(料金収入)	3,265	3,471	206	・計画に比べ実績交通量が増加したことによる収入の増 ・点検結果等に基づく補修時期の見直し等による支出の減 ・料金収入が加算基準額を上回ったことによる貸付料の増
	支出(計画管理費)	1,005	734	△ 271	
	貸付料支払い	2,260	2,401	141	
新 た な 資 産 形 成 に 係 る 部 分	収入	798	252	△ 546	
	有利子借入金	798	252	△ 546	・資産形成に係る支出減少に伴う借入金の減
	無利子借入金等	0	0	0	
	支出	798	252	△ 546	
	新設・改築費等	0	0	0	・対外協議等により補修実施時期を見直したこと等による減
	修繕費等	798	252	△ 546	
	災害復旧費	0	0	0	
	債務	0	287	287	
	債務残高(平成25年度期首)	0	97	97	・前年度までの工事工程見直し等による増
	機構への引き渡し債務	798	61	△ 737	
	有利子借入金	798	61	△ 737	・修繕事業において、対外協議等により補修実施時期を見直したこと等による減
社会資本借入金	0	0	0		
無利子借入金	0	0	0		

注1) 本文に記載のあるとおり、決算の金額とは一致しない。

注2) 端数処理の関係上、計が合わないことがある。

平成25年度(2013年度) 債務返済計画と実績の対比

【一般国道165号及び一般国道166号(南阪奈道路)】

〔高速道路機構〕

[単位:百万円(消費税込み)]

	計画(A)	実績(B)	差額 (B) - (A)	差異の理由
未償還残高(平成25年度期首)	9,913	3,787	△ 6,125	
債務残高(平成25年度期首)	9,913	3,787	△ 6,125	
有利子借入金	9,913	3,787	△ 6,125	・前年度までの引受け債務額の減、貸付料の増等
社会資本借入金	0	0	0	
出資金	0	0	0	
会社からの引受け債務	134	117	△ 17	
有利子借入金	134	117	△ 17	
社会資本借入金	0	0	0	
無利子借入金	0	0	0	
収入	550	1,445	895	
貸付料	550	1,445	895	・料金収入が加算基準額を上回ったことによる貸付料の増
占用料等 [※]	0	0	0	
出資金等 [※]	0	0	0	
支出	327	114	△ 213	
管理費等 [※]	21	65	44	・貸付料の増及び引受け債務の減に伴う納付消費税の増による管理費等の増 ・計画より低金利の資金調達等による支払利息の減
支払利息	306	49	△ 257	
無利子貸付金	0	0	0	
収支差	223	1,331	1,108	
未償還残高(平成26年度期首)	9,824	2,574	△ 7,250	
債務残高(平成26年度期首)	9,824	2,574	△ 7,250	
有利子借入金	9,824	2,574	△ 7,250	・引受け債務の減、貸付料の増等
社会資本借入金	0	0	0	
出資金	0	0	0	

注1) 本文に記載のあるとおり、決算の金額とは一致しない。

注2) 端数処理の関係上、計が合わないことがある。

※「占用料等」は機構法施行令第3条に定める占用料、連結料など、「出資金等」は国等からの出資金及び機構法第25条に定める災害復旧に要する補助金など、「管理費等」は機構管理費及び消費税である。

【一般国道165号及び一般国道166号(南阪奈道路)】

【西日本高速道路㈱】

[単位:百万円(消費税込み)]

		計画(A)	実績(B)	差額 (B)-(A)	差異の理由
に 新 保 ら な 資 産 形 成	収入(料金収入)	1,144	2,061	917	・計画に比べ実績交通量が増加したことによる収入の増 ・点検結果等に基づく補修時期の見直し等による支出の減 ・料金収入が加算基準額を上回ったことによる貸付料の増
	支出(計画管理費)	594	505	△ 89	
	貸付料支払い	550	1,445	895	
新 た な 資 産 形 成 に 係 る 部 分	収入	134	177	43	
	有利子借入金	134	177	43	
	無利子借入金等	0	0	0	
	支出	134	177	43	
	新設・改築費等	0	0	0	
	修繕費等	134	177	43	
	災害復旧費	0	0	0	
	債務	0	81	81	
	債務残高(平成25年度期首)	0	22	22	・前年度までの工事工程見直し等による増
	機構への引き渡し債務	134	117	△ 17	
	有利子借入金	134	117	△ 17	
社会資本借入金	0	0	0		
無利子借入金	0	0	0		

注1) 本文に記載のあるとおり、決算の金額とは一致しない。

注2) 端数処理の関係上、計が合わないことがある。

平成25年度(2013年度) 債務返済計画と実績の対比

【一般国道201号(八木山バイパス)】

〔高速道路機構〕

[単位:百万円(消費税込み)]

	計画(A)	実績(B)	差額 (B)-(A)	差異の理由
未償還残高(平成25年度期首)	311	△ 1,303	△ 1,614	
債務残高(平成25年度期首)	311	△ 1,303	△ 1,614	
有利子借入金	311	△ 1,303	△ 1,614	・前年度までの会社からの引受け債務の減、貸付料の増等
社会資本借入金	0	0	0	
出資金	0	0	0	
会社からの引受け債務	1,795	2,868	1,073	
有利子借入金	1,795	2,868	1,073	・対外協議等により補修実施時期を見直したこと等による増
社会資本借入金	0	0	0	
無利子借入金	0	0	0	
収入	1,152	1,394	242	
貸付料	1,152	1,394	242	・料金収入が加算基準額を上回ったことによる貸付料の増
占用料等 [※]	0	0	0	
出資金等 [※]	0	0	0	
支出	△ 29	△ 68	△ 40	
管理費等 [※]	△ 29	△ 68	△ 40	・引受け債務の増に伴う還付消費税の増による管理費等の減
支払利息	0	0	0	
無利子貸付金	0	0	0	
収支差	1,181	1,462	281	
未償還残高(平成26年度期首)	925	103	△ 822	
債務残高(平成26年度期首)	925	103	△ 822	
有利子借入金	925	103	△ 822	貸付料の増等
社会資本借入金	0	0	0	
出資金	0	0	0	

注1) 本文に記載のあるとおり、決算の金額とは一致しない。

注2) 端数処理の関係上、計が合わないことがある。

※「占用料等」は機構法施行令第3条に定める占用料、連結料など、「出資金等」は国等からの出資金及び機構法第25条に定める災害復旧に要する補助金など、「管理費等」は機構管理費及び消費税である。

【一般国道201号(八木山バイパス)】

[西日本高速道路株]

[単位:百万円(消費税込み)]

		計画(A)	実績(B)	差額 (B)-(A)	差異の理由
に新たな 保たない 資産形成 部分	収入(料金収入)	1,432	1,717	285	・計画に比べ実績交通量が増加したことによる収入の増 ・点検結果等に基づく補修の増による支出の増 ・料金収入が加算基準額を上回ったことによる貸付料の増
	支出(計画管理費)	280	388	108	
	貸付料支払い	1,152	1,394	242	
新たな 資産形成 に係る 部分	収入	1,452	2,310	858	・資産形成に係る支出増加に伴う借入金の増
	有利子借入金	1,452	2,310	858	
	無利子借入金等	0	0	0	
	支出	1,452	2,310	858	・対外協議等により、補修実施時期を見直したこと等による修繕費等の増
	新設・改築費等	0	0	0	
	修繕費等	1,452	2,310	858	
	災害復旧費	0	0	0	
	債務	0	0	0	
	債務残高(平成25年度期首)	343	557	214	・前年度までの工事工程見直し等による増
	機構への引き渡し債務	1,795	2,868	1,073	・修繕事業において、対外協議等により補修実施時期を見直したこと等による増
	有利子借入金	1,795	2,868	1,073	
社会資本借入金	0	0	0		
無利子借入金	0	0	0		

注1) 本文に記載のあるとおり、決算の金額とは一致しない。

注2) 端数処理の関係上、計が合わないことがある。

全国路線網に属する高速道路における東日本高速道路(株)、中日本高速道路(株)及び西日本高速道路(株)から徴収する貸付料を充てて返済を行う債務の額を高速道路会社ごとに試算した平成25年度(2013年度)期末の債務残高の計画と実績の対比

[単位:兆円]

	計画	実績	差額	差異の理由
東日本高速道路(株)	9.2	8.7	0.6	債務引受額の減 貸付料の増 等
中日本高速道路(株)	6.8	6.4	0.4	債務引受額の減 貸付料の増 等
西日本高速道路(株)	8.2	8.2	0.0	債務引受額の減 貸付料の増 等
合計	24.2	23.2	0.9	

注)端数処理の関係上、計が合わないことがある。

高速道路会社も含めた高速道路事業全体の債務残高及び債務返済状況

債務残高及び債務返済状況^{注1)}

[単位:兆円]

		計 画 (A)	実 績 (B)	差 額 (B)－(A)
会 社	H25期首	2.2	1.8	△ 0.4
	新たな資産形成	1.9	0.8	△ 1.0
	引き渡し債務	1.2	0.5	△ 0.6
	債務残高 ^{注2)}	2.9	2.1	△ 0.8
機 構	H25期首	30.9	30.4	△ 0.4
	引受け債務	1.2	0.5	△ 0.6
	基礎収支 (貸付料－支払利息)	1.1	1.2	0.2
	債務返済 その他収支	0.0	0.1	0.0
	債務返済 計	1.1	1.3	0.2
	債務残高	30.9	29.7	△ 1.2
合 計	債務残高	33.8	31.8	△ 2.0

出資金

H25期首	5.4	5.4	△ 0.0
H25増加分	0.1	0.1	△ 0.0
出資金累計額	5.5	5.5	△ 0.0

未償還残高

債務残高(会社＋機構)＋出資金	39.3	37.3	△ 2.0
-----------------	------	------	-------

注1) 債務返済計画ベースの数値である。

注2) 機構が出資金を財源として会社に貸し付けた無利子借入金分は機構の出資金と重複するため除いている。

注3) 端数処理の関係上、計が合わないことがある。

平成25年度(2013年度) 高速道路機構のセグメント情報(高速道路勘定・損益計算書)

[単位: 億円(消費税抜き)]

	全国路線網	地域路線網				一の路線	損益計算書計上額
		首都高速道路	阪神高速道路(阪神圏)	阪神高速道路(京都圏)	本四高速道路		
経常費用							
道路資産貸付業務費	6,949.5	1,443.6	872.7	26.8	384.1	28.7	9,705.6
貸付原価	6,949.5	1,443.6	872.7	26.8	384.1	28.7	9,705.6
貸付道路資産減価償却費	6,719.1	1,355.2	810.5	26.7	370.0	26.3	9,308.1
固定資産除却損	220.8	83.6	60.4	0.0	13.6	2.3	380.9
その他	9.5	4.7	1.7	0.0	0.4	0.0	16.6
経営努力助成業務費	7.2	—	—	—	—	—	7.2
経営努力助成金	7.2	—	—	—	—	—	7.2
一般管理費	10.2	1.5	1.0	0.0	0.3	0.0	13.3
人件費	6.6	1.0	0.6	0.0	0.2	0.0	8.7
経費	3.5	0.5	0.3	0.0	0.1	0.0	4.6
財務費用	3,282.9	601.1	462.7	18.5	221.3	3.4	4,590.2
支払利息	3,224.5	585.0	449.5	17.9	218.2	3.4	4,498.8
債券利息	3,034.8	542.2	422.6	16.9	212.7	3.2	4,232.7
債券発行差額償却費	72.5	15.1	11.0	0.4	5.2	0.0	104.4
支払利息	117.1	27.6	15.8	0.6	0.2	0.0	161.5
債券発行費	55.2	15.5	12.8	0.5	2.8	0.0	87.1
その他の財務費用	3.1	0.5	0.4	0.0	0.2	0.0	4.2
債券償還手数料	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1
その他	2.9	0.4	0.3	0.0	0.1	0.0	4.0
道路資産取得関連費用	223.6	7.4	44.2	0.0	1.4	1.0	277.9
道路建設人件費償却費	90.8	6.6	19.8	0.0	0.9	0.6	118.9
道路建設経費償却費	86.6	0.4	19.3	0.0	0.5	0.4	107.4
道路建設金利償却費	46.1	0.3	4.9	0.0	0.0	0.0	51.5
雑損	1.1	—	0.0	—	—	—	1.2
経常費用合計	10,474.8	2,053.7	1,380.8	45.3	607.3	33.4	14,595.6
経常収益							
道路資産貸付料収入	12,419.0	1,936.8	1,294.0	22.0	466.1	68.8	16,206.9
占用料収入	8.3	8.9	3.6	0.0	0.9	0.0	21.9
連結料収入	21.0	0.0	0.0	—	0.4	—	21.5
その他収入	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
補助金等収益	619.6	—	—	—	—	0.3	620.0
資産見返負債戻入	57.4	2.5	0.2	—	0.1	0.0	60.3
資産見返補助金等戻入	38.4	0.2	—	—	—	—	38.6
資産見返寄附金戻入	18.9	2.3	0.2	—	0.1	0.0	21.7
財務収益	6.9	1.2	1.7	0.0	0.6	0.0	10.6
受取利息	6.9	1.2	1.7	0.0	0.6	0.0	10.6
雑益	8.9	1.6	0.6	0.0	7.9	0.0	19.3
経常収益合計	13,141.5	1,951.1	1,300.2	22.1	476.2	69.3	16,960.7
経常利益又は経常損失(△)	2,666.7	△ 102.6	△ 80.5	△ 23.2	△ 131.1	35.9	2,365.1
臨時損失							
高速道路利便増進事業引当金繰入	308.9	64.1	0.6	0.0	△ 10.5	△ 1.4	361.7
高速道路利便増進事業引当金繰入	282.5	△ 4.2	△ 7.8	—	△ 10.5	△ 1.4	258.4
固定資産売却損	0.2	—	—	—	—	—	0.2
固定資産譲渡損	12.1	—	—	—	—	—	12.1
前期損益修正損	14.0	68.4	8.5	0.0	0.0	0.0	90.9
臨時利益							
高速道路利便増進事業引当金戻入	3,347.3	181.0	111.8	12.9	223.9	35.6	3,912.7
高速道路利便増進事業引当金戻入	3,342.4	180.6	111.8	12.9	237.8	20.8	3,906.6
固定資産売却益	5.4	—	—	—	—	—	5.4
前期損益修正益	—	—	—	—	—	—	—
〔債務振替に伴う承継益 注1〕	△ 0.7	—	—	—	△ 13.9	14.7	—
その他	0.1	0.4	—	—	—	—	0.6
当期純利益	5,705.0	14.3	30.6	△ 10.3	103.3	73.0	5,916.0
当期総利益	5,705.0	14.3	30.6	△ 10.3	103.3	73.0	5,916.0

注1)「債務振替に伴う承継益」は、高速道路利便増進事業の変更による債務の振替によってセグメント間における内部調整として発生したものであり、決算上の数値には表示されない。

注2) 端数処理の関係上、計が合わないことがある。

平成25年度(2013年度) 高速道路機構のセグメント情報(高速道路勘定・損益計算書)(一の路線)

[単位:億円(消費税抜き)]

	一の路線				
	一般国道16号 (八王子バイパス)	一般国道158号 (中部縦貫自動車道(安房 峠道路))	一般国道31号 (広島県道路)	一般国道165号 及び一般国道166号 (南阪奈道路)	一般国道201号 (八木山バイパス)
経常費用					
道路資産貸付業務費	2.6	2.1	10.4	6.4	7.1
貸付原価	2.6	2.1	10.4	6.4	7.1
貸付道路資産減価償却費	2.6	2.1	10.3	6.3	4.9
固定資産除却損	—	—	0.1	0.0	2.1
その他	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
経営努力助成業務費	—	—	—	—	—
経営努力助成金	—	—	—	—	—
一般管理費	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
人件費	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
経費	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
財務費用	0.5	0.2	2.2	0.4	—
支払利息	0.4	0.2	2.1	0.4	—
債券利息	0.4	0.2	2.0	0.4	—
債券発行差額償却費	0.0	0.0	0.0	0.0	—
支払利息	0.0	0.0	0.0	0.0	—
債券発行費	0.0	0.0	0.0	0.0	—
その他の財務費用	0.0	0.0	0.0	0.0	—
債券償還手数料	0.0	0.0	0.0	0.0	—
その他	0.0	0.0	0.0	0.0	—
道路資産取得関連費用	0.0	0.0	0.0	0.0	0.9
道路建設人件費償却費	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5
道路建設経費償却費	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3
道路建設金利償却費	—	—	0.0	0.0	0.0
雑損	—	—	—	—	—
経常費用合計	3.1	2.3	12.7	6.9	8.1
経常収益					
道路資産貸付料収入	17.0	1.9	22.8	13.7	13.2
占用料収入	0.0	0.0	0.0	—	0.0
連結料収入	—	—	—	—	—
その他収入	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
補助金等収益	0.1	—	0.1	—	—
資産見返負債戻入	—	0.0	0.0	0.0	—
資産見返補助金等戻入	—	—	—	—	—
資産見返寄附金戻入	—	0.0	0.0	0.0	—
財務収益	0.0	0.0	0.0	0.0	—
受取利息	0.0	0.0	0.0	0.0	—
雑益	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
経常収益合計	17.2	1.9	23.1	13.7	13.2
経常利益又は経常損失(△)	14.0	△ 0.4	10.3	6.7	5.1
臨時損失					
高速道路利便増進事業引当金繰入	1.2	△ 0.2	0.2	△ 2.9	0.3
固定資産売却損	1.2	△ 0.2	0.2	△ 2.9	0.3
固定資産譲渡損	—	—	—	—	—
前期損益修正損	—	—	—	—	—
前期損益修正損	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
臨時利益					
高速道路利便増進事業引当金戻入	7.6	1.8	7.8	15.9	2.2
固定資産売却益	6.6	1.8	7.1	3.3	1.9
固定資産売却益	—	—	—	—	—
前期損益修正益	—	—	—	—	—
前期損益修正益	—	—	—	—	—
[債務振替に伴う承継益 注1)	1.0	—	0.7	12.6	0.3]
その他	—	—	—	—	—
当期純利益	20.4	1.6	18.0	25.7	7.1
当期総利益	20.4	1.6	18.0	25.7	7.1

注1)「債務振替に伴う承継益」は、高速道路利便増進事業の変更による債務の振替によってセグメント間における内部調整として発生したものであり、決算上の数値には表示されない。

注2) 端数処理の関係上、計が合わないことがある。

平成25年度(2013年度) 高速道路機構のセグメント情報(高速道路勘定・貸借対照表)

[単位:億円(消費税抜き)]

	全国路線網	地域路線網				一の路線	貸借対照表計上額
		首都高速道路	阪神高速道路 (阪神圏)	阪神高速道路 (京都圏)	本四高速道路		
資産の部							
I 流動資産							
現金預金	12.4	1.9	1.2	0.0	0.4	0.6	16.8
有価証券	1,712.3	267.0	178.4	3.0	64.2	19.8	2,245.0
道路資産貸付料等未収入金	2,254.1	169.5	113.2	4.4	127.7	18.5	2,687.6
未収入金	7.6	0.1	0.4	0.0	0.0	0.0	8.2
短期貸付金	5.7	798.7	19.2	—	—	—	823.7
貯蔵品	25.8	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	26.0
前払金	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1
前払費用	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
未収収益	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
流動資産合計	4,018.2	1,237.4	312.6	7.6	192.5	38.9	5,807.5
II 固定資産							
1 有形固定資産							
建物	3,089.6	728.9	195.7	31.5	102.8	11.5	4,160.1
減価償却累計額	△ 889.7	△ 145.8	△ 51.2	△ 5.1	△ 37.3	△ 3.9	△ 1,133.2
構築物	256,041.8	50,876.0	29,105.5	1,229.2	24,300.6	851.3	362,404.6
減価償却累計額	△ 49,038.4	△ 9,536.6	△ 6,130.0	△ 130.9	△ 3,034.3	△ 198.0	△ 68,068.4
機械装置	9,158.2	2,073.6	783.1	46.0	327.9	49.7	12,438.9
減価償却累計額	△ 4,398.6	△ 903.6	△ 337.3	△ 19.3	△ 180.6	△ 29.5	△ 5,869.3
工具器具備品	34.6	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	34.9
減価償却累計額	△ 18.2	△ 0.0	△ 0.0	△ 0.0	△ 0.1	△ 0.0	△ 18.4
土地	69,447.6	10,566.8	6,607.2	133.5	2,229.3	431.2	89,415.8
建設仮勘定	3,086.4	84.3	716.5	—	—	—	3,887.4
有形固定資産合計	286,513.3	53,743.6	30,889.7	1,284.9	23,708.4	1,112.2	397,252.4
2 無形固定資産							
借地権	47.1	2,202.5	296.5	28.2	15.4	0.0	2,589.9
ソフトウェア	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5
その他	10.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.9
無形固定資産合計	58.4	2,202.5	296.5	28.2	15.5	0.0	2,601.3
3 投資その他の資産							
長期貸付金	19.6	867.8	521.3	—	—	—	1,408.7
敷金保証金	1.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	1.4
投資その他の資産合計	20.7	867.9	521.4	0.0	0.0	0.0	1,410.2
固定資産合計	286,592.5	56,814.1	31,707.7	1,313.1	23,724.0	1,112.3	401,264.0
資産合計	290,610.8	58,051.6	32,020.3	1,320.8	23,916.6	1,151.3	407,071.6
負債の部							
I 流動負債							
1年以内償還予定機構債	24,232.0	6,042.2	3,267.4	128.8	1,047.4	22.9	34,740.8
債券発行差額	△ 5.7	△ 1.9	△ 1.1	△ 0.0	△ 0.2	△ 0.0	△ 9.0
1年以内返済予定長期借入金	3,808.5	1,057.1	304.4	12.0	227.2	0.4	5,409.8
未払金	758.3	136.5	10.0	31.7	21.4	2.1	960.2
未払費用	593.9	99.0	89.7	3.5	37.4	0.6	824.3
預り金	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
引当金	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5
賞与引当金	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5
流動負債合計	29,393.3	7,335.0	3,671.7	176.1	1,333.5	26.0	41,935.9
II 固定負債							
資産見返負債	956.0	143.3	8.6	—	1.5	1.3	1,110.9
資産見返補助金等	552.5	6.1	—	—	—	—	558.6
資産見返寄附金	403.5	137.1	8.6	—	1.5	1.3	552.2
長期預り寄附金	184.0	—	—	—	—	—	184.0
機構債	180,030.7	28,239.4	23,962.4	743.9	11,050.6	193.8	244,221.1
債券発行差額	△ 742.6	△ 156.4	△ 115.8	△ 3.5	△ 53.2	△ 0.9	△ 1,072.6
長期借入金	2,745.3	4,621.6	1,858.5	73.2	1,341.6	0.2	10,640.7
長期未払金	4,795.7	—	—	—	—	—	4,795.7
引当金	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1
退職給付引当金	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1
固定負債合計	188,712.0	33,004.4	25,829.6	817.2	12,393.8	195.4	260,952.7
III 法令に基づく引当金等							
高速道路利便増進事業引当金	—	4,158.1	2,877.9	48.6	—	—	7,084.7
法令に基づく引当金等合計	—	4,158.1	2,877.9	48.6	—	—	7,084.7
負債合計	218,105.4	44,497.7	32,379.3	1,042.0	13,727.3	221.5	309,973.4
純資産の部							
I 資本金							
政府出資金	19,548.6	5,203.7	3,426.5	225.9	11,584.1	—	39,989.0
地方公共団体出資金	—	5,203.7	3,426.5	225.9	5,798.0	—	14,654.3
資本金合計	19,548.6	10,407.4	6,853.1	451.9	17,382.2	—	54,643.4
II 資本剰余金							
資本剰余金	0.8	—	—	—	—	—	0.8
施行法第15条による積立金	18,841.5	2,996.9	△ 7,441.2	—	△ 6,604.0	682.6	8,475.7
資本剰余金合計	18,842.3	2,996.9	△ 7,441.2	—	△ 6,604.0	682.6	8,476.6
III 利益剰余金							
積立金	28,409.2	135.2	198.5	△ 162.8	△ 692.2	174.1	28,062.0
当期未処分利益	5,705.0	14.3	30.6	△ 10.3	103.3	73.0	5,916.0
利益剰余金合計	34,114.3	149.5	229.2	△ 173.1	△ 588.9	247.1	33,978.1
純資産合計	72,505.3	13,553.9	△ 358.9	278.7	10,189.2	929.8	97,098.2
負債純資産合計	290,610.8	58,051.6	32,020.3	1,320.8	23,916.6	1,151.3	407,071.6

注)端数処理の関係上、計が合わないことがある。

平成25年度(2013年度) 高速道路機構のセグメント情報(高速道路勘定・貸借対照表)(一の路線)

[単位:億円(消費税抜き)]

	一の路線				
	一般国道16号 (八王子バイパス)	一般国道158号 (中部縦貫自動車道(安房 峠道路))	一般国道31号 (広島呉道路)	一般国道165号 及び一般国道166号 (南阪奈道路)	一般国道201号 (八木山バイパス)
資産の部					
I 流動資産					
現金預金	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
有価証券	2.3	0.2	3.1	1.8	1.8
道路資産貸付料等未収入金	1.4	0.9	3.3	9.3	3.3
未収入金	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
短期貸付金	—	—	—	—	—
貯蔵品	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
前払金	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
前払費用	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
未収収益	0.0	0.0	0.0	0.0	—
その他	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
流動資産合計	3.8	1.2	6.5	11.2	5.2
II 固定資産					
1 有形固定資産					
建物	0.7	3.1	4.2	2.2	1.1
減価償却累計額	△ 0.4	△ 1.1	△ 1.2	△ 0.6	△ 0.4
構築物	98.1	13.4	334.5	207.8	197.2
減価償却累計額	△ 22.3	△ 6.5	△ 85.4	△ 44.9	△ 38.7
機械装置	0.7	17.7	9.8	15.0	6.2
減価償却累計額	△ 0.4	△ 13.0	△ 5.8	△ 9.4	△ 0.7
工具器具備品	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
減価償却累計額	△ 0.0	△ 0.0	△ 0.0	△ 0.0	△ 0.0
土地	154.3	—	248.4	9.4	19.0
建設仮勘定	—	—	—	—	—
有形固定資産合計	230.9	13.6	504.5	179.5	183.7
2 無形固定資産					
借地権	—	—	0.0	—	—
ソフトウェア	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無形固定資産合計	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
3 投資その他の資産					
長期貸付金	—	—	—	—	—
敷金保証金	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
投資その他の資産合計	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
固定資産合計	230.9	13.6	504.5	179.5	183.7
資産合計	234.7	14.8	511.0	190.8	188.9
負債の部					
I 流動負債					
1年以内償還予定機構債	3.3	1.6	14.7	3.2	—
債券発行差額	△ 0.0	△ 0.0	△ 0.0	△ 0.0	—
1年以内返済予定長期借入金	0.0	0.0	0.2	0.0	—
未払金	0.9	0.0	1.1	0.6	△ 0.7
未払費用	0.0	0.0	0.3	0.0	0.0
預り金	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
引当金	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
賞与引当金	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
流動負債合計	4.4	1.7	16.5	4.0	△ 0.7
II 固定負債					
資産見返負債	—	0.1	1.2	0.0	—
資産見返補助金等	—	—	—	—	—
資産見返寄附金	—	0.1	1.2	0.0	—
長期預り寄附金	—	—	—	—	—
機構債	20.5	13.2	123.4	30.1	6.4
債券発行差額	△ 0.0	△ 0.0	△ 0.5	△ 0.1	△ 0.0
長期借入金	0.0	0.0	0.1	0.0	—
長期未払金	—	—	—	—	—
引当金	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
退職給付引当金	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
固定負債合計	20.6	13.3	124.8	30.1	6.4
III 法令に基づく引当金等					
高速道路利便増進事業引当金	—	—	—	—	—
法令に基づく引当金等合計	—	—	—	—	—
負債合計	25.0	15.1	141.3	34.1	5.7
純資産の部					
I 資本金					
政府出資金	—	—	—	—	—
地方公共団体出資金	—	—	—	—	—
資本金合計	—	—	—	—	—
II 資本剰余金					
資本剰余金	—	—	—	—	—
施行法第15条による積立金	42.5	△ 8.9	258.1	71.2	117.4
資本剰余金合計	42.5	△ 8.9	258.1	71.2	117.4
III 利益剰余金					
積立金	146.7	6.9	93.5	59.6	58.5
当期未処分利益	20.4	1.6	18.0	25.7	7.1
利益剰余金合計	167.2	8.6	111.5	85.4	65.6
純資産合計	209.7	△ 0.3	369.7	156.6	183.1
負債純資産合計	234.7	14.8	511.0	190.8	188.9

注) 端数処理の関係上、計が合わないことがある。

平成25年度(2013年度) 高速道路機構のセグメント情報(損益計算書)
(全国路線網の高速道路会社所管分内訳)(試算値)

[単位:億円(消費税抜き)]

	東日本高速道路㈱ 所管分	中日本高速道路㈱ 所管分	西日本高速道路㈱ 所管分	合計
経常費用				
道路資産貸付業務費	2,539.6	2,132.2	2,277.6	6,949.5
貸付原価	2,539.6	2,132.2	2,277.6	6,949.5
貸付道路資産減価償却費	2,475.5	2,033.8	2,209.7	6,719.1
固定資産除却損	60.7	95.2	64.8	220.8
その他	3.3	3.1	3.0	9.5
経営努力助成業務費	4.1	0.1	2.9	7.2
経営努力助成金	4.1	0.1	2.9	7.2
一般管理費	3.8	2.9	3.4	10.2
人件費	2.4	1.9	2.2	6.6
経費	1.3	1.0	1.2	3.5
財務費用	1,242.4	915.6	1,124.9	3,282.9
支払利息	1,220.7	899.1	1,104.6	3,224.5
債券利息	1,125.5	856.7	1,052.5	3,034.8
債券発行差額償却費	26.9	20.4	25.1	72.5
支払利息	68.2	21.9	26.9	117.1
債券発行費	20.5	15.5	19.1	55.2
その他の財務費用	1.1	0.8	1.0	3.1
債券償還手数料	0.0	0.0	0.0	0.1
その他	1.1	0.8	1.0	2.9
道路資産取得関連費用	68.1	31.2	124.2	223.6
道路建設人件費償却費	28.8	14.3	47.6	90.8
道路建設経費償却費	28.8	13.7	43.9	86.6
道路建設金利償却費	10.4	3.1	32.6	46.1
雑損	0.4	0.2	0.5	1.1
経常費用合計	3,858.5	3,082.3	3,533.8	10,474.8
経常収益				
道路資産貸付料収入	4,618.4	3,586.9	4,213.7	12,419.0
占用料収入	3.2	2.0	3.0	8.3
連結料収入	5.9	9.4	5.5	21.0
その他収入	0.0	0.0	0.0	0.0
補助金等収益	190.1	222.9	206.5	619.6
資産見返負債戻入	44.0	7.9	5.5	57.4
資産見返補助金等戻入	38.4	—	—	38.4
資産見返寄附金戻入	5.5	7.9	5.5	18.9
財務収益	2.5	1.9	2.4	6.9
受取利息	2.5	1.9	2.4	6.9
雑益	2.2	3.6	3.0	8.9
経常収益合計	4,866.7	3,834.9	4,439.8	13,141.5
経常利益又は経常損失(△)	1,008.1	752.5	906.0	2,666.7
臨時損失	169.0	73.2	66.7	308.9
高速道路利便増進事業引当金繰入	154.2	62.1	66.1	282.5
固定資産売却損	0.1	—	0.0	0.2
固定資産譲渡損	12.1	—	—	12.1
前期損益修正損	2.4	11.0	0.5	14.0
臨時利益	1,045.4	1,130.3	1,171.5	3,347.3
高速道路利便増進事業引当金戻入	1,045.5	1,130.5	1,166.3	3,342.4
固定資産売却益	0.0	0.0	5.4	5.4
前期損益修正益	—	—	—	—
〔 債務振替に伴う承継益 注1) 〕	△ 0.2	△ 0.2	△ 0.2	△ 0.7]
その他	0.1	0.0	—	0.1
当期純利益	1,884.5	1,809.6	2,010.8	5,705.0
当期総利益	1,884.5	1,809.6	2,010.8	5,705.0

注1)「債務振替に伴う承継益」は、高速道路利便増進事業の変更による債務の振替によってセグメント間における内部調整として発生したものであり、決算上の数値には表示されない。

注2)端数処理の関係上、計が合わないことがある。

平成25年度(2013年度) 高速道路機構のセグメント情報(貸借対照表)
(全国路線網の高速道路会社所管分内訳)(試算値)

[単位: 億円(消費税抜き)]

	東日本高速道路機 所管分	中日本高速道路機 所管分	西日本高速道路機 所管分	合計
資産の部				
I 流動資産				
現金預金	4.6	3.5	4.2	12.4
有価証券	636.8	494.5	581.0	1,712.3
道路資産貸付料等未収入金	901.5	572.8	779.6	2,254.1
未収入金	6.7	0.4	0.3	7.6
短期貸付金	1.0	2.6	1.9	5.7
貯蔵品	3.7	1.3	20.7	25.8
前払金	0.0	0.0	0.0	0.0
前払費用	0.0	0.0	0.0	0.0
未収収益	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	0.0	0.0	0.0	0.0
流動資産合計	1,554.7	1,075.4	1,388.0	4,018.2
II 固定資産				
1 有形固定資産				
建物	1,146.2	936.3	1,007.0	3,089.6
減価償却累計額	△ 374.3	△ 238.1	△ 277.2	△ 889.7
構築物	94,658.8	74,177.5	87,205.4	256,041.8
減価償却累計額	△ 19,112.2	△ 12,829.3	△ 17,096.9	△ 49,038.4
機械装置	3,063.0	2,968.7	3,126.3	9,158.2
減価償却累計額	△ 1,618.5	△ 1,210.4	△ 1,569.7	△ 4,398.6
工具器具備品	17.1	14.6	2.8	34.6
減価償却累計額	△ 9.3	△ 7.0	△ 1.8	△ 18.2
土地	20,892.8	24,495.0	24,059.7	69,447.6
建設仮勘定	1,309.2	1,465.9	311.3	3,086.4
有形固定資産合計	99,972.8	89,773.3	96,767.1	286,513.3
2 無形固定資産				
借地権	18.9	17.8	10.4	47.1
ソフトウェア	0.0	0.0	0.3	0.4
その他	1.9	3.9	4.9	10.8
無形固定資産合計	20.9	21.8	15.6	58.4
3 投資その他の資産				
長期貸付金	5.1	7.4	7.0	19.6
敷金保証金	0.4	0.3	0.3	1.1
投資その他の資産合計	5.5	7.7	7.4	20.7
固定資産合計	99,999.3	89,802.9	96,790.2	286,592.5
資産合計	101,554.1	90,878.4	98,178.2	290,610.8
負債の部				
I 流動負債				
1年以内償還予定機構債	9,033.4	7,134.5	8,064.0	24,232.0
債券発行差額	△ 2.1	△ 1.6	△ 2.0	△ 5.7
1年以内返済予定長期借入金	629.5	2,212.8	966.1	3,808.5
未払金	332.2	195.3	230.7	758.3
未払費用	214.5	180.4	198.9	593.9
預り金	0.0	0.0	0.0	0.0
引当金	0.1	0.1	0.1	0.4
賞与引当金	0.1	0.1	0.1	0.4
流動負債合計	10,209.9	9,723.2	9,460.1	29,393.3
II 固定負債				
資産見返負債	661.4	174.7	119.8	956.0
資産見返補助金等	552.5	—	—	552.5
資産見返寄附金	108.9	174.7	119.8	403.5
長期預り寄附金	61.3	61.3	61.3	184.0
機構債	75,652.8	43,040.8	61,337.0	180,030.7
債券発行差額	△ 332.0	△ 147.0	△ 263.5	△ 742.6
長期借入金	264.9	1,334.7	1,145.7	2,745.3
長期未払金	4,795.7	—	—	4,795.7
引当金	0.0	0.0	0.0	0.1
退職給付引当金	0.0	0.0	0.0	0.1
固定負債合計	81,436.2	44,611.7	62,664.0	188,712.0
III 法令に基づく引当金等				
高速道路利便増進事業引当金	—	—	—	—
法令に基づく引当金等合計	—	—	—	—
負債合計	91,646.2	54,334.9	72,124.2	218,105.4
純資産の部				
I 資本金				
政府出資金	7,668.0	5,104.5	6,776.0	19,548.6
地方公共団体出資金	—	—	—	—
資本金合計	7,668.0	5,104.5	6,776.0	19,548.6
II 資本剰余金				
資本剰余金	0.3	0.0	0.4	0.8
施行法第15条による積立金	△ 6,270.5	16,583.3	8,528.7	18,841.5
資本剰余金合計	△ 6,270.2	16,583.4	8,529.1	18,842.3
III 利益剰余金				
積立金	6,625.5	13,045.8	8,737.8	28,409.2
当期未処分利益	1,884.5	1,809.6	2,010.8	5,705.0
利益剰余金合計	8,510.0	14,855.5	10,748.7	34,114.3
純資産合計	9,907.8	36,543.4	26,054.0	72,505.3
負債純資産合計	101,554.1	90,878.4	98,178.2	290,610.8

注1) 政府出資金は、各高速道路会社の貸付料で返済する債務を試算した際に、高速道路機構設立時における各高速道路会社の政府出資金と有利子債務の割合を同一と仮定して算出した試算値である。

注2) 端数処理の関係上、計が合わないことがある。

平成25年度(2013年度) 高速道路会社連結損益計算書一覽

東日本高速橋		中日本高速橋		西日本高速橋		首都高速橋		阪神高速橋		本四高速橋	
1 営業収益	8,590	6,354	8,866	3,162	3,162	3,293	788	788			
2 営業費用	4,618	3,605	4,263	1,936	1,936	1,316	466	466			
3 営業外費用	3,241	2,137	3,941	1,131	1,131	1,950	265	265			
4 減価償却費	698	590	616	88	88	41	47	47			
5 支払利息	8,568	6,334	8,821	3,156	3,156	3,307	779	779			
6 営業外収益	0	0	0	0	0	0	0	0			
7 受取利息	0	0	0	0	0	0	0	0			
8 土地物件賃付料	3	2	0	0	0	0	0	0			
9 有価証券売却益	13	3	4	0	0	0	0	0			
10 戻り金	3	3	1	0	0	0	0	0			
11 負のれん償却額	7	5	5	2	2	1	0	0			
12 営業外費用	0	0	0	0	0	0	0	0			
13 支払利息	0	0	0	0	0	0	0	0			
14 損益剰余金	0	0	0	0	0	0	0	0			
15 控除対象外消費税	0	0	0	0	0	0	0	0			
16 その他	0	0	0	0	0	0	0	0			
17 経常利益	57	34	61	8	8	0	0	0			
18 特別利益	2	0	0	0	0	0	0	0			
19 固定資産売却益	0	0	0	0	0	0	0	0			
20 投資有価証券売却益	0	10	0	0	0	0	0	0			
21 その他	0	0	13	10	10	0	0	0			
22 特別損失	6	0	1	△1	△1	0	0	0			
23 固定資産除売却損	2	0	0	0	0	0	0	0			
24 減価損失	0	0	0	0	0	0	0	0			
25 その他	0	0	0	0	0	0	0	0			
26 税金等調整前当期純利益	52	43	68	△4	△4	0	△9	△9			
27 法人税、住民税及び事業税	35	29	7	0	0	0	0	0			
28 法人税等調整額	△6	0	26	0	0	0	0	0			
29 少数株主損益調整前当期純利益	22	12	4	0	0	0	0	0			
30 当期純利益	22	12	4	0	0	0	0	0			
31 税金等調整前当期純利益	52	43	68	△4	△4	0	△9	△9			
32 法人税、住民税及び事業税	35	29	7	0	0	0	0	0			
33 法人税等調整額	△6	0	26	0	0	0	0	0			
34 少数株主損益調整前当期純利益	22	12	4	0	0	0	0	0			
35 当期純利益	22	12	4	0	0	0	0	0			
36 税金等調整前当期純利益	52	43	68	△4	△4	0	△9	△9			
37 法人税、住民税及び事業税	35	29	7	0	0	0	0	0			
38 法人税等調整額	△6	0	26	0	0	0	0	0			
39 少数株主損益調整前当期純利益	22	12	4	0	0	0	0	0			
40 当期純利益	22	12	4	0	0	0	0	0			
41 税金等調整前当期純利益	52	43	68	△4	△4	0	△9	△9			
42 法人税、住民税及び事業税	35	29	7	0	0	0	0	0			
43 法人税等調整額	△6	0	26	0	0	0	0	0			
44 少数株主損益調整前当期純利益	22	12	4	0	0	0	0	0			
45 当期純利益	22	12	4	0	0	0	0	0			

注：繰越処理の関係上、計が含まれないことがある。

平成25年度(2013年度) 高速道路会社連結貸借対照表一覧

[単位:億円(消費税抜き)]

東日本高速		中日本高速		西日本高速		首都高速		阪神高速		本州四国連絡高速	
I 流動資産	6,142	I 流動資産	11,091	I 流動資産	6,925	I 流動資産	5,359	I 流動資産	1,765	I 流動資産	349
現金及び預金	158	現金及び預金	743	現金及び預金	335	現金及び預金	172	現金及び預金	49	現金及び預金	158
高速道路事業営業未収入金	703	高速道路事業営業未収入金	510	高速道路事業営業未収入金	669	高速道路事業営業未収入金	209	高速道路事業営業未収入金	196	高速道路事業営業未収入金	84
未収入金	185	未収入金	501	短期貸付金	40	未収入金	63	未収入金	83	有価証券	74
有価証券	164	有価証券	399	有価証券	1,065	短期貸付金	469	未収還付法人税等	3	たな卸資産	41
仕掛道路資産	4,695	仕掛道路資産	8,739	仕掛道路資産	4,492	たな卸資産	4,146	未収消費税等	0	短期貸付金	6
その他のたな卸資産	36	たな卸資産	45	その他	322	受託業務前払金	173	有価証券	80	繰延税金資産	0
受託業務前払金	72	繰延税金資産	23	貸倒引当金	△ 0	前払金	23	仕掛道路資産	1,209	その他	3
繰延税金資産	13	その他	128			繰延税金資産	12	原材料及び貯蔵品	2	貸倒引当金	△ 0
その他	111	貸倒引当金	△ 0			その他	9	受託業務前払金	117		
貸倒引当金	△ 0					貸倒引当金	△ 2	繰延税金資産	8		
								その他	12		
								貸倒引当金	△ 0		
II 固定資産	2,676	II 固定資産	2,811	II 固定資産	2,364	II 固定資産	696	II 固定資産	463	II 固定資産	216
有形固定資産	2,249	有形固定資産	2,598	有形固定資産	2,151	有形固定資産	663	有形固定資産	427	有形固定資産	197
建物	358	建物	411	建物及び構築物	648	建物	93	建物及び構築物	171	建物及び構築物	53
構築物	367	構築物	423	機械装置及び運搬具	506	構築物	190	機械装置及び運搬具	190	機械及び運搬具	30
機械及び装置	479	機械及び装置	427	土地	856	機械及び装置	266	土地	40	土地	97
車両運搬具	96	車両運搬具	44	その他	139	車両運搬具	13	リース資産	6	リース資産	11
工具、器具及び備品	39	工具、器具及び備品	45	無形固定資産	87	工具、器具及び備品	10	建設仮勘定	11	その他	13
土地	865	土地	1,197	投資その他の資産	126	土地	77	その他	5	無形固定資産	3
リース資産	23	リース資産	9	長期前払費用	18	リース資産	1	無形固定資産	12	投資その他の資産	14
建設仮勘定	18	建設仮勘定	40	退職給付に係る資産	3	建設仮勘定	9	ソフトウェア	12	投資有価証券	11
無形固定資産	99	無形固定資産	86	その他	106	無形固定資産	11	その他	0	長期未収入金	0
投資その他の資産	327	投資その他の資産	126	貸倒引当金	△ 3	投資その他の資産	21	投資その他の資産	23	繰延税金資産	0
投資有価証券	229	投資有価証券	49			投資有価証券	1	投資有価証券	7	その他	2
長期前払費用	18	繰延税金資産	25			敷金	11	繰延税金資産	4	貸倒引当金	△ 0
繰延税金資産	44	退職給付に係る資産	1			繰延税金資産	3	その他	11		
その他	36	その他	53			その他	4	貸倒引当金	△ 0		
貸倒引当金	△ 1	貸倒引当金	△ 2								
III 繰延資産	5	III 繰延資産	5	III 繰延資産	5	III 繰延資産	5	III 繰延資産	5	III 繰延資産	5
道路建設関係社債発行費	5	道路建設関係社債発行費	15								
資産合計	8,824	資産合計	13,918	資産合計	9,295	資産合計	6,056	資産合計	2,228	資産合計	565
I 流動負債	2,031	I 流動負債	1,743	I 流動負債	2,022	I 流動負債	1,525	I 流動負債	545	I 流動負債	174
高速道路事業営業未払金	1,188	高速道路事業営業未払金	835	支払手形及び買掛金	130	高速道路事業営業未払金	347	高速道路事業営業未払金	232	未払金	149
1年内返済予定の長期借入金	22	1年内返済予定の長期借入金	63	高速道路事業営業未払金	1,482	1年内返済予定の長期借入金	0	未払金	45	未払金	4
リース債務	7	リース債務	195	未払法人税等	13	リース債務	100	リース債務	29	1年内返済予定の長期借入金	0
未払金	359	未払金	18	受託業務前受金	24	未払法人税等	8	未払法人税等	4	リース債務	7
未払法人税等	44	賞与引当金	28	前受金	14	未払法人税等	2	未払消費税等	46	未払法人税等	7
預り金	91	賞与引当金	0	賞与引当金	35	預り金	2	未払消費税等	46	前受金	3
受託業務前受金	14	ハイパード・繰延損失補てん引当金	600	ハイパード・繰延損失補てん引当金	0	受託業務前受金	184	受託業務前受金	114	賞与引当金	3
前受金	49	その他	0	回数券払戻引当金	1	前受金	6	前受金	4	その他	5
賞与引当金	14			回数券払戻引当金	318	賞与引当金	13	賞与引当金	13		
ハイパード・繰延損失補てん引当金	0			その他	0	回数券払戻引当金	0	回数券払戻引当金	38		
回数券払戻引当金	0					損害賠償損失引当金	2	仕掛道路損失引当金	1		
その他	259					その他	37	その他	12		
II 固定負債	5,231	II 固定負債	10,189	II 固定負債	5,679	II 固定負債	4,140	II 固定負債	1,346	II 固定負債	255
道路建設関係社債	3,546	道路建設関係社債	8,075	道路建設関係社債	3,249	道路建設関係社債	2,131	道路建設関係社債	465	道路建設関係社債	47
道路建設関係長期借入金	500	道路建設関係長期借入金	1,100	道路建設関係長期借入金	1,300	道路建設関係長期借入金	1,517	道路建設関係長期借入金	601	長期借入金	1
長期借入金	17	長期借入金	0	長期借入金	1	その他の長期借入金	94	長期借入金	21	長期未払金	5
リース債務	0	役員退職慰労引当金	2	役員退職慰労引当金	3	リース債務	1	役員退職慰労引当金	3	退職給付に係る負債	173
受入保証金	87	ETCマイルサービス引当金	73	ETCマイルサービス引当金	81	役員退職慰労引当金	1	繰延税金負債	0	役員退職慰労引当金	0
ETCマイルサービス引当金	83	未払法人税等	18	退職給付に係る負債	790	未払法人税等	8	役員退職慰労引当金	0	ETCマイルサービス引当金	10
その他引当金	6	退職給付に係る負債	702	その他	253	退職給付に係る負債	390	ETCマイルサービス引当金	0	負のれん	12
退職給付に係る負債	945	その他	235			その他	3	退職給付に係る負債	249	その他	4
負のれん	43							負のれん	0		
その他	1							その他	4		
負債合計	7,263	負債合計	11,932	負債合計	7,702	負債合計	5,666	負債合計	1,892	負債合計	430
I 株主資本	1,745	I 株主資本	2,043	I 株主資本	1,702	I 株主資本	413	I 株主資本	378	I 株主資本	162
資本金	525	資本金	650	資本金	475	資本金	135	資本金	100	資本金	40
資本剰余金	587	資本剰余金	716	資本剰余金	672	資本剰余金	135	資本剰余金	100	資本剰余金	40
利益剰余金	632	利益剰余金	677	その他の包括利益累計額	△ 110	利益剰余金	143	利益剰余金	178	利益剰余金	82
II その他の包括利益累計額	△ 184	II その他の包括利益累計額	△ 94	II その他の包括利益累計額	0	II その他の包括利益累計額	△ 27	II その他の包括利益累計額	△ 41	II その他の包括利益累計額	△ 27
その他の有価証券評価差額金	△ 184	その他の有価証券評価差額金	△ 94	為替換算調整勘定	0	その他の有価証券評価差額金	△ 27	その他の有価証券評価差額金	△ 41	退職給付に係る調整累計額	△ 27
退職給付に係る調整累計額	△ 184	退職給付に係る調整累計額	△ 94	退職給付に係る調整累計額	△ 110	退職給付に係る調整累計額	△ 27	退職給付に係る調整累計額	△ 41		
III 少数株主持分	3	III 少数株主持分	1	III 少数株主持分	1	III 少数株主持分	3	III 少数株主持分	3		
純資産合計	1,560	純資産合計	1,986	純資産合計	1,593	純資産合計	390	純資産合計	336	純資産合計	135
負債・純資産合計	8,824	負債・純資産合計	13,918	負債・純資産合計	9,295	負債・純資産合計	6,056	負債・純資産合計	2,228	負債・純資産合計	565

注) 繰延処理の関係上、計が合わないことがある。

平成25年度(2013年度) 高速道路機構と高速道路会社を合わせた資産と債務の状況

[単位:億円(消費税抜き)]

項目	全国路線網							地域路線網				一の路線	
	高速道路機構	内訳(試算値)			首都高速道路 首都高速(株)	阪神高速道路 (阪神圏)	阪神高速道路 (京都圏)	本四高速道路 本四高速(株)	中日本高速(株) 西日本高速(株)		中日本高速(株) 西日本高速(株)		
		東日本高速(株)	中日本高速(株)	西日本高速(株)					中日本高速(株)	西日本高速(株)	中日本高速(株)	西日本高速(株)	
		395,965	307,208	98,684					88,329	96,471	55,861	30,469	1,313
建設仮勘定(機構分)	3,887	3,086	1,309	1,465	311	84	716	0	0	0	0	0	0
借入金(機構分)	16,050	6,553	894	3,547	2,111	5,678	2,162	85	1,568	0	0	0	0
債券(機構分)	278,962	204,262	84,686	50,175	69,401	34,281	27,229	872	12,098	216	38	178	0
長期未払金(機構分)	4,815	4,815	4,815	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
機構分債務合計	299,828	215,632	90,396	53,722	71,513	39,960	29,392	958	13,667	217	38	178	0
仕掛道路資産(会社分)	—	17,979	4,709	8,759	4,511	4,139	1,167	0	35	3	0	3	0
借入金(会社分)	—	2,898	500	1,100	1,298	2,316	620	0	47	1	0	1	0
債券(会社分)	—	15,318	3,546	8,525	3,247	2,131	465	0	—	2	0	2	0
会社分債務合計	—	18,216	4,046	9,625	4,545	4,447	1,085	0	47	3	0	3	0

注1)本表は、高速道路に係る道路資産に関する高速道路機構と高速道路会社の資産・債務の状況(決算値ベース)を示しており、料金の徴収施設等高速道路会社固有の資産に関するものは含まない。

なお、各項目の「(機構分)」については、高速道路機構の金額を各セグメントにも内訳として記載している。

注2)「借入金(会社分)」及び「債券(会社分)」は、協定に基づき高速道路会社が高速道路機構へ引渡すこととなるが、債務引受限度額を超過した場合、その超過分については高速道路機構へ引き渡されない。

注3)端数処理の関係上、計が合わないことがある。

高速道路機構と高速道路会社を合わせた債務の状況の推移

[単位:億円]

項目	高速道路機構	道路会社							合計
		東日本高速(株)	中日本高速(株)	西日本高速(株)	首都高速(株)	阪神高速(株)	本四高速(株)	道路会社計	
機構発足時	382,179	1,263	2,694	882	2,145	693	4	7,680	389,859
平成17年度	372,858	1,957	3,715	1,170	2,536	851	17	10,246	383,104
平成18年度	361,125	2,850	5,935	2,272	3,534	1,299	18	15,908	377,033
平成19年度	352,236	3,221	7,875	2,498	2,932	1,543	20	18,089	370,325
平成20年度	313,801	3,942	9,279	3,429	3,676	1,642	38	22,006	335,807
平成21年度	312,870	4,142	11,019	3,101	2,587	2,041	37	22,927	335,797
平成22年度	306,799	4,043	12,580	3,194	2,878	1,742	33	24,470	331,269
平成23年度	303,244	3,344	15,462	3,497	3,701	1,644	36	27,984	331,228
平成24年度	307,982	3,745	7,059	4,497	3,359	2,103	52	20,815	328,797
平成25年度	299,828	4,046	9,625	4,548	4,447	1,085	47	23,798	323,626

注1)本表は、高速道路に係る道路資産に関する高速道路機構と高速道路会社の債務の状況(決算値ベース)を示したものである。

注2)全国路線網・地域路線網・一の路線すべての合計である。

注3)端数処理の関係上、計が合わないことがある。

平成25年度(2013年度) 営業中高速道路の路線別資産額

1-1 【東日本高速(株)】

[単位:億円(消費税抜き)]

路線名	道路名	供用延長(km)	開通年度	開通率(%)	期首資産額	当期増加額	当期減少額	当期末資産額	当期償却額	減価償却累計額	差引当期末簿価	再調達原価
高速自動車国道北海道縦貫自動車道函館名寄線	道央自動車道	443	S46-H24	100	9,385.7	66.1	6.7	9,445.1	213.0	1,755.5	7,689.6	12,870.4
高速自動車国道北海道横断自動車道黒松内釧路線	札幌自動車道	244	S46-	91	1,790.5	13.7	1.1	1,803.1	41.2	361.4	1,441.7	2,619.3
高速自動車国道北海道横断自動車道黒松内釧路線、高速自動車国道北海道横断自動車道黒松内北見線	道東自動車道				4,249.4	6.0	1.4	4,254.0	95.5	614.9	3,639.1	4,624.8
高速自動車国道東北縦貫自動車道弘前線	東京外環自動車道	698	S47-H5	100	3,237.5	4.5	0.4	3,241.7	60.0	584.7	2,656.9	4,185.0
	東北自動車道				11,258.3	138.3	8.0	11,388.6	293.8	2,411.0	8,977.6	20,043.5
高速自動車国道東北縦貫自動車道八戸線	八戸自動車道	97	S61-H15	100	1,705.5	20.7	22.5	1,703.7	37.9	344.6	1,359.1	2,474.9
	青森自動車道				475.8	0.0	0.0	475.9	10.3	88.8	387.0	497.0
高速自動車国道東北横断自動車道釜石秋田線	釜石自動車道	134	H3-14	100	298.3	0.1	0.3	298.1	5.2	56.3	241.8	317.3
	秋田自動車道				2,517.6	8.8	1.4	2,524.9	50.7	490.0	2,034.9	3,270.6
高速自動車国道東北横断自動車道酒田線	山形自動車道	137	S56-H13	100	3,532.1	11.9	1.5	3,542.5	68.1	655.7	2,886.8	4,363.2
高速自動車国道東北横断自動車道いわき新潟線	磐越自動車道	213	H2-9	100	5,740.8	13.0	2.5	5,751.3	119.6	1,064.3	4,687.0	7,230.2
高速自動車国道日本海沿岸北自動車道	日本海東北自動車道	76	H13-21	100	2,612.4	44.8	2.0	2,655.3	46.9	447.3	2,208.0	2,923.4
	秋田自動車道				411.2	0.5	0.2	411.5	7.5	90.6	320.8	444.8
高速自動車国道東北中央自動車道相馬尾花沢線	東北中央自動車道	27	H14-	53	816.6	0.2	0.0	816.8	13.1	141.6	675.2	869.1
高速自動車国道関越自動車道新潟線	関越自動車道	246	S46-	96	9,431.3	79.6	5.2	9,505.8	176.8	1,512.7	7,993.0	14,264.3
高速自動車国道関越自動車道上越線	上信越自動車道	203	H4-11	100	7,894.5	21.2	9.2	7,906.5	154.0	1,399.2	6,507.3	9,660.9
高速自動車国道常磐自動車道	東京外環自動車道	256	S56-	82	1,752.5	1.7	1.6	1,752.6	36.5	344.4	1,408.2	2,232.0
	常磐自動車道				7,195.5	33.0	4.5	7,224.0	152.7	1,243.3	5,980.6	10,419.5
高速自動車国道東関東自動車道千葉富津線	館山自動車道	55	H7-19	100	1,712.8	6.6	0.9	1,718.5	31.7	261.7	1,456.8	1,992.5
高速自動車国道東関東自動車道水戸線	東京外環自動車道	87	S46-	78	581.9	1.0	0.0	583.0	13.5	113.9	469.0	583.0
	東関東自動車道				3,573.1	38.5	2.4	3,609.2	71.7	593.9	3,015.2	5,503.0
高速自動車国道北関東自動車道	北関東自動車道	135	H11-22	100	5,447.1	45.6	0.5	5,492.1	93.7	655.0	4,837.1	5,737.3
高速自動車国道中央自動車道長野線 (安曇野市から千曲市まで(安曇野ICを含まない。))	長野自動車道	43	H4	100	1,744.6	13.2	1.1	1,756.7	33.1	309.4	1,447.3	2,303.5
高速自動車国道北陸自動車道(新潟市から富山県下新川郡朝日町まで(朝日ICを含まない。))	日本海東北自動車道 北陸自動車道	205	S53-H9	100	7,055.2	37.0	16.0	7,076.2	152.3	1,314.6	5,761.6	10,403.0
高速自動車国道成田国際空港線	新空港自動車道	4	S53-H9	100	55.0	0.1	0.0	55.2	1.4	14.4	40.7	106.1

平成25年度(2013年度) 営業中高速道路の路線別資産額

1-1 【東日本高速株】

[単位:億円(消費税抜き)]

路線名	道路名	供用延長(km)	開通年度	開通率(%)	期首資産額	当期増加額	当期減少額	当期末資産額	当期償却額	減価償却累計額	差引当期末簿価	再調達原価
一般国道1号(横浜新道)、 一般国道16号(横浜新道)	横浜新道	11.3	S34-49	100	1,283.1	0.7	0.1	1,283.7	16.2	150.2	1,133.4	1,674.7
一般国道6号 (東水戸道路)	東水戸道路	10.2	H8-11	100	52.6	0.3	0.0	52.9	2.3	22.0	30.9	84.2
一般国道6号 (仙台東部道路)	仙台東部道路	24.8	H5-13	100	648.0	1.1	0.2	648.9	13.7	111.0	537.9	812.8
一般国道6号 (仙台南部道路)	仙台南部道路	12.2	S55-H13	100	0.0	160.5	0.0	160.5	2.6	2.7	157.8	160.5
一般国道7号 (秋田外環状道路)	秋田自動車道	9.5	H9	100	21.0	0.4	0.0	21.4	0.5	11.4	10.0	45.6
一般国道7号 (琴丘能代道路)	秋田自動車道	17.1	H4-13	100	27.3	0.9	0.2	28.0	0.7	18.7	9.2	36.7
一般国道13号 (米沢南陽道路)	米沢南陽道路	8.8	H9	100	26.8	0.3	0.0	27.2	0.8	11.3	15.8	45.3
一般国道13号 (湯沢横手道路)	湯沢横手道路	14.5	H6-9	100	24.3	0.5	0.0	24.8	0.9	13.5	11.3	75.3
一般国道14号(京葉道路)、 一般国道16号(京葉道路)	京葉道路	36.7	S35-55	100	2,943.3	6.7	1.7	2,948.3	44.7	412.1	2,536.2	4,057.1
一般国道16号 (横浜横須賀道路)	横浜横須賀道路	36.9	S54-H20	100	3,745.9	2.3	0.2	3,748.0	36.3	322.5	3,425.5	4,575.5
一般国道45号 (三陸縦貫自動車道(仙塩道路))	三陸自動車道 (仙塩道路)	7.8	H8	100	38.1	0.0	0.0	38.2	1.5	14.3	23.8	59.5
一般国道45号 (百石道路)	百石道路	6.1	H6	100	13.3	0.3	0.0	13.6	0.3	5.4	8.1	25.5
一般国道47号 (仙台北部道路)	仙台北部道路	11.8	H14-	87	72.3	16.1	0.1	88.3	2.7	22.2	66.0	96.1
一般国道126号 (千葉東金道路)	千葉東金道路・團央道	32.2	S53-H9	100	685.2	509.3	520.9	673.6	12.4	116.6	556.9	952.6
一般国道127号 (富津館山道路)	富津館山道路	19.2	H10-16	100	62.3	2.8	0.6	64.4	3.8	37.4	27.0	92.4
一般国道233号 (深川・賢前自動車道(深川沼田道路))	深川賢前自動車道	4.4	H10	100	9.0	0.5	0.0	9.5	0.3	5.4	4.1	18.4
一般国道235号 (日高自動車道(苫東道路))	日高自動車道	4.0	H9	100	6.4	0.0	0.0	6.5	0.2	3.3	3.2	10.6
一般国道409号 (東京湾横断・木更津東金道路)	東京湾アクアライン	22.2	H7-9	100	10,279.2	15.0	9.7	10,284.5	262.0	2,261.7	8,022.7	12,535.9
	東京湾アクアライン連絡道				649.3	0.7	0.1	650.0	13.8	120.9	529.1	783.4
一般国道468号 (東京湾横断・木更津東金道路)	團央道 (東金JCT~木更津JCT)	50.0	H18-25	100	91.3	297.8	5.9	383.2	14.0	32.8	350.3	387.2
一般国道466号 (第三京浜道路)	第三京浜道路	16.6	S39-40	100	1,608.8	1.6	0.2	1,610.3	16.6	188.1	1,422.1	2,458.1
一般国道468号(首都圏中央連絡自動車道) (あきる野市から成田市まで(あきる野インターチェンジを含む。))	團央道 (あきる野~大栗JCT)	71.4	H7-	47	2,037.4	87.1	73.4	2,051.1	47.0	372.4	1,678.6	2,272.3
総計		3,731	—	—	118,802.6	1,713.5	704.5	119,811.5	2,475.5	21,127.3	98,684.3	161,200.5

注1)「開通率」は高速道路会社の事業許可延長に対する供用延長の比率である。従って、新直轄区間の延長は含まない。

注2)「再調達原価」は、機構設立時の道路資産額を決定する際に原価を改めて計算したもの。(機構設立時に、当該道路を建設するとした場合の価額)

なお、機構設立後の当該道路に係る資産取得については、その取得価額を加算し、処分については、その資産の取得時期に基づき、建設するとした場合の価額又は取得価額を減算してある。

注3)「期首資産額」は「再調達原価」を基に、供用時に遡って減価償却部分を控除したもの。

注4)端数処理の関係上、計が合わないことがある。

平成25年度(2013年度) 営業中高速道路の路線別資産額

1-2 【中日本高速(株)】

[単位:億円(消費税抜き)]

	路線名	供用延長(km)	開通年度	開通率(%)	期首資産額	当期増加額	当期減少額	当期末資産額	当期償却額	減価償却累計額	差引当期末簿価	再調達原価
高速自動車国道	高速自動車国道中央自動車道富士吉田線	94	S42-	94	7,148.8	24.0	5.3	7,167.5	102.4	883.8	6,283.7	9,734.1
	高速自動車国道中央自動車道西宮線 (大月市から東近江市まで(八日市ICを含む。))	360	S39-57	100	6,562.8	89.2	27.6	6,624.4	134.5	1,209.3	5,415.1	10,960.0
					2,151.0	43.7	2.3	2,192.5	57.3	523.7	1,668.7	4,154.4
	高速自動車国道中央自動車道長野線 (岡谷市から安曇野市まで(安曇野ICを含む。))	33	S60-63	100	1,073.5	18.4	4.7	1,087.2	20.5	179.2	907.9	1,557.9
	高速自動車国道第一東海自動車道	347	S43-44	100	18,120.5	88.9	15.5	18,193.8	325.6	2,727.7	15,466.1	27,488.2
	高速自動車国道東海北陸自動車道	185	S60-H20	100	9,536.6	41.7	21.6	9,556.7	190.5	1,566.5	7,990.1	10,842.2
	高速自動車国道第二東海自動車道横浜名古屋線	178	H9-	62	28,432.4	16.4	10.2	28,438.5	532.2	1,919.4	26,519.1	28,771.8
	高速自動車国道中部横断自動車道	16	H13-	34	712.4	0.2	0.0	712.7	12.2	103.2	609.4	736.3
	高速自動車国道北陸自動車道 (富山県下新川郡朝日町から米原市まで(朝日ICを含む。))	282	S47-58	100	6,507.3	54.0	26.8	6,534.5	152.0	1,311.6	5,222.9	11,138.7
	高速自動車国道近畿自動車道伊勢線	69	S50-	85	1,674.0	6.9	1.6	1,679.3	34.5	321.1	1,358.2	2,333.7
	高速自動車国道近畿自動車道名古屋亀山線	98	S45-H22	100	6,937.9	75.8	5.1	7,008.6	167.3	1,264.3	5,744.2	9,287.5
	高速自動車国道近畿自動車道名古屋神戸線 (愛知県海部郡飛島村から甲賀市まで(甲賀土山ICを含まない。))	32	H11-	50	5,392.1	5.0	0.6	5,396.5	98.7	808.2	4,588.3	5,671.1
高速自動車国道近畿自動車道尾鷲多気線	34	H17-24	100	1,141.7	32.4	0.2	1,173.8	25.0	122.5	1,051.2	1,174.0	
高速自動車国道以外	一般国道1号 (新湘南バイパス)	8.7	S62-	61	403.7	10.8	0.4	414.1	10.2	88.9	325.2	596.9
	一般国道1号 (西湘バイパス)	14.5	S45-46	100	739.5	42.4	0.5	781.4	19.7	160.7	620.7	1,307.3
	一般国道138号 (東富士五湖道路)	18.0	S61-63	100	290.2	0.3	0.0	290.5	5.4	53.0	237.5	447.3
	一般国道271号 (小田原厚木道路)	31.7	S38	100	877.2	6.0	1.7	881.4	19.0	170.2	711.2	1,525.0
	一般国道302号 (伊勢湾岸道路)	6.1	S59-H9	100	2,363.5	1.5	0.0	2,365.0	58.6	506.7	1,858.2	2,948.8
	一般国道468号 (首都圏中央連絡自動車道) (茅ヶ崎市から海老名市門沢橋まで及び海老名市新田からあきる野市まで(あきる野ICを含まない。))	26.4	H19-	60	1,009.3	75.0	0.1	1,084.2	30.8	88.8	995.3	1,090.7
	一般国道475号 (東海環状自動車道) (豊田市から四日市市まで)	79.0	H16-	53	993.1	37.6	1.1	1,029.6	36.4	278.1	751.4	1,047.5
	計(全国路線網)	1,912	—	—	102,068.4	671.0	126.3	102,613.1	2,033.7	14,287.8	88,325.3	132,814.2

1-2 【中日本高速(株)】

路線名	道路名	供用延長(km)	開通年度	開通率(%)	期首資産額	当期増加額	当期減少額	当期末資産額	当期償却額	減価償却累計額	差引当期末簿価	再調達原価
一の路線	一般国道16号 (八王子バイパス)	4.5	S60	100	254.0	0.0	0.0	254.0	2.6	23.1	230.9	340.0
	一般国道158号 (中部縦貫自動車道(安房峠道路))	5.6	H9	100	34.2	0.1	0.0	34.4	2.1	20.7	13.6	59.5
総計		1,923	—	—	102,356.8	671.2	126.3	102,901.6	2,038.4	14,331.7	88,569.9	133,213.7

注1)「開通率」は高速道路会社の事業許可延長に対する供用延長の比率である。従って、新直轄区間の延長は含まない。

注2)「再調達原価」は、機構設立時の道路資産額を決定する際に原価を改めて計算したもの。(機構設立時に、当該道路を建設するとして場合の価額)

なお、機構設立後の当該道路に係る資産取得については、その取得価額を加算し、処分については、その資産の取得時期に基づき、建設するとして場合の価額又は取得価額を減算してある。

注3)「期首資産額」は「再調達原価」を基に、供用時に遡って減価償却部分を控除したものである。

注4)端数処理の関係上、計が合わないことがある。

平成25年度(2013年度) 営業中高速道路の路線別資産額

1-3 【西日本高速株】

[単位: 億円(消費税抜き)]

事業区分	路線名	供用延長(km)	開通年度	開通率(%)	期首資産額	当期増加額	当期減少額	当期末資産額	当期償却額	減価償却累計額	差引当期末簿価	再調達原価
高速自動車国道	高速自動車国道中央自動車道西宮線(東近江市から西宮市まで(八日市ICを含まない。))	105	S38-H15	100	8,529.7	103.4	23.3	8,609.8	129.1	1,133.3	7,476.4	11,523.6
	高速自動車国道近畿自動車道天理吹田線	56	S43-62	100	1,398.3	38.0	3.9	1,432.4	24.2	204.3	1,228.1	2,152.3
	高速自動車国道近畿自動車道名古屋神戸線(甲賀市から神戸市まで(甲賀土山ICを含む。))	28	H19-	26	2,766.9	8.9	0.4	2,775.4	52.5	317.6	2,457.8	2,777.3
	高速自動車国道近畿自動車道松原那智勝浦線	110	S49-H19	100	4,989.2	31.2	1.4	5,019.0	100.8	807.7	4,211.3	6,522.9
	高速自動車国道近畿自動車道敦賀線(三木市から小浜市まで(小浜ICを含む。))	123	S61-H23	100	3,329.8	10.7	2.5	3,337.9	68.5	565.2	2,772.7	4,182.6
	高速自動車国道中国縦貫自動車道	543	S44-57	100	11,089.4	96.1	9.6	11,175.9	235.0	2,072.0	9,103.8	18,696.0
	高速自動車国道山陽自動車道吹田山口線、高速自動車国道山陽自動車道宇部下関線	445	S56-H12	100	18,088.5	103.1	37.5	18,154.0	343.0	3,038.5	15,115.4	24,107.5
	高速自動車国道中国横断自動車道姫路鳥取線	13	H14-	52	460.8	0.5	0.0	461.3	9.3	86.1	375.2	487.6
	高速自動車国道中国横断自動車道岡山米子線	107	H元-8	100	1,428.1	3.2	0.2	1,431.1	27.1	238.5	1,192.5	1,677.6
	高速自動車国道中国横断自動車道尾道松江線	26	H12-14	100	356.0	0.3	0.0	356.4	7.8	63.8	292.6	374.5
	高速自動車国道山陰自動車道鳥取益田線	18	H18-21	100	1,056.1	1.0	0.2	1,056.9	21.0	148.8	908.0	1,097.1
	高速自動車国道中国横断自動車道広島浜田線	71	S59-H3	100	593.5	0.9	0.1	594.3	13.5	121.8	472.4	907.4
	高速自動車国道中国横断自動車道広島浜田線				883.9	1.5	0.0	885.4	17.3	159.0	726.4	1,234.4
	高速自動車国道四国縦貫自動車道	237	S59-H16	100	2,933.3	30.9	1.2	2,963.1	52.3	478.2	2,484.9	3,491.4
	高速自動車国道四国縦貫自動車道、高速自動車国道四国横断自動車道愛南大洲線				5,035.7	10.4	2.4	5,043.7	96.1	887.3	4,156.3	6,121.1
	高速自動車国道四国横断自動車道阿南四万十線	198	S62-	93	3,896.0	11.3	3.8	3,903.6	72.0	693.5	3,210.0	4,753.1
	高速自動車国道九州縦貫自動車道鹿児島線	345	S46-H7	100	4,446.3	8.3	1.7	4,452.9	87.3	768.8	3,684.1	5,298.1
	高速自動車国道九州縦貫自動車道宮崎線	83	S50-56	100	9,454.3	144.1	13.6	9,584.8	193.5	1,727.9	7,856.9	14,570.2
	高速自動車国道九州縦貫自動車道宮崎線				1,167.5	10.3	1.9	1,175.9	27.6	256.4	919.4	2,055.9
	高速自動車国道九州横断自動車道長崎大分線	257	S57-H15	100	3,837.3	19.8	1.2	3,855.9	74.3	660.2	3,195.6	5,365.5
高速自動車国道九州横断自動車道長崎大分線				4,670.8	14.2	0.9	4,684.1	84.9	779.2	3,904.8	6,001.8	
高速自動車国道東九州自動車道	170	H11-	83	4,593.1	814.4	9.6	5,397.9	88.1	653.4	4,744.4	5,655.3	
高速自動車国道関西国際空港線	7	H6	100	657.0	0.4	0.1	657.4	10.3	89.0	568.3	795.7	
高速自動車国道関門自動車道	9	S48	100	575.2	4.8	1.0	579.0	22.3	190.2	388.7	1,304.0	
高速自動車国道沖縄自動車道	57	S50-62	100	1,567.7	16.8	1.4	1,583.2	27.5	244.5	1,338.6	2,474.8	

平成25年度(2013年度) 営業中高速道路の路線別資産額

1-3 【西日本高速株】

[単位: 億円(消費税抜き)]

事業区分	路線名	供用延長(km)	開通年度	開通率(%)	期首資産額	当期増加額	当期減少額	当期末資産額	当期償却額	減価償却累計額	差引当期末簿価	再調達原価
高速自動車国道以外	一般国道1号(京滋バイパス)、 一般国道478号(京滋バイパス)	23.9	S63-H15	100	1,773.5	9.6	5.7	1,777.5	35.5	310.8	1,466.7	2,231.4
	一般国道1号 (第二京阪道路)	28.3	H14-21	100	2,416.5	1.9	0.4	2,418.1	47.3	245.6	2,172.4	2,448.1
	一般国道2号 (第二神明道路)	29.9	S44-H10	100	1,651.7	9.9	0.6	1,661.0	24.0	211.9	1,449.1	2,219.3
	一般国道2号 (広島岩国道路)	16.2	S61-H2	100	820.8	2.0	0.1	822.7	10.7	100.5	722.1	1,059.6
	一般国道3号 (南九州西回り自動車道(八代日奈久道路))	12.0	H10-13	100	23.9	0.2	0.0	24.1	1.1	15.5	8.6	40.6
	一般国道3号 (南九州西回り自動車道(市来~鹿児島西))	21.3	H9-14	100	36.3	0.7	0.1	36.9	1.1	21.9	15.0	59.5
	一般国道9号 (安来道路)	19.1	H9-12	100	44.2	1.9	0.3	45.8	1.6	28.1	17.6	71.5
	一般国道9号 (江津道路)	14.5	H15	100	26.8	0.1	0.0	26.9	1.4	13.1	13.7	30.5
	一般国道10号 (権田道路)	10.3	H2	100	167.1	2.1	0.8	168.4	3.0	31.1	137.3	239.5
	一般国道10号 (宇佐別府道路)	22.7	H4-6	100	156.3	5.5	0.0	161.8	4.0	39.0	122.8	245.9
	一般国道10号 (日出バイパス)	9.0	H13	100	21.7	0.0	0.1	21.7	0.6	14.9	6.7	30.7
	一般国道10号 (延岡南道路)	3.7	H元	100	81.3	0.1	0.1	81.4	2.0	14.5	66.8	108.4
	一般国道10号 (単人道路)	7.3	H3	100	122.2	1.2	0.0	123.3	2.2	22.4	100.8	164.0
	一般国道11号 (高松東道路)	15.6	H9-12	100	81.7	0.5	0.1	82.2	3.5	41.4	40.7	129.4
	一般国道24号 (京奈和自動車道(京奈道路))	17.0	S63-H12	100	612.8	1.2	0.0	613.9	9.3	84.9	529.0	774.9
	一般国道34号 (長崎バイパス)	15.1	S42-H2	100	406.3	2.1	0.9	407.5	6.4	59.1	348.3	592.3
	一般国道42号 (湯浅御坊道路)	19.4	H6-7	100	149.3	1.6	0.1	150.8	4.9	48.4	102.3	214.2
	一般国道196号 (今治・小松自動車道(今治小松道路))	13.0	H11-13	100	24.1	0.6	0.1	24.7	0.6	16.6	8.0	37.5
	一般国道478号 (京都縦貫自動車道)	41.1	S62-H25	100	572.3	556.2	0.9	1,127.6	25.3	125.3	1,002.2	1,348.2
	一般国道481号 (関西国際空港連絡橋)	4.6	H21	100	373.0	4.3	0.0	377.4	11.0	56.9	320.4	377.6
	一般国道497号 (西九州自動車道(武雄佐世保道路))	22.0	S62-H元	100	438.4	2.2	0.1	440.5	9.6	82.3	358.1	643.9
	一般国道497号 (西九州自動車道(佐世保道路))	7.8	H10-21	100	18.6	0.2	0.0	18.9	0.9	6.5	12.3	24.3
	計(全国路線網)	3,382	—	—	113,348.5	2,208.8	136.4	115,420.8	2,209.7	18,949.6	96,471.2	154,487.9

1-3 【西日本高速株】

路線名	路線名	供用延長(km)	開通年度	開通率(%)	期首資産額	当期増加額	当期減少額	当期末資産額	当期償却額	減価償却累計額	差引当期末簿価	再調達原価
一の路線	一般国道31号 (広島県道路)	15.9	S49-H8	100	596.6	0.8	0.3	597.1	10.3	92.5	504.5	870.2
	一般国道165号 及び一般国道166号 (南阪奈道路)	12.3	H15	100	233.6	1.0	0.0	234.6	6.3	55.1	179.5	245.0
	一般国道201号 (八木山バイパス)	13.3	S59	100	200.0	25.0	1.5	223.5	4.9	39.8	183.7	342.8
総計		3,423	—	—	114,378.9	2,235.7	138.4	116,476.2	2,231.3	19,137.2	97,339.0	155,946.1

注1)「開通率」は高速道路会社の事業許可延長に対する供用延長の比率である。従って、新直轄区間の延長は含まない。

注2)「再調達原価」は、機構設立時の道路資産額を決定する際に原価を改めて計算したもの。(機構設立時に、当該道路を建設するとした場合の価額)

なお、機構設立後の当該道路に係る資産取得については、その取得価額を加算し、処分については、その資産の取得時期に基づき、建設するとした場合の価額又は取得価額を減算して

注3)「期首資産額」は「再調達原価」を基に、供用時に遡って減価償却分を控除したものである。

注4)端数処理の関係上、計が合わないことがある。

平成25年度(2013年度) 営業中高速道路の路線別資産額

1-4 【首都高速(株)】

[単位: 億円(消費税抜き)]

路線名	道路名	供用延長(km)	開通年度	開通率(%)	期首資産額	当期増加額	当期減少額	当期末資産額	当期償却額	減価償却累計額	差引当期末簿価	再調達原価
都道首都高速1号線等	高速1号上野線・高速都心環状線・高速1号羽田線等	301.3	S37-	91	65,932.6	689.1	173.9	66,447.8	1,355.2	10,546.3	55,901.4	84,493.8

注1)「開通率」は高速道路会社の事業許可延長に対する供用延長の比率である。従って、新直轄区間の延長は含まない。

注2)「再調達原価」は、機構設立時の道路資産額を決定する際に原価を改めて計算したものの。(機構設立時に、当該道路を建設とした場合の価額)

なお、機構設立後の当該道路に係る資産取得については、その取得価額を加算し、処分については、その資産の取得時期に基づき、建設とした場合の価額又は取得価額を減算してある。

注3)「期首資産額」は「再調達原価」を基に、供用時に遡って減価償却分を控除したものの。

注4)端数処理の関係上、計が合わないことがある。

1-5 【阪神高速(株)】

[単位: 億円(消費税抜き)]

路線名	道路名	供用延長(km)	開通年度	開通率(%)	期首資産額	当期増加額	当期減少額	当期末資産額	当期償却額	減価償却累計額	差引当期末簿価	再調達原価
大阪府道高速大阪池田線等	1号環状線・11号池田線等	249.1	S39-	95	33,963.4	3,064.1	39.3	36,988.2	810.5	6,514.1	30,474.0	48,665.7
京都市道高速道路1号線等	新十条通等	10.1	H19-H22	100	1,467.4	1.2	0.0	1,468.6	26.7	155.4	1,313.1	1,468.7
総計		259.2	—	—	35,430.9	3,065.3	39.3	38,456.9	837.3	6,669.6	31,787.2	50,134.5

注1)「開通率」は高速道路会社の事業許可延長に対する供用延長の比率である。従って、新直轄区間の延長は含まない。

注2)「再調達原価」は、機構設立時の道路資産額を決定する際に原価を改めて計算したものの。(機構設立時に、当該道路を建設とした場合の価額)

なお、機構設立後の当該道路に係る資産取得については、その取得価額を加算し、処分については、その資産の取得時期に基づき、建設とした場合の価額又は取得価額を減算してある。

注3)「期首資産額」は「再調達原価」を基に、供用時に遡って減価償却分を控除したものの。

注4)端数処理の関係上、計が合わないことがある。

1-6 【本四高速(株)】

[単位: 億円(消費税抜き)]

路線名	道路名	供用延長(km)	開通年度	開通率(%)	期首資産額	当期増加額	当期減少額	当期末資産額	当期償却額	減価償却累計額	差引当期末簿価	再調達原価
一般国道28号(本州四国連絡道路(神戸・鳴門ルート))	神戸淡路鳴門自動車道	89.0	S60-H10	100	13,820.2	44.3	8.9	13,855.6	187.5	1,658.8	12,196.8	16,173.8
一般国道30号(本州四国連絡道路(児島・坂出ルート))	瀬戸中央自動車道	37.3	S63	100	6,344.9	22.9	3.1	6,364.7	96.6	815.2	5,549.4	8,250.0
一般国道317号(本州四国連絡道路(尾道・今治ルート))	西瀬戸自動車道	46.6	S54-H11	100	6,747.0	12.2	3.2	6,756.0	85.8	778.3	5,977.6	7,794.7
総計		172.9	—	—	26,912.1	79.6	15.3	26,976.4	370.0	3,252.4	23,723.9	32,218.7

注1)「開通率」は高速道路会社の事業許可延長に対する供用延長の比率である。従って、新直轄区間の延長は含まない。

注2)「再調達原価」は、機構設立時の道路資産額を決定する際に原価を改めて計算したものの。(機構設立時に、当該道路を建設とした場合の価額)

なお、機構設立後の当該道路に係る資産取得については、その取得価額を加算し、処分については、その資産の取得時期に基づき、建設とした場合の価額又は取得価額を減算してある。

注3)「期首資産額」は「再調達原価」を基に、供用時に遡って減価償却分を控除したものの。

注4)端数処理の関係上、計が合わないことがある。

平成25年度(2013年度) 高速道路の収支率(試算値)

[単位: 億円(消費税抜き)]

	料金収入(A)	費用			収支率 (D) / (A) × 100
		管理費(B)	金利(C)	計 (D) = (B) + (C)	
全国路線網	17,648.2	5,292.0	3,189.3	8,481.4	48.1%
東日本高速(株)所管分	6,589.3	2,013.4	1,205.2	3,218.7	48.8%
中日本高速(株)所管分	5,087.9	1,523.3	884.4	2,407.7	47.3%
西日本高速(株)所管分	5,970.9	1,755.3	1,099.6	2,854.9	47.8%
地域路線網					
首都高速道路	2,544.4	632.6	579.5	1,212.2	47.6%
阪神高速道路 (阪神圏)	1,693.9	392.6	414.4	807.1	47.6%
阪神高速道路 (京都圏)	39.1	15.2	17.9	33.2	84.9%
本州四国連絡 高速道路	653.5	186.2	218.2	404.5	61.9%
一の路線					
一般国道16号 (八王子バイパス)	21.4	4.9	0.4	5.3	24.8%
一般国道158号 (中部縦貫自動車道(安房峠道路))	5.3	3.7	0.2	3.9	73.6%
一般国道31号 (広島呉道路)	33.7	7.5	2.1	9.7	28.8%
一般国道165号及び一 般国道166号 (南阪奈道路)	20.0	5.1	0.4	5.6	28.0%
一般国道201号 (八木山バイパス)	16.5	3.9	0.0	3.9	23.6%
計	22,676.2	6,544.2	4,423.1	10,967.3	—

注1)「料金収入」は高速道路会社の料金収入、「管理費」は高速道路会社の管理費、

「金利」は高速道路機構の支払金利(建設仮勘定分を除く)である。

注2) 全国路線網の西日本高速道路(株)所管分の料金収入(A)、管理費(B)には関門トンネル分を含まない。

注3) 端数処理の関係上、計が合わないことがある。

平成25年度(2013年度) 路線別営業収支差(高速道路会社情報の総括)

1-1【東日本高速圏】

[単位:億円(消費税抜き)]

路線名	道路名	供用延長(km)	開通年度	開通率(%)	交通量(千台/日)	料金収入(A)	管理費(B)	営業収支差(A)-(B)
高速自動車国道北海道縦貫自動車道函館名寄線	道央自動車道	443	S46-H24	100	117	329.3	178.2	151.1
高速自動車国道北海道横断自動車道黒松内釧路線	札樽自動車道	244	S46-	91	63	128.9	81.3	47.5
高速自動車国道北海道横断自動車道黒松内釧路線、高速自動車国道北海道横断自動車道黒松内北見線	道東自動車道							
高速自動車国道東北縦貫自動車道弘前線	東京外環自動車道・東北自動車道	698	S47-H5	100	415	1,716.1	423.4	1,292.6
高速自動車国道東北縦貫自動車道八戸線	八戸自動車道・青森自動車道	97	S61-H15	100	11	37.9	30.1	7.7
高速自動車国道東北横断自動車道釜石秋田線	釜石自動車道・秋田自動車道	134	H3-14	100	19	63.7	39.8	23.8
高速自動車国道東北横断自動車道酒田線	山形自動車道	137	S56-H13	100	26	66.8	42.7	24.0
高速自動車国道東北横断自動車道いわき新潟線	磐越自動車道	213	H2-9	100	26	150.6	76.5	74.1
高速自動車国道日本海沿岸東北自動車道	日本海東北自動車道・秋田自動車道	76	H13-21	100	32	46.5	32.0	14.4
高速自動車国道東北中央自動車道相馬尾花沢線	東北中央自動車道	27	H14-	53	6	6.9	5.6	1.2
高速自動車国道関越自動車道新潟線	関越自動車道・東京外環自動車道	246	S46-	96	207	764.8	210.2	554.6
高速自動車国道関越自動車道上越線	上信越自動車道	203	H4-11	100	65	309.2	115.4	193.7
高速自動車国道常磐自動車道	東京外環自動車道・常磐自動車道	256	S56-	82	251	649.4	154.7	494.7
高速自動車国道東関東自動車道千葉富津線	館山自動車道	55	H7-19	100	79	122.0	31.9	90.0
高速自動車国道東関東自動車道水戸線	東京外環自動車道・東関東自動車道	87	S46-	78	192	442.0	86.3	355.7
高速自動車国道北関東自動車道	北関東自動車道	135	H11-22	100	80	249.3	54.6	194.7
高速自動車国道中央自動車道長野線(安曇野市から千曲市まで(安曇野ICを含まない。))	長野自動車道	43	H4	100	7	73.8	20.4	53.3
高速自動車国道北陸自動車道(新潟市から富山県下新川郡朝日町まで(朝日ICを含まない。))	日本海東北自動車道・北陸自動車道	205	S53-H9	100	56	259.4	106.6	152.7
高速自動車国道成田国際空港線	新空港自動車道	4	S53	100	6	5.1	3.1	2.0
一般国道1号(横浜新道)、一般国道16号(横浜新道)	横浜新道	11	S34-45	100	136	96.3	20.9	75.4
一般国道6号(東水戸道路)	東水戸道路	10	H8-11	100	16	10.4	5.4	5.0
一般国道6号(仙台東部道路)	仙台東部道路	25	H5-13	100	61	53.7	13.9	39.7
一般国道6号(仙台南部道路)	仙台南部道路	12	S55-H13	100	21	16.7	5.0	11.7
一般国道7号(秋田外環状道路)	秋田自動車道	10	H9	100	7	5.9	2.8	3.1
一般国道7号(琴丘能代道路)	秋田自動車道	17	H4-13	100	5	5.2	3.4	1.7
一般国道13号(米沢南陽道路)	米沢南陽道路	9	H9	100	4	3.2	1.9	1.2
一般国道13号(湯沢横手道路)	湯沢横手道路	15	H6-9	100	7	5.8	4.3	1.5
一般国道14号(京葉道路)、一般国道16号(京葉道路)	京葉道路	37	S35-55	100	295	197.9	52.1	145.7
一般国道16号(横浜横須賀道路)	横浜横須賀道路	37	S54-H20	100	107	198.5	47.2	151.3
一般国道45号(三陸縦貫自動車道(仙塩道路))	三陸自動車道(仙塩道路)	8	H8	100	38	18.0	4.7	13.3
一般国道45号(百石道路)	百石道路	6	H6	100	5	2.1	1.3	0.7
一般国道47号(仙台北部道路)	仙台北部道路	14	H14-H25	100	17	15.5	4.0	11.4
一般国道126号(千葉東金道路)	千葉東金道路	32	S53-H9	100	71	54.0	19.7	34.3
一般国道127号(富津館山道路)	富津館山道路	19	H10-16	100	14	16.9	9.6	7.3
一般国道233号(深川・留萌自動車道(深川沼田道路))	深川留萌自動車道	4	H10	100	2	0.7	1.1	△ 0.4
一般国道235号(日高自動車道(苫東道路))	日高自動車道	4	H9	100	6	2.1	1.4	0.7
一般国道409号(東京湾横断・木更津東金道路)	東京湾アクアライン・東京湾アクアライン連絡道	22	H7-9	100	85	169.3	48.1	121.1
一般国道468号(東京湾横断・木更津東金道路)	圏央道	50	H18-25	100				
一般国道466号(第三京浜道路)	第三京浜道路	17	S39-40	100	154	88.5	28.1	60.4
一般国道468号(首都圏中央連絡自動車道)(横浜市から藤沢市まで及びあきる野市から山武市まで(あきる野インターチェンジを含む。))	圏央道	71	H7-	40	94	205.0	43.6	161.3
計		3,732	—	—	2,804	6,589.3	2,013.4	4,575.9

注1)「開通率」は会社の事業許可延長に対する供用延長の比率である。従って、新直轄区間の延長は含まない。
 注2)「交通量」は原則として各路線ごとの支払料金所における通行台数をカウントしている。
 注3)「料金収入」は会社の料金収入、「管理費」は会社の管理費、営業収支差は料金収入から会社の管理費を除いたものである。
 注4)端数処理の関係上、計が合わないことがある。

平成25年度(2013年度) 路線別営業収支差(高速道路会社情報の総括)

1-2【中日本高速線】

[単位: 億円(消費税抜き)]

路線名		道路名	供用延長(km)	開通年度	開通率(%)	交通量(千台/日)	料金収入(A)	管理費(B)	営業収支差(A)-(B)		
全国路線網	高速自動車国道	高速自動車国道中央自動車道富士吉田線	中央自動車道・東京外環自動車道	94	S42-	94	174	359.5	101.8	257.6	
		高速自動車国道中央自動車道西宮線 (大月市から東近江市まで(八日市ICを含む。))	中央自動車道・名神高速道路	360	S39-57	100	180	824.2	268.4	555.8	
		高速自動車国道中央自動車道長野線 (岡谷市から安曇野市まで(安曇野ICを含む。))	長野自動車道	33	S60-63	100	40	82.1	27.8	54.2	
		高速自動車国道第一東海自動車道	東名高速道路	347	S43-44	100	426	1,479.7	383.3	1,096.4	
		高速自動車国道東海北陸自動車道	東海北陸自動車道	185	S60-H20	100	57	173.7	95.3	78.3	
		高速自動車国道第二東海自動車道横浜名古屋線	新東名高速道路・伊勢湾岸自動車道(豊田東JCT~東海)	178	H9-	62	166	565.7	126.5	439.2	
		高速自動車国道中部横断自動車道	中部横断自動車道	16	H13-	34	3	3.7	5.0	△ 1.3	
		高速自動車国道北陸自動車道 (富山県下新川郡朝日町から米原市まで(朝日ICを含む。))	北陸自動車道	282	S47-58	100	112	444.3	192.1	252.1	
		高速自動車国道近畿自動車道伊勢線	伊勢自動車道・名古屋第二環状自動車道	69	S50-	85	39	115.6	32.5	83.0	
		高速自動車国道近畿自動車道名古屋山線	東名阪自動車道・名古屋第二環状自動車道	98	S45-H22	100	280	442.9	124.4	318.5	
		高速自動車国道近畿自動車道名古屋神戸線 (愛知県海部郡飛島村から甲賀市まで(甲賀土山ICを含まない。))	伊勢湾岸自動車道(飛島~四日市JCT)・新名神高速道路	32	H11-	50	58	124.1	26.3	97.7	
		高速自動車国道近畿自動車道尾鷲多気線	紀勢自動車道	34	H17-24	100	5	16.0	8.0	8.0	
		高速自動車国道以外	一般国道1号(新湘南バイパス)	新湘南バイパス	8.7	S62-	61	31	21.4	10.9	10.5
			一般国道1号(西湘バイパス)	西湘バイパス	14.5	S45-46	100	42	24.0	14.2	9.8
一般国道138号(東富士五湖道路)	東富士五湖道路		18.0	S61-63	100	23	28.7	10.5	18.1		
一般国道271号(小田原厚木道路)	小田原厚木道路		31.7	S38	100	72	55.5	22.4	33.0		
一般国道302号(伊勢湾岸道路)	伊勢湾岸自動車道		6.1	S59-H9	100	98	163.0	20.4	142.5		
一般国道468号(首都圏中央連絡自動車道) (茅ヶ崎市から海老名市門沢橋まで及び海老名市中新田からあきる野市まで(あきる野ICを含まない。))	圏央道		26.4	H19-	48	41	67.2	22.5	44.6		
一般国道475号(東海環状自動車道) (豊田市から四日市市まで)	東海環状自動車道		79.0	H16-	53	53	95.8	30.2	65.6		
計(全国路線網)			1,912	-	-	1,899	5,087.9	1,523.3	3,564.5		
一の路線	一般国道16号(八王子バイパス)	八王子バイパス	4.5	S60	100	33	21.4	4.9	16.4		
	一般国道158号 (中部縦貫自動車道(安房峠道路))	中部縦貫自動車道 (安房峠道路)	5.6	H9	100	3	5.3	3.7	1.5		
総計			1,923	-	-	1,936	5,114.6	1,532.0	3,582.5		

注1)「開通率」は会社の事業許可延長に対する供用延長の比率である。従って、新直轄区間の延長は含まない。

注2)「交通量」は原則として各路線ごとの支払料金所における通行台数をカウントしている。

注3)「料金収入」は会社の料金収入、「管理費」は会社の管理費、営業収支差は料金収入から会社の管理費を除いたものである。

注4)端数処理の関係上、計が合わないことがある。

平成25年度(2013年度) 路線別営業収支差(高速道路会社情報の総括)

1-3 【西日本高速㈱】

[単位:億円(消費税抜き)]

事業区分	路線名	道路名	供用延長(km)	開通年度	開通率(%)	交通量(千台/日)	料金収入(A)	管理費(B)	営業収支差(A)-(B)	
高速自動車国道	高速自動車国道中央自動車道西宮線(東近江市から西宮市まで(八日市ICを含まない。))	名神高速道路	105	S38-H15	100	178	624.9	136.5	488.3	
	高速自動車国道近畿自動車道天理吹田線	西名阪自動車道・近畿自動車道	56	S43-62	100	302	397.8	75.4	322.4	
	高速自動車国道近畿自動車道名古屋神戸線(甲賀市から神戸市まで(甲賀土山ICを含む。))	新名神高速道路	28	H19-	26	13	81.5	16.5	65.0	
	高速自動車国道近畿自動車道松原那智勝浦線	阪和自動車道	110	S49-H19	100	203	318.1	84.8	233.3	
	高速自動車国道近畿自動車道敦賀線(三木市から小浜市まで(小浜ICを含む。))	舞鶴若狹自動車道	123	S61-H23	100	24	83.3	41.1	42.2	
	高速自動車国道中国縦貫自動車道	中国自動車道	543	S44-57	100	142	619.4	291.1	328.3	
	高速自動車国道山陽自動車道吹田山口線、高速自動車国道山陽自動車道宇部下関線	山陽自動車道	445	S56-H12	100	252	964.7	281.9	682.7	
	高速自動車国道中国横断自動車道姫路鳥取線	播磨自動車道	13	H14-	52					
	高速自動車国道中国横断自動車道岡山米子線	岡山自動車道・米子自動車道	107	H元-8	100	10	65.1	33.1	32.0	
	高速自動車国道中国横断自動車道尾道松江線	松江自動車道・山陰自動車道	26	H12-14	100	16	27.7	13.9	13.7	
	高速自動車国道山陰自動車道鳥取益田線	山陰自動車道	18	H18-21	100					
	高速自動車国道中国横断自動車道広島浜田線	広島自動車道・浜田自動車道	71	S59-H3	100	32	33.7	18.3	15.3	
	高速自動車国道四国縦貫自動車道	徳島自動車道	237	S59-H16	100	64	207.5	78.2	129.2	
	高速自動車国道四国縦貫自動車道、高速自動車国道四国横断自動車道愛南大洲線	松山自動車道								
	高速自動車国道四国横断自動車道阿南四万十線	高松自動車道・高知自動車道・徳島自動車道	198	S62-	93	103	229.8	91.1	138.7	
	高速自動車国道九州縦貫自動車道鹿児島線	九州自動車道	345	S46-H7	100	250	850.8	197.4	653.3	
	高速自動車国道九州縦貫自動車道宮崎線	宮崎自動車道	83	S50-56	100	17	61.0	13.4	47.5	
	高速自動車国道九州横断自動車道長崎大分線	長崎自動車道・大分自動車道	257	S57-H15	100	115	367.9	104.6	263.3	
	高速自動車国道東九州自動車道	東九州自動車道	170	H11-	83	39	69.3	31.1	38.1	
高速自動車国道関西国際空港線	関西空港自動車道	7	H6	100	11	8.9	3.3	5.6		
高速自動車国道関門自動車道	関門橋	9	S48	100	20	20.5	4.0	16.5		
高速自動車国道沖縄自動車道	沖縄自動車道	57	S50-62	100	93	114.8	32.4	82.4		
全国路線網	一般国道1号(京滋バイパス)、一般国道478号(京滋バイパス)	京滋バイパス	23.9	S63-H15	100	80	142.4	23.4	118.9	
	一般国道1号(第二京阪道路)	第二京阪道路	28.3	H14-21	100	134	229.7	37.1	192.6	
	一般国道2号(第二神明道路)	第二神明道路	29.9	S44-H10	100	193	98.8	30.7	68.1	
	一般国道2号(広島岩国道路)	広島岩国道路	16.2	S61-H2	100	48	38.3	8.0	30.3	
	一般国道3号(南九州西回り自動車道(八代日奈久道路))	南九州自動車道(八代日奈久道路)	12.0	H10-13	100	6	4.9	2.1	2.7	
	一般国道3号(南九州西回り自動車道(市来~鹿児島西))	南九州自動車道(鹿児島西)	21.3	H9-14	100	24	16.3	4.0	12.3	
	一般国道9号(安来道路)	山陰道(安来道路)	19.1	H9-12	100	14	19.3	7.2	12.0	
	一般国道9号(江津道路)	山陰道(江津道路)	14.5	H15	100	3	3.0	2.8	0.2	
	一般国道10号(椎田道路)	椎田道路	10.3	H2	100	7	8.6	1.6	6.9	
	一般国道10号(宇佐別府道路)	宇佐別府道路	22.7	H4-6	100	12	17.7	7.1	10.5	
	一般国道10号(日出バイパス)	日出バイパス	9.0	H13	100	5	3.2	0.9	2.2	
	一般国道10号(延岡南道路)	延岡南道路	3.7	H元	100	10	6.5	1.6	4.8	
	一般国道10号(隼人道路)	隼人道路	7.3	H3	100	17	9.3	2.5	6.7	
	一般国道11号(高松東道路)	高松自動車道	15.6	H9-12	100	22	25.6	7.9	17.7	
	一般国道24号(京奈和自動車道(京奈道路))	京奈和自動車道(京奈道路)	17.0	S63-H12	100	47	30.0	12.5	17.4	
	一般国道34号(長崎バイパス)	長崎バイパス	15.1	S42-H2	100	43	21.8	6.9	14.8	
	一般国道42号(湯浅御坊道路)	湯浅御坊道路	19.4	H6-7	100	24	28.8	10.6	18.2	
	一般国道196号(今治・小松自動車道(今治小松道路))	今治小松自動車道	13.0	H11-13	100	7	5.1	3.8	1.3	
	一般国道478号(京都縦貫自動車道)	京都縦貫自動車道	41.1	S62-H25	100	68	61.3	20.7	40.6	
	一般国道481号(関西国際空港連絡橋)	関西国際空港連絡橋	4.6	H21	100	10	19.3	3.1	16.1	
	一般国道497号(西九州自動車道(武雄佐世保道路))	西九州自動車道(武雄佐世保道路)	22.0	S62-H元	100	24	21.7	7.1	14.6	
	一般国道497号(西九州自動車道(佐世保道路))	西九州自動車道(佐世保道路)	7.8	H10-21	100	30	10.5	3.7	6.8	
	計(全国路線網)			3,382	—		2,716	5,970.9	1,755.3	4,215.6

平成25年度(2013年度) 路線別営業収支差(高速道路会社情報の総括)

1-3 【西日本高速㈱】

[単位: 億円(消費税抜き)]

事業区分	路線名	道路名	供用延長(km)	開通年度	開通率(%)	交通量(千台/日)	料金収入(A)	管理費(B)	営業収支差(A)-(B)
一の路線	一般国道31号(広島呉道路)	広島呉道路	15.9	S49-H8	100	42	33.7	7.5	26.2
	一般国道165号及び一般国道166号(南阪奈道路)	南阪奈道路	12.3	H15	100	23	20.0	5.1	14.8
	一般国道201号(八木山バイパス)	八木山バイパス	13.3	S59	100	12	16.5	3.9	12.6
総 計			3,423	-	-	2,793	6,041.2	1,771.8	4,269.4

注1)「開通率」は会社の事業許可延長に対する供用延長の比率である。従って、新直轄区間の延長は含まない。

注2)「交通量」は原則として各路線ごとの支払料金所における通行台数をカウントしている。

注3)「料金収入」は会社の料金収入、「管理費」は会社の管理費、営業収支差は料金収入から会社の管理費を除いたものである。

注4) 料金収入(A)、管理費(B)には関門トンネル分を含まない。

注5) 端数処理の関係上、計が合わないことがある。

平成25年度(2013年度) 路線別営業収支差(高速道路会社情報の総括)

1-4 【首都高速線】

[単位:億円(消費税抜き)]

路線名	道路名	延長	供用延長(km)	開通年度	開通率(%)	交通量(千台/日)	料金収入(A)	管理費(B)	営業収支差(A)-(B)
都道首都高速1号線等	高速1号上野線・高速都心環状線・高速1号羽田線等	329.6	301.3	S37-	91	950	2,544.4	632.6	1,911.7

注1)「開通率」は会社の事業許可延長に対する供用延長の比率である。

注2)「交通量」は、首都高速道路1回の利用を「1台」として集計している。

注3)「料金収入」は会社の料金収入、「管理費」は会社の管理費、営業収支差は料金収入から会社の管理費を除いたものである。

注4)端数処理の関係上、計が合わないことがある。

1-5 【阪神高速線】

[単位:億円(消費税抜き)]

路線名	道路名	延長	供用延長(km)	開通年度	開通率(%)	交通量(千台/日)	料金収入(A)	管理費(B)	営業収支差(A)-(B)
大阪府道高速大阪池田線等	1号環状線・11号池田線等	263.0	249.1	S39-	95	711	1,693.9	392.6	1,301.2
京都市道高速道路1号線等	新十条通等	10.1	10.1	H19-H22	100	30	39.1	15.2	23.8
計		273.1	259.2	—	—	741	1,733.0	407.9	1,325.1

注1)「開通率」は会社の事業許可延長に対する供用延長の比率である。

注2)「交通量」は、阪神高速道路1回の利用を「1台」として集計している。

注3)「料金収入」は会社の料金収入、「管理費」は会社の管理費、営業収支差は料金収入から会社の管理費を除いたものである。

注4)端数処理の関係上、計が合わないことがある。

1-6 【本四高速線】

[単位:億円(消費税抜き)]

路線名	道路名	延長	供用延長(km)	開通年度	開通率(%)	交通量(千台/日)	料金収入(A)	管理費(B)	営業収支差(A)-(B)
一般国道28号 (本州四国連絡道路(神戸・鳴門ルート))	神戸淡路鳴門自動車道	89.0	89.0	S60-H10	100	24	342.9	83.4	259.5
一般国道30号 (本州四国連絡道路(児島・坂出ルート))	瀬戸中央自動車道	37.3	37.3	S63	100	21	201.2	50.9	150.2
一般国道317号 (本州四国連絡道路(尾道・今治ルート))	西瀬戸自動車道	46.6	46.6	S54-H11	100	7	109.3	51.9	57.3
計		172.9	172.9	—	—	52	653.5	186.2	467.2

注1)「開通率」は会社の事業許可延長に対する供用延長の比率である。

注2)本四高速線の交通量は県境断面交通量である。

注3)「料金収入」は会社の料金収入、「管理費」は会社の管理費、営業収支差は料金収入から会社の管理費を除いたものである。

注4)端数処理の関係上、計が合わないことがある。

平成25年度(2013年度) 金利の路線別配賦(試算値)

1-1 【東日本高速(株)】

[単位: 億円(消費税抜き)]

	路線名	道路名	供用延長(km)	開通年度	開通率(%)	営業収支差に基づく配賦		資産価額に基づく配賦	
						営業収支差	金利(試算)	資産価額	金利(試算)
高速自動車国道	高速自動車国道北海道縦貫自動車道函館名寄線	道央自動車道	443	S46-H24	100	151.1	39.8	7,689.6	98.8
	高速自動車国道北海道横断自動車道黒松内釧路線	札幌自動車道	268	S46-	100	47.5	12.5	1,441.7	18.5
	高速自動車国道北海道横断自動車道黒松内釧路線、高速自動車国道北海道横断自動車道黒松内北見線	道東自動車道						3,639.1	46.7
	高速自動車国道東北縦貫自動車道弘前線	東京外環自動車道	698	S47-H5	100	1,292.6	340.4	2,656.9	34.1
		東北自動車道						8,977.6	115.4
	高速自動車国道東北縦貫自動車道八戸線	八戸自動車道	97	S61-H15	100	7.7	2.0	1,359.1	17.4
		青森自動車道						387.0	4.9
	高速自動車国道東北横断自動車道釜石秋田線	釜石自動車道	134	H3-14	100	23.8	6.2	241.8	3.1
		秋田自動車道						2,034.9	26.1
	高速自動車国道東北横断自動車道酒田線	山形自動車道	137	S56-H13	100	24.0	6.3	2,886.8	37.1
	高速自動車国道東北横断自動車道いわき新潟線	磐越自動車道	213	H2-9	100	74.1	19.5	4,687.0	60.2
	高速自動車国道日本海沿岸東北自動車道	日本海東北自動車道	76	H13-21	100	14.4	3.8	2,208.0	28.3
		秋田自動車道						320.8	4.1
	高速自動車国道東北中央自動車道相馬尾花沢線	東北中央自動車道	27	H14-	53	1.2	0.3	675.2	8.6
	高速自動車国道関越自動車道新潟線	関越自動車道	246	S46-	96	554.6	146.0	7,993.0	102.7
	高速自動車国道関越自動車道上越線	上信越自動車道	203	H4-11	100	193.7	51.0	6,507.3	83.6
	高速自動車国道常磐自動車道	東京外環自動車道	256	S56-	82	494.7	130.3	1,408.2	18.1
		常磐自動車道						5,980.6	76.9
	高速自動車国道東関東自動車道千葉富津線	館山自動車道	55	H7-19	100	90.0	23.7	1,456.8	18.7
	高速自動車国道東関東自動車道水戸線	東京外環自動車道	87	S46-	78	355.7	93.7	469.0	6.0
東関東自動車道		3,015.2						38.7	
高速自動車国道北関東自動車道	北関東自動車道	135	H11-22	100	194.7	51.2	4,837.1	62.1	
高速自動車国道中央自動車道長野線 (安曇野市から千曲市まで(豊科ICを含まない。))(注4)	長野自動車道	43	H4	100	53.3	14.0	1,447.3	18.6	
高速自動車国道北陸自動車道(新潟市から富山県下新川郡朝日町まで(朝日ICを含まない。))	日本海東北自動車道・北陸自動車道	205	S53-H9	100	152.7	40.2	5,761.6	74.0	
高速自動車国道成田国際空港線	新空港自動車道	4	S53	100	2.0	0.5	40.7	0.5	

1-1 【東日本高速(株)】

[単位:億円(消費税抜き)]

	路線名	道路名	供用延長(km)	開通年度	開通率(%)	営業収支差に基づく配賦		資産価額に基づく配賦	
						営業収支差	金利(試算)	資産価額	金利(試算)
高速自動車国道以外	一般国道1号(横浜新道)、 一般国道16号(横浜新道)	横浜新道	11	S34-49	100	75.4	19.8	1,133.4	14.5
	一般国道6号(東水戸道路)	東水戸道路	10	H8-11	100	5.0	1.3	30.9	0.3
	一般国道6号(仙台東部道路)	仙台東部道路	25	H5-13	100	39.7	10.4	537.9	6.9
	一般国道6号(仙台南部道路)	仙台南部道路	12	S55-H13	100	11.7	3.0	157.8	2.0
	一般国道7号(秋田外環状道路)	秋田自動車道	10	H9	100	3.1	0.8	10.0	0.1
	一般国道7号(琴丘能代道路)	秋田自動車道	17	H4-13	100	1.7	0.4	9.2	0.1
	一般国道13号(米沢南陽道路)	米沢南陽道路	9	H9	100	1.2	0.3	15.8	0.2
	一般国道13号(湯沢横手道路)	湯沢横手道路	15	H6-9	100	1.5	0.4	11.3	0.1
	一般国道14号(京葉道路)、 一般国道16号(京葉道路)	京葉道路	37	S35-55	100	145.7	38.3	2,536.2	32.6
	一般国道16号(横浜横須賀道路)	横浜横須賀道路	37	S54-H20	100	151.3	39.8	3,425.5	44.0
	一般国道45号 (三陸縦貫自動車道(仙塩道路))	三陸自動車道 (仙塩道路)	8	H8	100	13.3	3.5	23.8	0.3
	一般国道45号(百石道路)	百石道路	6	H6	100	0.7	0.1	8.1	0.1
	一般国道47号(仙台北部道路)	仙台北部道路	12	H14-	87	11.4	3.0	66.0	0.8
	一般国道126号(千葉東金道路)	千葉東金道路・圏央道	32	S53-H9	100	34.3	9.0	556.9	7.1
	一般国道127号(富津館山道路)	富津館山道路	19	H10-16	100	7.3	1.9	27.0	0.3
	一般国道233号 (深川・留萌自動車道(深川沼田道路))	深川留萌自動車道	4	H10	100	△ 0.4	△ 0.1	4.1	0.0
	一般国道235号(日高自動車道 (苫東道路))	日高自動車道	4	H9	100	0.7	0.1	3.2	0.0
	一般国道409号 (東京湾横断・木更津東金道路)	東京湾アクアライン 東京湾アクアライン連絡道	22	H7-9	100	121.1	31.9	8,022.7	39.4
	一般国道468号(東京湾横断・ 木更津東金道路)	圏央道 (東金JCT～木更津JCT)	50	H18-25	100			529.1	6.8
	一般国道466号(第三京浜道路)	第三京浜道路	17	S39-40	100			350.3	4.5
一般国道468号(首都圏中央連絡自動車道) (あきる野市から成田市まで(あきる野インターチェンジを含む。))	圏央道 (あきる野～大栗JCT)	71	H7-	47	161.3	42.4	1,678.6	21.5	
総 計			3,731	—	—	4,575.9	1,205.2	98,684.3	1,205.2

注1)「金利」は高速道路機構支払金利(建設仮勘定分を除く)である。

注2)「開通率」は会社の事業許可延長に対する供用延長の比率である。従って、新直轄区間の延長は含まない。

注3)営業収支差は料金収入から管理費を除いたものである。

注4)高速自動車道中央自動車道長野線の豊科インターチェンジについては、平成24年10月7日より安曇野インターチェンジに名称変更している。

注5)端数処理の関係上、計が合わないことがある。

平成25年度(2013年度) 金利の路線別配賦(試算値)

1-2 【中日本高速(株)】

[単位: 億円(消費税抜き)]

	路線名	道路名	供用延長(km)	開通年度	開通率(%)	営業収支差に基づく配賦		資産価額に基づく配賦	
						営業収支差	金利(試算)	資産価額	金利(試算)
高速自動車国道	高速自動車国道中央自動車道富士吉田線	中央自動車道	94	S42-	94	257.6	63.9	6,283.7	62.9
	高速自動車国道中央自動車道西宮線 (大月市から東近江市まで(八日市ICを含む。))	中央自動車道	360	S39-57	100	555.8	137.9	5,415.1	54.2
		名神高速道路						1,668.7	16.7
	高速自動車国道中央自動車道長野線 (岡谷市から安曇野市まで(安曇野ICを含む。))	長野自動車道	33	S60-63	100	54.2	13.4	907.9	9.0
	高速自動車国道第一東海自動車道	東名高速道路	347	S43-44	100	1,096.4	272.0	15,466.1	154.8
	高速自動車国道東海北陸自動車道	東海北陸自動車道	185	S60-H20	100	78.3	19.4	7,990.1	80.0
	高速自動車国道第二東海自動車道横浜名古屋線	新東名高速道路・伊勢湾岸自動車道(豊田東JCT~東海)	178	H9-	62	439.2	108.9	26,519.1	265.5
	高速自動車国道中部横断自動車道	中部横断自動車道	16	H13-	34	△ 1.3	△ 0.3	609.4	6.1
	高速自動車国道北陸自動車道(富山県下新川郡朝日町から米原市まで(朝日ICを含む。))	北陸自動車道	282	S47-58	100	252.1	62.5	5,222.9	52.2
	高速自動車国道近畿自動車道伊勢線	伊勢自動車道	69	S50-	85	83.0	20.6	1,358.2	13.6
	高速自動車国道近畿自動車道名古屋亀山線	東名阪自動車道・名古屋第二環状自動車道	98	S45-H22	100	318.5	79.0	5,744.2	57.5
	高速自動車国道近畿自動車道名古屋神戸線 (愛知県海部郡飛島村から甲賀市まで(甲賀土山ICを含まない。))	伊勢湾岸自動車道(飛島~四日市JCT)・新名神高速道路	32	H11-	50	97.7	24.2	4,588.3	45.9
高速自動車国道近畿自動車道尾鷲多気線	紀勢自動車道	34	H17-24	100	8.0	2.0	1,051.2	10.5	
高速自動車国道以外	一般国道1号(新湘南バイパス)	新湘南バイパス	9	S62-	61	10.5	2.6	325.2	3.2
	一般国道1号(西湘バイパス)	西湘バイパス	15	S45-46	100	9.8	2.4	620.7	6.2
	一般国道138号(東富士五湖道路)	東富士五湖道路	18	S61-63	100	18.1	4.5	237.5	2.3
	一般国道271号(小田原厚木道路)	小田原厚木道路	32	S38	100	33.0	8.2	711.2	7.1
	一般国道302号(伊勢湾岸道路)	伊勢湾岸自動車道(東海~飛島)	6	S59-H9	100	142.5	35.3	1,858.2	18.6
	一般国道468号(首都圏中央連絡自動車道) (茅ヶ崎市から海老名市門沢橋まで及び海老名市中新田からあきる野市まで(あきる野ICを含まない。))	圏央道 (茅ヶ崎JCT~寒川北、海老名北~あきる野)	26	H19-	60	44.6	11.0	995.3	9.9
	一般国道475号(東海環状自動車道) (豊田市から四日市市まで)	東海環状自動車道	79	H16-	53	65.6	16.2	751.4	7.5
計(全国路線網)			1,912	—	—	3,564.5	884.4	88,325.3	884.4

1-2 【中日本高速(株)】

[単位: 億円(消費税抜き)]

	路線名	道路名	供用延長(km)	開通年度	開通率(%)	営業収支差に基づく配賦		資産価額に基づく配賦	
						営業収支差	金利(試算)	資産価額	金利(試算)
一の路線	一般国道16号(八王子バイパス)	八王子バイパス	4.5	S60	100	16.4	0.4	230.9	0.4
	一般国道158号(中部縦貫自動車道(安房峠道路))	中部縦貫自動車道(安房峠道路)	5.6	H9	100	1.5	0.2	13.6	0.2
総計			1,923	—	—	3,582.5	885.1	88,569.9	885.1

- 注1)「金利」は高速道路機構支払金利(建設仮勘定分を除く)である。
 注2)「開通率」は会社の事業許可延長に対する供用延長の比率である。従って、新直轄区間の延長は含まない。
 注3) 営業収支差は料金収入から管理費を除いたものである。
 注4) 端数処理の関係上、計が合わないことがある。

平成25年度(2013年度) 金利の路線別配賦(試算値)

1-3 【西日本高速(株)】

[単位: 億円(消費税抜き)]

	路線名	道路名	供用延長(km)	開通年度	開通率(%)	営業収支差に基づく配賦		資産価額に基づく配賦	
						営業収支差	金利(試算)	資産価額	金利(試算)
高速自動車国道	高速自動車国道中央自動車道西宮線(東近江市から西宮市まで(八日市ICを含まない。))	名神高速道路	105	S38-H15	100	488.3	127.3	7,476.4	85.2
	高速自動車国道近畿自動車道天理吹田線	西名阪自動車道	56	S43-62	100	322.4	84.1	1,228.1	13.9
		近畿自動車道						2,997.2	34.1
	高速自動車国道近畿自動車道名古屋神戸線(甲賀市から神戸市まで(甲賀土山ICを含む。))	新名神高速道路	28	H19-	26	65.0	16.9	2,457.8	28.0
	高速自動車国道近畿自動車道松原那智勝浦線	阪和自動車道	110	S49-H19	100	233.3	60.8	4,211.3	48.0
	高速自動車国道近畿自動車道敦賀線(三木市から小浜市まで(小浜ICを含む。))	舞鶴若狭自動車道	123	S61-H23	100	42.2	11.0	2,772.7	31.6
	高速自動車国道中国縦貫自動車道	中国自動車道	543	S44-57	100	328.3	85.6	9,103.8	103.7
	高速自動車国道山陽自動車道吹田山口線、高速自動車国道山陽自動車道宇部下関線	山陽自動車道	445	S56-H12	100	682.7	178.0	15,115.4	172.2
	高速自動車国道中国横断自動車道姫路鳥取線	播磨自動車道	13	H14-	52			375.2	4.2
	高速自動車国道中国横断自動車道岡山米子線	岡山自動車道	107	H元-8	100	32.0	8.3	1,192.5	13.5
		米子自動車道						1,665.9	18.9
	高速自動車国道中国横断自動車道尾道松江線	松江自動車道	26	H12-14	100	13.7	3.5	292.6	3.3
		山陰自動車道						908.0	10.3
	高速自動車国道山陰自動車道鳥取益田線	山陰自動車道	18	H18-21	100				
	高速自動車国道中国横断自動車道広島浜田線	広島自動車道	71	S59-H3	100	15.3	4.0	472.4	5.3
		浜田自動車道						726.4	8.2
	高速自動車国道四国縦貫自動車道	徳島自動車道	237	S59-H16	100	129.2	33.7	2,484.9	28.3
	高速自動車国道四国縦貫自動車道、高速自動車国道四国横断自動車道愛南大洲線	松山自動車道						4,156.3	47.3
	高速自動車国道四国横断自動車道阿南四万十線	高松自動車道	198	S62-	93	138.7	36.1	3,210.0	36.5
		高知自動車道						3,684.1	41.9
高速自動車国道九州縦貫自動車道鹿児島線	九州自動車道	345	S46-H7	100	653.3	170.4	7,856.9	89.5	
高速自動車国道九州縦貫自動車道宮崎線	宮崎自動車道	83	S50-56	100	47.5	12.4	919.4	10.4	
高速自動車国道九州横断自動車道長崎大分線	長崎自動車道	257	S57-H15	100	263.3	68.6	3,195.6	36.4	
	大分自動車道						3,904.8	44.5	
高速自動車国道東九州自動車道	東九州自動車道	170	H11-	83	38.1	9.9	4,744.4	54.0	
高速自動車国道関西国際空港線	関西空港自動車道	7	H6	100	5.6	1.4	568.3	6.4	
高速自動車国道関門自動車道	関門橋	9	S48	100	16.5	4.3	388.7	4.4	
高速自動車国道沖縄自動車道	沖縄自動車道	57	S50-62	100	82.4	21.4	1,338.6	15.2	

平成25年度(2013年度) 金利の路線別配賦(試算値)

1-3 【西日本高速(株)】

[単位: 億円(消費税抜き)]

	路線名	道路名	供用延長(km)	開通年度	開通率(%)	営業収支差に基づく配賦		資産価額に基づく配賦	
						営業収支差	金利(試算)	資産価額	金利(試算)
高速自動車国道以外	一般国道1号(京滋バイパス)、 一般国道478号(京滋バイパス)	京滋バイパス	23.9	S63-H15	100	118.9	31.0	1,466.7	16.7
	一般国道1号(第二京阪道路)	第二京阪道路	28.3	H14-21	100	192.6	50.2	2,172.4	24.7
	一般国道2号(第二神明道路)	第二神明道路	29.9	S44-H10	100	68.1	17.7	1,449.1	16.5
	一般国道2号(広島岩国道路)	広島岩国道路	16.2	S61-H2	100	30.3	7.9	722.1	8.2
	一般国道3号 (南九州西回り自動車道(八代日奈久道路))	南九州自動車道 (八代日奈久道路)	12.0	H10-13	100	2.7	0.7	8.6	0.0
	一般国道3号 (南九州西回り自動車道(市来~鹿児島西))	南九州自動車道 (鹿児島道路)	21.3	H9-14	100	12.3	3.2	15.0	0.1
	一般国道9号(安来道路)	山陰道(安来道路)	19.1	H9-12	100	12.0	3.1	17.6	0.2
	一般国道9号(江津道路)	山陰道(江津道路)	14.5	H15	100	0.2	0.0	13.7	0.1
	一般国道10号(椎田道路)	椎田道路	10.3	H2	100	6.9	1.8	137.3	1.5
	一般国道10号(宇佐別府道路)	宇佐別府道路	22.7	H4-6	100	10.5	2.7	122.8	1.4
	一般国道10号(日出バイパス)	日出バイパス	9.0	H13	100	2.2	0.5	6.7	0.0
	一般国道10号(延岡南道路)	延岡南道路	3.7	H元	100	4.8	1.2	66.8	0.7
	一般国道10号(隼人道路)	隼人道路	7.3	H3	100	6.7	1.7	100.8	1.1
	一般国道11号(高松東道路)	高松自動車道	15.6	H9-12	100	17.7	4.6	40.7	0.4
	一般国道24号 (京奈和自動車道(京奈道路))	京奈和自動車道 (京奈道路)	17.0	S63-H12	100	17.4	4.5	529.0	6.0
	一般国道34号(長崎バイパス)	長崎バイパス	15.1	S42-H2	100	14.8	3.8	348.3	3.9
	一般国道42号(湯浅御坊道路)	湯浅御坊道路	19.4	H6-7	100	18.2	4.7	102.3	1.1
	一般国道196号 (今治・小松自動車道(今治小松道路))	今治小松自動車道	13.0	H11-13	100	1.3	0.3	8.0	0.0
	一般国道478号(京都縦貫自動車道)	京都縦貫自動車道	41.1	S62-H25	100	40.6	10.5	1,002.2	11.4
	一般国道481号 (関西国際空港連絡橋)	関西国際空港連絡橋	4.6	H21	100	16.1	4.2	320.4	3.6
一般国道497号 (西九州自動車道(武雄佐世保道路))	西九州自動車道 (武雄佐世保道路)	22.0	S62-H元	100	14.6	3.8	358.1	4.0	
一般国道497号 (西九州自動車道(佐世保道路))	西九州自動車道 (佐世保道路)	7.8	H10-21	100	6.8	1.7	12.3	0.1	
計(全国路線網)			3,382	—	—	4,215.6	1,099.6	96,471.2	1,099.6

1-3 【西日本高速(株)】

[単位: 億円(消費税抜き)]

	路線名	道路名	供用延長(km)	開通年度	開通率(%)	営業収支差に基づく配賦		資産価額に基づく配賦	
						営業収支差	金利(試算)	資産価額	金利(試算)
一の路線	一般国道31号 (広島呉道路)	広島呉道路	15.9	S49-H8	100	26.2	2.1	504.5	2.1
	一般国道165号 及び一般国道166号 (南阪奈道路)	南阪奈道路	12.3	H15	100	14.8	0.4	179.5	0.4
	一般国道201号 (八木山バイパス)	八木山バイパス	13.3	S59	100	12.6	0.0	183.7	0.0
総計			3,423	—	—	4,269.4	1,102.3	97,339.0	1,102.3

注1)「金利」は高速道路機構支払金利(建設仮勘定分を除く)である。

注2)「開通率」は会社の事業許可延長に対する供用延長の比率である。従って、新直轄区間の延長は含まない。

注3)営業収支差は料金収入から管理費を除いたものである。

注4)端数処理の関係上、計が合わないことがある。

平成25年度(2013年度) 金利の路線別配賦(試算値)

1-4 【首都高速株】

[単位:億円(消費税抜き)]

路線名	道路名	供用延長(km)	開通年度	開通率(%)	営業収支差に基づく配賦		資産価額に基づく配賦	
					営業収支差	金利(試算)	資産価額	金利(試算)
都道首都高速1号線等	高速1号上野線・高速都心環状線・高速1号羽田線等	301.3	S37-	91	1,911.7	579.5	55,901.4	579.5

注1)「金利」は高速道路機構支払金利(建設仮勘定分を除く)である。

注2)「開通率」は会社の事業許可延長に対する供用延長の比率である。

注3)営業収支差は料金収入から管理費を除いたものである。

注4)端数処理の関係上、計が合わないことがある。

1-5 【阪神高速株】

[単位:億円(消費税抜き)]

路線名	道路名	供用延長(km)	開通年度	開通率(%)	営業収支差に基づく配賦		資産価額に基づく配賦	
					営業収支差	金利(試算)	資産価額	金利(試算)
大阪府道高速大阪池田線等	1号環状線・11号池田線等	249.1	S39-	95	1,301.2	414.4	30,474.0	414.4
京都市道高速道路1号線等	新十条通等	10.1	H19-H22	100	23.8	17.9	1,313.1	17.9
計		259.2	—	—	1,325.1	432.6	31,787.2	432.6

注1)「金利」は高速道路機構支払金利(建設仮勘定分を除く)である。

注2)「開通率」は会社の事業許可延長に対する供用延長の比率である。

注3)営業収支差は料金収入から管理費を除いたものである。

注4)端数処理の関係上、計が合わないことがある。

1-6 【本四高速株】

[単位:億円(消費税抜き)]

路線名	道路名	供用延長(km)	開通年度	開通率(%)	営業収支差に基づく配賦		資産価額に基づく配賦	
					営業収支差	金利(試算)	資産価額	金利(試算)
一般国道28号 (本州四国連絡道路(神戸・鳴門ルート))	神戸淡路鳴門自動車道	89.0	S60-H10	100	259.5	121.2	12,196.8	112.2
一般国道30号 (本州四国連絡道路(児島・坂出ルート))	瀬戸中央自動車道	37.3	S63	100	150.2	70.2	5,549.4	51.0
一般国道317号 (本州四国連絡道路(尾道・今治ルート))	西瀬戸自動車道	46.6	S54-H11	100	57.3	26.8	5,977.6	55.0
計		172.9	—	—	467.2	218.2	23,723.9	218.2

注1)「金利」は高速道路機構支払金利(建設仮勘定分を除く)である。

注2)路線ごとの「金利」は、本四高速道路の負担金利額をそれぞれ営業収支差、資産価額により按分して配賦したものである。

注3)「開通率」は会社の事業許可延長に対する供用延長の比率である。

注4)営業収支差は料金収入から管理費を除いたものである。

注5)端数処理の関係上、計が合わないことがある。

平成25年度(2013年度) 建設コストの計画と実績

債務引受限度額と会社から引き受けた債務との対比を下記に示します。

平成25年度に完了した事業について、計画と実績に差が生じた主な理由は、現地状況に合わせた工法の見直し、地元・関係機関等との協議による見直し、工事数量等の確定(精算)によるものです。

平成25年度に完了しなかった事業について、計画と実績に差が生じた主な理由は、新設・改築事業では附帯工事等の工事が平成26年度以降に残ったこと、利便増進事業(スマートIC)が平成26年度以降計画的に実施されること、修繕事業では工事発注の見直しで複数年度の工期に設定したことにより機構への帰属を平成26年度以降としたこと、災害復旧事業では過去の実績をもとに、45年分の額が債務引受限度額として計上されていることによるものです。

[単位:百万円(消費税込み)]

道路名(区間名)	債務引受限度額(計画)(A)	債務引受額(実績)			(D)-(A)	債務引受限度額と債務引受額の差額についてのコメント
		平成24年度まで(B)	平成25年度(C)	計(D)=(B)+(C)		
東関東自動車道水戸線 松戸IC～高谷JCT新設事業	698,866	1,124	105	1,230	△ 697,636	・差額は、施工中である本体工事に要する費用。 ・平成25年度の債務引受額は、市川ICのランプ切替に要した費用。
北関東自動車道 伊勢崎IC～太田桐生IC新設事業	29,820	26,643	1,969	28,613	△ 1,207	・地元協議による環境対策の見直しによる減。
北関東自動車道 太田桐生IC～足利IC新設事業	45,734	38,580	3,954	42,535	△ 3,199	・現地状況に合わせたのり面対策工の見直しによる減及び ・猛禽類調査結果による対策工の減。
北海道横断自動車道黒松内釧路線 占冠PA新設事業	972	735	147	882	△ 89	・工事等数量の確定等による減。
東北縦貫自動車道弘前線 小坂JCT新設事業	6,963	0	6,377	6,377	△ 585	・差額は、事業損失補償等の残事業に要する費用。 ・平成25年度の債務引受額は、本線供用に要した費用。
東北縦貫自動車道八戸線 八戸JCT新設事業	1,736	0	1,583	1,583	△ 152	・差額は、事業損失補償等の残事業に要する費用。 ・平成25年度の債務引受額は、本線供用に要した費用。
東北横断自動車道釜石秋田線 東和IC改築事業	1,021	475	23	499	△ 521	・関係機関との協議による盛土材の受入による土工費の減。
東北横断自動車道酒田線 鶴岡JCT新設事業	7,417	5,569	1,696	7,266	△ 150	・事業損失補償内容の見直しによる減。
関越自動車道新潟線 坂戸西IC付加車線改築事業	3,399	0	2,121	2,121	△ 1,277	・差額は、事業損失補償等の残事業に要する費用。 ・平成25年度の債務引受額は、本線供用に要した費用。
東関東自動車道水戸線 三郷JCT(二次改築)改築事業	21,372	2,204	1,747	3,952	△ 17,419	・差額は、ランプ等の改築に要する費用。 ・平成25年度の債務引受額は、Bランプの改築に要した費用。
東関東自動車道水戸線 谷津船橋IC新設事業	2,865	0	2,403	2,403	△ 461	・差額は、財産整理等の残事業に要する費用。 ・平成25年度の債務引受額は、本線供用に要した費用。
東関東自動車道水戸線 酒々井IC新設事業	1,607	0	1,578	1,578	△ 28	・工事等数量の確定等による減。
一般国道468号(首都圏中央連絡自動車道) 桶川北本IC～白岡菖蒲IC新設事業	71,252	0	805	805	△ 70,446	・差額は、施工中である本体工事に要する費用。 ・平成25年度の債務引受額は、桶川北本ICのランプ切替に 要した費用。
一般国道468号(東京湾横断・木更津東金道路) 東金IC・JCT～茂原長南IC新設事業	25,235	275	21,010	21,285	△ 3,949	・差額は、附帯工事等の残事業に要する費用。 ・平成25年度の債務引受額は、本線供用に要した費用。
一般国道468号(東京湾横断・木更津東金道路) 茂原長南IC～木更津東IC新設事業	14,905	0	10,224	10,224	△ 4,680	・差額は、附帯工事等の残事業に要する費用。 ・平成25年度の債務引受額は、本線供用に要した費用。
東日本高速道路株式会社が管理する高速道路に係る高 速道路利便増進事業に関する計画(スマートIC)	50,134	6,744	4,246	10,990	△ 39,143	・差額は、施工中のスマートICに要する費用。 ・平成25年度の債務引受額は、2箇所の供用及び2箇所の 本完了に要した費用。
一般国道47号(仙台北部道路) 富谷JCT～富谷IC新設事業	2,290	0	1,968	1,968	△ 321	・差額は、事業損失補償等の残事業に要する費用。 ・平成25年度の債務引受額は、本線供用に要した費用。
北海道縦貫自動車道函館名寄線 新千歳空港IC新設事業	853	0	802	802	△ 50	・工事等数量の確定等による減。
一般国道6号(仙台東部道路) 仙台港IC新設事業	1,266	958	21	979	△ 286	・早期開通によるその他費等の減。
一般国道6号(仙台南部道路) 仙台若林JCT～仙台南IC新設事業	16,475	0	16,460	16,460	△ 14	・工事等数量の確定等による減。
北海道縦貫自動車道函館名寄線等 平成25年度修繕事業	119,056	-	41,256	41,256	△ 77,800	・差額は、修繕計画の見直しにより次年度以降に債務引受 する費用。
北海道縦貫自動車道函館名寄線等 災害復旧事業	128,401	94,868	2,245	97,113	△ 31,288	・差額は、平成26年度以降の災害対応に要する費用。

注1)平成25年度(2013年度)に債務引受けを行ったものについて、継続中事業を含めすべて記載している。なお、□は、平成25年度に完了している新設・改築事業である。

注2)端数処理の関係上、計が合わないことがある。

注3)修繕事業に関する債務引受限度額(計画)は、平成25年度までの債務引受限度額(計画)の累計から、平成24年度までの債務引受額(実績)を控除している額である。

	道路名(区間名)	債務引受 限度額 (計画) (A)	債務引受額 (実績)			(D)-(A)	債務引受限度額と債務引受額の差額についてのコメント
			平成24年度まで (B)	平成25年度 (C)	計 (D)=(B)+(C)		
中 日 本 高 速 道 路 網	近畿自動車道名古屋亀山線 名古屋南JCT～高針JCT新設事業	137,262	122,295	6,387	128,683	△ 8,578	・新技術の採用による環境対策工の工夫による減。
	近畿自動車道尾鷲多気線 紀伊長島IC～紀勢大内山IC新設事業	46,467	37,838	3,585	41,423	△ 5,043	・差額は、事業損失補償等の残事業に要する費用。 ・平成25年度の債務引受額は、本線供用に要した費用。
	東海北陸自動車道 瓢ヶ岳PA～郡上八幡IC改築事業	27,669	25,760	733	26,494	△ 1,174	・現地状況に合わせた土石流対策工の見直し及び新型照明の開発による減
	北陸自動車道 福井北JCT新設事業	3,792	0	191	191	△ 3,600	・差額は、施工中である本体工事に要する費用。 ・平成25年度の債務引受額は、ランプ切替に要した費用。
	近畿自動車道名古屋亀山線 勝川IC改築事業	940	520	135	655	△ 284	・関係機関との事業調整による施工数量の減。
	一般国道468号(首都圏中央連絡自動車道) 茅ヶ崎JCT～海老名南JCT新設事業	23,517	0	6,877	6,877	△ 16,639	・差額は、寒川北IC～海老名南JCT間等の工事に要する費用。 ・平成25年度の債務引受額は、茅ヶ崎JCT～寒川北IC間供用に要した費用。
	一般国道468号(首都圏中央連絡自動車道) 厚木PA新設事業	6,880	2,298	2,435	4,734	△ 2,145	・現地調査に基づく軟弱地盤対策工の見直しによる減
	東海北陸自動車道 白鳥IC～飛騨清見IC改築事業	95,217	0	1,308	1,308	△ 93,908	・差額は、施工中である改築に要する費用。 ・平成25年度の債務引受額は、松ノ木峠PAの供用に要した費用。
	中日本高速道路株式会社が管理する高速道路に係る高 速道路利便増進事業に関する計画(スマートIC)	64,627	1,516	1,980	3,496	△ 61,130	・差額は、施工中のスマートICに要する費用。 ・H25年度の債務引受額は、2箇所供用に要した費用。
	中央自動車道富士吉田線等 平成25年度修繕事業	108,160	-	48,923	48,923	△ 59,236	・差額は、修繕計画の見直しにより次年度以降に債務引受 する費用。
	中央自動車道富士吉田線等 災害復旧事業	50,122	14,670	1,086	15,757	△ 34,364	・差額は、平成26年度以降の災害対応に要する費用。
	一般国道16号(八王子バイパス) 平成25年度修繕事業	84	-	1	1	△ 83	・差額は、修繕計画の見直しにより次年度以降に債務引受 する費用。
一般国道158号(中部縦貫自動車道(安房峠道路)) 平成25年度修繕事業	412	-	0	0	△ 412	・差額は、修繕計画の見直しにより次年度以降に債務引受 する費用。	
西 日 本 高 速 道 路 網	近畿自動車道名古屋神戸線 箕面IC～神戸JCT新設事業	439,718	2,865	3,487	6,352	△ 433,365	・差額は、施工中である本体工事に要する費用。 ・平成25年度の債務引受額は、神戸JCTのランプ切替に要 した費用。
	四国横断自動車道阿南四万十線 徳島IC～鳴門JCT新設事業	106,904	2,188	2,871	5,060	△ 101,843	・差額は、施工中である本体工事に要する費用。 ・平成25年度の債務引受額は、徳島ICのランプ切替に要した 費用。
	東九州自動車道 苅田北九州空港IC～行橋IC新設事業	42,256	0	25,970	25,970	△ 16,285	・差額は、TN工法の見直しによる減及び財産整理等の残事 業に要する費用。 ・平成25年度の債務引受額は、本線供用に要した費用。
	東九州自動車道 椎田南IC～宇佐IC新設事業	113,412	0	3,359	3,359	△ 110,052	・差額は、施工中である本体工事に要する費用。 ・平成25年度の債務引受額は、椎田南IC及び宇佐ICのラン プ切替に要した費用。
	東九州自動車道 日向IC～都農IC新設事業	84,578	0	53,927	53,927	△ 30,650	・差額は、TN工法の見直しによる減及び事業損失補償等の 残事業に要する費用。 ・平成25年度の債務引受額は、本線供用に要した費用。
	東九州自動車道 都農IC～高鍋IC新設事業	21,490	20,158	404	20,562	△ 927	・差額は、事業損失補償等の残事業に要する費用。 ・平成25年度の債務引受額は、残事業の一部完了に要した 費用。
	中央自動車道西宮線 大山崎JCT改築事業	12,986	0	12,726	12,726	△ 259	・他事業との調整によるその他費の減。
	近畿自動車道天理吹田線 八尾PA新設事業	6,290	0	4,529	4,529	△ 1,760	・差額は、附帯工事等の残事業に要する費用。 ・平成25年度の債務引受額は、PA新設に要した費用。
	近畿自動車道天理吹田線 守口JCT新設事業	16,634	0	6,166	6,166	△ 10,467	・差額は、和歌山方面ランプの新設に要する費用。 ・平成25年度の債務引受額は、吹田方面ランプ供用に要した 費用。
	中国縦貫自動車道 三次JCT改築事業	3,746	3,183	133	3,316	△ 429	・差額は、財産整理等の残事業に要する費用。 ・平成25年度の債務引受額は、JCT改築に要した費用。
	中国横断自動車道尾道松江線 加茂岩倉PA新設事業	1,373	953	48	1,001	△ 371	・関係機関との協議による営繕工事の見直しによる減。
	四国縦貫自動車道 松山IC改築事業	2,267	623	346	969	△ 1,297	・差額は、附帯工事等の残事業に要する費用。 ・平成25年度の債務引受額は、IC改築に要した費用。
九州縦貫自動車道鹿児島線 嘉島JCT新設事業	7,966	0	6,130	6,130	△ 1,835	・差額は、財産整理等の残事業に要する費用。 ・平成25年度の債務引受額は、JCT新設に要した費用。	
九州縦貫自動車道宮崎線 清武JCT改築事業	5,962	4,655	268	4,924	△ 1,037	・地元協議による盛り土形状の工夫による減。	

注1)平成25年度(2013年度)に債務引受けを行ったものについて、継続中事業を含めすべて記載している。なお、□は、平成25年度に完了している新設・改築事業である。

注2)端数処理の関係上、計が合わないことがある。

注3)修繕事業に関する債務引受限度額(計画)は、平成25年度までの債務引受限度額(計画)の累計から、平成24年度までの債務引受額(実績)を控除している額である。

	道路名(区間名)	債務引受 限度額 (計画) (A)	債務引受額 (実績)			(D)-(A)	債務引受限度額と債務引受額の差額についてのコメント
			平成24年度まで (B)	平成25年度 (C)	計 (D)=(B)+(C)		
西日本 高速道路 路線	一般国道478号(京都縦貫自動車道) 沓掛IC~大山崎IC・JCT新設事業	56,376	4,301	45,687	49,989	△ 6,386	・差額は、事業損失補償等の残事業に要する費用。 ・平成25年度の債務引受額は、本線供用に要した費用。
	一般国道478号(京都縦貫自動車道) 篠IC改築事業	645	0	545	545	△ 99	・工事等数量の確定等による減。
	西日本高速道路株式会社が管理する高速道路に係る高 速道路利便増進事業に関する計画(スマートIC)	45,094	1,966	5,458	7,425	△ 37,668	・差額は、施工中のスマートICに要する費用。 ・H25年度の債務引受額は、3箇所供用に要した費用。
	一般国道478号(京都縦貫自動車道) 丹波IC改築事業	3,137	0	84	84	△ 3,132	・差額は、施工中である本体工事に要する費用。 ・平成25年度の債務引受額は、ランプ切替えに要した費用。
	中央自動車道西宮線等 平成25年度修繕事業	112,263	-	55,252	55,252	△ 57,011	・差額は、修繕計画の見直しにより次年度以降に債務引受 する費用。
	中央自動車道西宮線等 災害復旧事業	49,132	7,506	472	7,979	△ 41,152	・差額は、平成26年度以降の災害対応に要する費用。
	一般国道31号(広島呉道路) 平成25年度修繕事業	1,834	-	61	61	△ 1,772	・差額は、修繕計画の見直しにより次年度以降に債務引受 する費用。
	一般国道165号及び一般国道166号(南阪奈道路) 平成25年度修繕事業	134	-	117	117	△ 16	・工事等数量の確定等による減。
	一般国道201号(八木山バイパス) 平成25年度修繕事業	3,060	-	2,867	2,867	△ 192	・差額は、修繕計画の見直しにより次年度以降に債務引受 する費用。
首都 高速道路 路線	川崎市道高速縦貫線 富士見出入口~殿町出入口新設事業	55,797	50,155	5,049	55,204	△ 592	・街路事業との調整によるその他費の減。
	都道首都高速1号線等 平成25年度修繕事業	59,316	-	20,173	20,173	△ 39,142	・差額は、修繕計画の見直しにより次年度以降に債務引受 する費用。
阪神 高速道路 路線	大阪府道高速大和川線 三宅JCT~三宅西出入口新設事業	238,612	0	15,390	15,390	△ 223,221	・差額は、関西空港方面へのランプ及び三宅JCT~三宅西 出入口ICの本体工事に要する費用。 ・平成25年度の債務引受額は、大阪市内方面ランプ及び関 西空港方面からのランプ供用に要した費用。
	大阪府道高速道路淀川左岸線 島屋出入口~海老江JCT新設事業	138,797	0	101,246	101,246	△ 37,550	・差額は、附帯工事等の残事業に要する費用。 ・平成25年度の債務引受額は、本線供用に要した費用。
	大阪府道高速大阪守口線 守口JCT改築事業	9,229	0	9,229	9,229	0	
	阪神高速道路 大阪地区(防災・安全対策工等)改築事業	38,944	28,525	6,481	35,007	△ 3,936	・差額は、改築事業の完成に要する費用。 ・平成25年度の債務引受額は、改築事業の一部に要した費 用。
	阪神高速道路 兵庫地区(防災・安全対策工等)改築事業	19,684	14,835	3,720	18,556	△ 1,127	・差額は、改築事業の完成に要する費用。 ・平成25年度の債務引受額は、改築事業の一部に要した費 用。
	大阪府道高速大阪池田線等 平成25年度修繕事業	35,601	-	13,105	13,105	△ 22,496	・差額は、修繕計画の見直しにより次年度以降に債務引受 する費用。
	京都市道高速道路1号線等 災害復旧事業	115	-	11	11	△ 103	・差額は、平成26年度以降の災害対応に要する費用。
	京都市道高速道路1号線等 平成25年度修繕事業	123	-	121	121	△ 1	・工事等数量の確定等による減。
本州 四国連絡 高速道路 路線	一般国道28号(本州四国連絡道路(神戸・鳴門ルート))等 平成25年度修繕事業	14,276	-	8,766	8,766	△ 5,509	・差額は、修繕計画の見直しにより次年度以降に債務引受 する費用。
	一般国道28号(本州四国連絡道路(神戸・鳴門ルート))等 災害復旧事業	9,572	89	225	314	△ 9,257	・差額は、平成26年度以降の災害対応に要する費用。

注1)平成25年度(2013年度)に債務引受けを行ったものについて、継続中事業を含めすべて記載している。なお、□は、平成25年度に完了している新設・改築事業である。

注2)端数処理の関係上、計が合わないことがある。

注3)修繕事業に関する債務引受限度額(計画)は、平成25年度までの債務引受限度額(計画)の累計から、平成24年度までの債務引受額(実績)を控除している額である。(一般国道165号及び一般国道166号(南阪奈道路)平成25年度修繕事業及び京都市道高速道路1号線等平成25年度修繕事業を除く)

平成25年度(2013年度) 管理コストの計画と実績(高速道路会社情報の総括)

【維持修繕費】

[単位:億円(消費税抜き)]

	計画(A)	実績(B)	(B)-(A)	(B)/(A)	※参考 前年度実績	計画と実績に差異が生じた項目、主な理由等
東日本高速道路(株)	675	816	141	120.9%	809	大雪による雪水対策費用の増、点検結果等に基づく補修の増、道路ストックの総点検等による増等
中日本高速道路(株)	498	640	142	128.5%	619	道路ストックの総点検等による増、大雪による雪水対策費用の増等
西日本高速道路(株)	571	708	137	124.0%	702	点検結果等に基づく補修の増、道路ストックの総点検等による増、大雪による雪水対策費用の増等
首都高速道路(株)	258	283	25	109.7%	262	道路ストックの総点検等による増、点検結果等に基づく補修の増、大雪による雪水対策費用の増等
阪神高速道路(株)	147	160	13	108.8%	146	点検結果等に基づく補修の増等
本四高速道路(株)	42	50	8	119.0%	49	点検結果等に基づく補修の増等

【管理業務費】

[単位:億円(消費税抜き)]

	計画(A)	実績(B)	(B)-(A)	(B)/(A)	※参考 前年度実績	計画と実績に差異が生じた項目、主な理由等
東日本高速道路(株)	521	510	△ 11	97.9%	498	宮構補修箇所の減等
中日本高速道路(株)	348	345	△ 3	99.1%	342	宮構補修箇所の減等
西日本高速道路(株)	468	459	△ 9	98.1%	447	宮構補修箇所の減等
首都高速道路(株)	196	195	△ 1	99.5%	192	クレジットカード手数料の減等
阪神高速道路(株)	138	127	△ 11	92.0%	126	クレジットカード手数料の減等
本四高速道路(株)	41	41	0	100.0%	39	—

【一般管理費等】

[単位:億円(消費税抜き)]

	計画(A)	実績(B)	(B)-(A)	(B)/(A)	※参考 前年度実績	計画と実績に差異が生じた項目、主な理由等
東日本高速道路(株)	739	686	△ 53	92.8%	645	料金收受機械等の更新サイクル見直しによる減価償却費の減等
中日本高速道路(株)	624	546	△ 78	87.5%	541	料金收受機械等の更新サイクル見直しによる減価償却費の減等
西日本高速道路(株)	728	611	△ 117	83.9%	605	料金收受機械等の更新サイクル見直しによる減価償却費の減等
首都高速道路(株)	165	154	△ 11	93.3%	152	ETC広報費用の減等
阪神高速道路(株)	138	120	△ 18	87.0%	125	ETC広報費用の減等
本四高速道路(株)	94	94	0	100.0%	91	—

注)計画と実績に差異が生じた項目には、「ETCマイレージ割引費用の減(東日本:15億円、中日本:9億円、西日本:46億円、阪神:2億円)」を含む。

【合計】

[単位:億円(消費税抜き)]

	計画(A)	実績(B)	(B)-(A)	(B)/(A)	※参考 前年度実績	計画と実績に差異が生じた項目、主な理由等
東日本高速道路(株)	1,935	2,013	78	104.0%	1,953	
中日本高速道路(株)	1,470	1,532	62	104.2%	1,502	
西日本高速道路(株)	1,767	1,779	12	100.7%	1,754	
首都高速道路(株)	620	632	12	101.9%	606	
阪神高速道路(株)	423	407	△ 16	96.2%	397	
本四高速道路(株)	176	186	10	105.7%	181	

注1)債務返済計画と決算では、消費税の扱い(債務返済計画では消費税込み、決算では消費税抜き)や、ETCマイレージ割引の扱い(債務返済計画では料金収入の減、決算では経費の増)等が異なることから、管理コストの計画(A)は、債務返済計画での計画管理費から消費税相当額等を除き、ETCマイレージ割引費用を加えたものとなる。

注2)端数処理の関係上、計が合わないことがある。

平成25年度(2013年度) アウトカム指標の計画と実績(高速道路会社情報の総括)
(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

会社	指標 総合顧客満足度(単位:ポイント)			コメント
	CS調査等で把握するお客様の満足度(5段階評価)			
	24年度実績	25年度計画	25年度実績	
東日本 高速道路(株)	3.6	3.6	3.6	東日本大震災前のサービス水準を確保すべく、安全快適性・走行信頼性・情報関連・料金施設関連の各戦略CSの向上を図った結果、目標を達成した。
中日本 高速道路(株)	3.6	3.6	3.6	休憩施設のお手洗い美化、交通混雑期の特設お手洗い設置、駐車場誘導員配置、料金所お客様さまサービス強化等を実施し、目標を達成した。
西日本 高速道路(株)	3.6	3.7	3.5	日々の安全安心の取組みに加え、情報提供の強化等(情報板のLED化、案内標識の更新)により、「情報提供」関連の満足度は上がったものの、「安全快適性」「休憩施設」における満足度が低下し、目標を達成できなかった。
首都 高速道路(株)	3.4	3.4	3.4	中央環状線などの道路ネットワークの進捗に加え、お客様の声に基づいた各種改善(標識、カーブ区間の安全対策等)を実施し、目標を達成した。
阪神 高速道路(株)	3.5	3.6	3.6	企画割引(乗り放題パス)や携帯電話向け交通情報サービス「阪神高速はしれGO!」の周知等により、「期間限定で販売する企画割引」「出発前の情報提供」などにおいて満足度が上昇し、目標を達成した。
本四 高速道路(株)	3.9	3.9	3.9	休日終日割引や平日時間帯割引の継続が浸透したことにより料金・割引の満足度が上昇したほか、舗装補修の実施、トイレ施設のリニューアル等の満足度が上昇し、目標を達成した。

会社	指標 本線渋滞損失時間(単位:万台・時/年)			コメント
	渋滞が発生することによる利用者の年間損失時間			
	24年度実績	25年度計画	25年度実績	
東日本 高速道路(株)	686	635	712	付加車線設置やLED情報板での速度回復情報提供等による渋滞緩和対策を実施したものの、昨年に比べて交通量が増加したため、交通集中渋滞や事故渋滞が増加し、目標を達成できなかった。
中日本 高速道路(株)	1,126	1,192	1,066	東名阪自動車道四日市地区の暫定3車線運用等の対策により、目標を達成した。
西日本 高速道路(株)	469	467	548	京都縦貫自動車道(沓掛IC～大山崎JCT)の開通によりネットワークが拡充されたことによる交通集中渋滞の減少や、交通安全対策の実施により対策実施箇所の事故渋滞は減少したものの、昨年に比べて交通量が増加したため、交通集中渋滞や事故渋滞が増加し、目標を達成できなかった。
首都 高速道路(株)	2,460	2,400	2,810	標識・区画線等の改善による交通流の円滑化等の取組みを実施したが、朝5時～6時台の交通量が増加したため、交通集中渋滞が増加し、目標を達成できなかった。
阪神 高速道路(株)	449	425	530	淀川左岸線(島屋～海老江JCT)の開通に伴うネットワークの拡充や3号神戸線と5号湾岸線の乗り継ぎ対策を実施するなど、本線渋滞損失時間の減少に努めた。しかし、交通量の増加により、交通集中渋滞が増加し、目標値を達成できなかった。
本四 高速道路(株)	4	4	4	繁忙期間の渋滞予測による情報提供や、速度低下注意喚起標識をサグ部渋滞箇所を実施することにより、目標を達成した。

平成25年度(2013年度) アウトカム指標の計画と実績(高速道路会社情報の総括)
(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

会社	指標 路上工事時間(単位:時間/km・年)			コメント
	道路1kmあたりの路上作業に伴う年間の交通規制時間(下段のカッコ内は交通規制のうち集中工事等を除いた時間※)			
	24年度実績	25年度計画	25年度実績	
東日本 高速道路㈱	92 (59)	74 (一)	70 (一)	工事規制の統合を考慮した発注計画の立案や工事工程の調整等により車線規制件数を削減し、目標を達成した。
中日本 高速道路㈱	75 (67)	117 (109)	91 (83)	安全性向上3ヵ年計画事業により昨年度比で路上工事時間が増加したが、工事発注計画や規制計画の集約等により、目標を達成した。
西日本 高速道路㈱	89 (79)	91 (78)	130 (110)	集中工事期間の拡大、複数工事の規制・集約などの取組みを行ったが、車線規制を伴う工事(舗装補修工事、構造物補修等)が増加したため、目標を達成できなかった。
首都 高速道路㈱	283 (280)	271 (268)	232 (229)	2月に発生した大雪の影響により工事規制を一部行えなかったが、長時間の連続規制による集中工事を計30日実施するなど、工事の集約化、集中工事化などに引き続き取り組んだことや、同一規制帯での複数工事を積極的に取り組んだことにより、目標を達成した。
阪神 高速道路㈱	120 (113)	130 (一)	137 (128)	車線規制工事の集約化、及び工事規制訓練を実施することで、安全かつ迅速な作業を確保するよう努めたが、車線規制を伴う工事(舗装補修工事等)が増加したため、目標を達成できなかった。
本四 高速道路㈱	86 (一)	85 (一)	116 (一)	複数工事の規制を集約するなど、規制時間及び回数の削減に努めた。しかし、車線規制を伴う工事(舗装補修工事、構造物補修等)が増加したため、目標を達成できなかった。

※「集中工事等を除いた」とは、区間・期間を事前に広報した上で行う集中工事(震災復旧工事を含む)等を除いた交通規制時間

会社	指標 死傷事故率(単位:件/億台キロ)			コメント
	自動車走行車両1億台キロあたりの死傷事故件数 ※			
	24年度実績	25年度計画	25年度実績	
東日本 高速道路㈱	6.9	6.7	6.3	渋滞の増加により渋滞中及び渋滞後尾での死傷事故は増加したものの、夜間の事故対策として高輝度レーンマークの整備や夜間反射材の設置を推進するなど死傷事故件数の削減を図り、目標を達成した。
中日本 高速道路㈱	8.1	7.6	8.0	高機能舗装、防護柵改良や交通安全啓発活動による安全対策を実施したが、車線逸脱による死傷事故の増加により、目標を達成できなかった。
西日本 高速道路㈱	8.2	8.0	8.7	交通安全対策の実施により、対策を行った箇所の死傷事故は減少したが、一方で昨年に比べて交通量が増加した影響により、追突事故が増加したため、目標を達成できなかった。
首都 高速道路㈱	17.0	16.5	17.1	事故多発地点や重大事故発生地点の交通安全対策や安全運転啓発活動等を実施したが、渋滞が増加したことによる追突事故が増えたことにより、目標を達成できなかった。
阪神 高速道路㈱	25.1	24.5	24.7	更なる交通事故削減を目指して「第2次交通安全対策アクションプログラム」を推進し、カーブ区間での安全対策や渋滞多発区間での追突事故対策を実施するとともに、ドライバーへの啓発活動にも取り組んだ結果、昨年度実績よりも低い死傷事故率となったものの、目標を達成できなかった。
本四 高速道路㈱	6.0	6.0	5.3	走行性の改善を図るため舗装の改良に努めたこと、道路緊急ダイヤルの広報による路上落下物や道路の異常等に関する通報の増加により、道路情報板への掲出や交通管理隊による落下物処理等を迅速かつ的確に行うことにより交通事故予防に努め、目標を達成した。

※数値は、1/1～12/31間の年間値

平成25年度(2013年度) アウトカム指標の計画と実績(高速道路会社情報の総括)
(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

会社	指標 道路構造物保全率(舗装)(単位:%)			コメント
	早期に補修を必要としない舗装路面の車線延長比率			
	24年度実績	25年度計画	25年度実績	
東日本 高速道路(株)	96	97	97	路面のわだち掘れやひび割れ等の調査や現地調査等に基づき、平成25年度に補修が必要となる約427km・車線全ての補修を行い、目標を達成した。
中日本 高速道路(株)	95	95	96	路面のわだち掘れやひび割れなどの調査に基づき、約127km・車線の補修を行い、目標を達成した。
西日本 高速道路(株)	92	94	95	路面のわだち掘れやひび割れ等を調査・点検結果を踏まえ、損傷状況に応じた舗装補修を約450km・車線実施し、目標を達成した。
首都 高速道路(株)	97	97	97	路面のわだち掘れやひび割れ等を点検により把握し、損傷状況に応じた舗装補修を約53km・車線実施し、目標を達成した。
阪神 高速道路(株)	88	89	91	路面のわだち掘れやひび割れ等を点検により把握し、損傷状況に応じた車線規制工事による舗装補修や、大規模補修工事(通行止め)による舗装補修約59km・車線を実施し、目標を達成した。
本四 高速道路(株)	91	91	89	当初予定していた補修延長約19kmを上回る約30km・車線の舗装補修を実施したが、路面のわだち掘れやひび割れ等の調査・点検により新たに補修が必要な箇所が判明したため、目標を達成できなかった。

会社	指標 道路構造物保全率(橋梁)(単位:%)			コメント
	早期に補修を必要としない健全な橋梁数の割合			
	24年度実績	25年度計画	25年度実績	
東日本 高速道路(株)	89	90	89	点検結果等により、早期に補修が必要な箇所90橋の補修を実施したものの、入札不落等の影響により平成25年度に補修を計画していた橋梁の一部を次年度以降に補修することとしたため、目標を達成できなかった。
中日本 高速道路(株)	90	90	92	点検結果等により、早期に補修が必要な箇所37橋の補修を実施し、目標を達成した。
西日本 高速道路(株)	92	94	93	点検結果等により、変状が著しい橋梁床版部の取替等が必要な箇所38橋の橋梁補修を実施したが、入札不調等の影響及び点検結果による新たな補修対象の増加により、目標を達成できなかった。
首都 高速道路(株)	83	85	85	点検結果を基に1,007径間について損傷状況に応じた補修を実施し、目標を達成した。
阪神 高速道路(株)	88	88	89	点検結果を基に計画的に補修工事を実施した結果、早期に補修が必要な橋梁のうち202径間の橋梁補修を実施し、目標を達成した。
本四 高速道路(株)	84	85	93	点検結果に基づき補修が必要な橋梁のうち69橋の補修を計画的に実施し、目標を達成した。

会社	指標 橋脚補強完了率(単位:%)			コメント
	古い基準を適用した橋梁*で、耐震補強を必要としている橋脚のうち、補強が完了している橋脚基数の割合			
	24年度実績	25年度計画	25年度実績	
東日本 高速道路(株)	100	100	100	平成24年度で完了済み。
中日本 高速道路(株)	100	100	100	平成22年度で完了済み。
西日本 高速道路(株)	99	100	100	平成25年度に要対策箇所96基の耐震補強工事を完了し、橋脚補強完了率は100%となり、目標を達成した。
首都 高速道路(株)	100	100	100	平成10年度で完了済み。
阪神 高速道路(株)	100	100	100	平成23年度で完了済み。
本四 高速道路(株)	100	100	100	平成19年度で完了済み。

※対象橋脚は、「道路、新幹線の橋梁の耐震補強の推進について(H17.3国土交通省)」に基づき、平成7年兵庫県南部地震の被災を踏まえ、昭和55年より古い基準等で設計した橋梁のうち、特に優先的に耐震補強を実施する必要のある橋脚である。

各社のアウトカム指標一覧表（平成25年度）

（参考）

指標分類		東日本	中日本	西日本	首都	阪神	本四
総合顧客満足度 [単位：ポイント] CS調査等で把握するお客様の満足度（5段階評価）	H24年度実績値	3.6	3.6	3.6	3.4	3.5	3.9
	H25年度目標値	3.6	3.6	3.7	3.4	3.6	3.9
	H25年度実績値	3.6	3.6	3.5	3.4	3.6	3.9
本線渋滞損失時間 [単位：万台・時/年] 渋滞が発生することによる利用者の年間損失時間	H24年度実績値	686	1,126	469	2,460	449	4
	H25年度目標値	635	1,192	467	2,400	425	4
	H25年度実績値	712	1,066	548	2,810	530	4
路上工事時間 [単位：時間/km・年] 道路1kmあたりの路上作業に伴う年間の交通規制時間	H24年度実績値 (下段は集中工事※1を除く)	92 (59)	75 (67)	89 (79)	283 (280)	120 (113)	86 -
	H25年度目標値 (下段は集中工事※1を除く)	74 (74)	117 (109)	91 (78)	271 (268)	130 -	85 -
	H25年度実績値 (下段は集中工事※1を除く)	70 (70)	91 (83)	130 (110)	232 (229)	137 (128)	116 -
	H24年度実績値	6.9	8.1	8.2	17.0	25.1	6.0
死傷事故率 [単位：件/億台キロ] 自動車走行車両1億台キロあたりの死傷事故件数※2	H25年度目標値	6.7	7.6	8.0	16.5	24.5	6.0
	H25年度実績値	6.3	8.0	8.7	17.1	24.7	5.3
	H24年度実績値	96	95	92	97	88	91
道路構造物保全率（舗装） [単位：%] 早期に補修を必要としない舗装路面の車線延長比率	H25年度目標値	97	95	94	97	89	91
	H25年度実績値	97	96	95	97	91	89
	H24年度実績値	89	90	92	83	88	84
道路構造物保全率（橋梁） [単位：%] 早期に補修を必要としない健全※3な橋梁の割合	H25年度目標値	90	90	94	85	88	85
	H25年度実績値	89	92	93	85	89	93
	H24年度実績値	100	100	99	100	100	100
橋脚補強完了率 [単位：%] 古い基準を適用した橋梁※4で、耐震補強を必要とする橋脚のうち、補強が完了している橋脚基数の割合	H25年度目標値	-	-	100	-	-	-
	H25年度実績値	-	-	100	-	-	-
	H24年度実績値	10,777	14,067	6,297	1,045	1,428	157
車限令違反取締台数 [単位：台] 高速道路上で実施した車限令違反車両取締における引込み台数	H25年度目標値	10,777	14,330	6,841	1,150	1,428	160
	H25年度実績値	10,813	14,272	7,188	1,323	1,407	162
	H24年度実績値	319	249	388	77	208	48
逆走事案件数 [単位：件] 逆走車両を発見、機械による検知、または逆走車がいるという通報を受けた件数	H25年度実績値	288	267	332	76	164	30
	H24年度実績値	1,437	1,197	1,119	243	285	181
人の立入事案件数 [単位：件] 高速道路上で歩行者等の保護又は歩行者がいることの通報を受けた件数	H25年度実績値	1,680	1,248	1,186	256	336	159

※1：集中工事を除いた路上工事時間とは、お客様が迂回や時間・日程調整など回避行動をとることができるよう区間・期間を事前に広く広報した上で行う工事を除いた路上工事時間である
 ※2：数値は、1/1～12/31間の年間値である
 ※3：健全な橋梁とは、点検結果において橋梁本体の安全性に影響する可能性がある損傷が発生しておらず、早期に修繕を必要としない橋梁をいう
 ※4：対象は、「道路、新幹線の橋梁の耐震補強の推進について（H17.3国土交通省）」に基づき、平成7年兵庫県南部地震の被災を踏まえ、昭和55年より古い基準等で設計した橋梁のうち、特に優先的に耐震補強を実施する必要がある橋梁である

参考）上記以外の各会社共通の取組

車限令違反取締台数 [単位：台] 高速道路上で実施した車限令違反車両取締における引込み台数	H24年度実績値	10,777	14,067	6,297	1,045	1,428	157
	H25年度目標値	10,777	14,330	6,841	1,150	1,428	160
	H25年度実績値	10,813	14,272	7,188	1,323	1,407	162
逆走事案件数 [単位：件] 逆走車両を発見、機械による検知、または逆走車がいるという通報を受けた件数	H24年度実績値	319	249	388	77	208	48
	H25年度実績値	288	267	332	76	164	30
人の立入事案件数 [単位：件] 高速道路上で歩行者等の保護又は歩行者がいることの通報を受けた件数	H24年度実績値	1,437	1,197	1,119	243	285	181
	H25年度実績値	1,680	1,248	1,186	256	336	159

◎更なる充実への取組

これまでアウトカム指標は7つを基本に、お客様視点に立った客観的指標として公表、評価。平成26年度よりお客様視点、交通安全、道路保全の体系に見直し、それに沿った指標を配置。

- お客様視点や交通安全については、改善を図っていく指標として、2～3年後の中期的目標値を設定。
例）総合顧客満足度
- 道路保全については、メンテナンスサイクルの観点から一定水準を確保する指標として6社共通の目標値を設定。
例）道路構造物保全率（舗装）：共通目標値は90%以上。
- 更なる管理水準の確保を目指し、目標値は設定しないが現場での取組を実績値で評価・分析し、今後の対策に活用するための管理実績指標を設定。
例）5指標 [年間利用時間、通行止め時間、軸重超過車両混入率、逆走事案件数、人の立入事案件数] を新規設定。

道路資産保有及び貸付状況（総括表）

（平成26年3月31日時点）

（単位：キロメートル）

	合 計													
	東日本高速道路㈱	中日本高速道路㈱	西日本高速道路㈱	首都高速道路㈱	阪神高速道路㈱	京都圏	本州四国連絡高速道路㈱	東日本高速道路㈱	中日本高速道路㈱	西日本高速道路㈱	首都高速道路㈱	阪神高速道路㈱	京都圏	本州四国連絡高速道路㈱
保有及び貸付延長	3,802	2,024	3,477	312	263	10	173	10,061	2,024	3,477	312	263	10	173
うち供用区間延長	3,732	1,923	3,423	301	249	10	173	9,812	1,923	3,423	301	249	10	173
うち新設区間延長	(759) 249	(322) 101	(141) 54	(28) 11	(14) 14	-	-	(759) 249	(322) 101	(141) 54	(28) 11	(14) 14	-	-
(内訳)														
全国路線網								9,251	2,013	3,436	-	-	-	-
高速自動車国道	3,802	2,013	3,436	-	-	-	-	8,251	1,829	3,062	-	-	-	-
高速自動車国道以外	442	184	374	-	-	-	-	1,000	184	374	-	-	-	-
うち供用区間延長	3,732	1,912	3,382	-	-	-	-	9,027	1,912	3,382	-	-	-	-
高速自動車国道	3,303	1,728	3,008	-	-	-	-	8,039	1,728	3,008	-	-	-	-
高速自動車国道以外	429	184	374	-	-	-	-	988	184	374	-	-	-	-
うち新設区間延長	(717) 225	(322) 101	(141) 54	-	-	-	-	(717) 225	(322) 101	(141) 54	-	-	-	-
高速自動車国道	(509) 212	(228) 101	(141) 54	-	-	-	-	(509) 212	(228) 101	(141) 54	-	-	-	-
高速自動車国道以外	(208) 13	(94) 0	(0) 0	-	-	-	-	(208) 13	(94) 0	(0) 0	-	-	-	-
地域路線網	-	-	-	312	263	10	173	758	-	-	312	263	10	173
うち供用区間延長	-	-	-	301	249	10	173	733	-	-	301	249	10	173
うち新設区間延長	(42) 25	-	-	(28) 11	(14) 14	-	-	(42) 25	-	-	(28) 11	(14) 14	-	-
一の路線	-	10	42	-	-	-	-	52	10	42	-	-	-	-
うち供用区間延長	-	10	42	-	-	-	-	52	10	42	-	-	-	-
うち新設区間延長	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

（注）延長の数値は、IC間を最小単位として、機構の保有資産が含まれている区間を全て合計したものの延長です。但し、「うち新設区間延長」の括弧内の数値は、既に機構が資産を保有している区間を含む、協定に基づき高速道路会社が新設を行う区間の総延長です。

（注）端数処理の関係上、計が含まない場合があります。